



取扱説明書(UDトラックス編)

もくじ.....	1
ご使用になる前に.....	2
はじめに.....	3
安全にご利用になるために.....	4
対応システムと診断機能.....	6
対応車種一覧.....	8
診断コネクタ取り付け位置.....	13
診断の準備.....	16
車両と接続します.....	17
電源のON/OFF.....	20
車種、システムを選択します.....	22
診断機能.....	28
自己診断機能.....	29
データ表示機能.....	34
保存データ表示機能.....	52
CAN診断サポートモニタ機能.....	63
アクティブテスト機能.....	67
作業サポート機能.....	71
識別情報表示機能.....	148

ご使用になる前に

はじめに.....	P3
安全にご利用になるために	P4
対応システムと機能.....	P6
対応車種一覧.....	P8
診断コネクタ取り付け位置.....	P13



はじめに

ご使用になる前に

本取扱説明書では、UDトラックス車の診断方法に関してご説明させていただきます。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

株式会社インターサポート

- 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。
- 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。



警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。
- アクティブテストはUDトラックスのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）および、車両停止状態（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）で実行してください。



注意

- UDトラックス車または、UDトラックス製造のOEM車以外に使用しないでください。

ご使用になる前に

対応システムと、診断機能の関係は以下の通りです。

コンドル(小型)

	自己診断	データ表示	CAN診断 サポート モニタ	アクティブ テスト	作業 サポート	識別情報 表示
エンジン	●	●	●※	●	●※	●※
VIM(ビークルインターフェースモジュール) ※1	—	●	—	—	●	●
AT ※2	●	●	—	—	—	●
Smoother ※2	●	●	—	—	—	●
ABS/ASR	●	●	—	—	—	●
HSA/CFS	●	—	—	—	●	●
SRSエアバッグ	●	●	—	—	—	●
BCM ※2	●	—	●	—	●	●
イモビライザー	●	●	—	—	—	●
BCM_ドアロック ※2	—	●	—	●	●	—
BCM_リアデフォッグ ※2	—	●	—	●	●	—
BCM_ブザー ※2	—	●	—	●	—	—
BCM_ルームランプ ※2	—	●	—	●	●	—
BCM_キーレスエントリー ※2	—	●	—	●	●	—
BCM_ヘッドランプ ※2	—	●	—	●	●	—
BCM_ワイパ ※2	—	●	—	●	●	—
BCM_フラッシュ ※2	—	●	—	●	●	—
BCM_エアコン ※2	—	●	—	●	—	—
BCM_コンビスイッチ ※2	—	●	—	—	—	—
BCM_バッテリーセイバ ※2	—	●	—	●	●	—
BCM_トランク ※2	—	●	—	●	—	—
BCM_シグナルハット ※2	—	●	—	●	—	—
BCM_イモビライザ ※2	—	●	—	●	—	—
BCM_パニックアラーム ※2	—	●	—	●	—	—
IPDM E/R ※2	●	●	●	●	—	—
メータ ※2	●	●	●	—	—	—

コンドル(中型)

	自己診断	データ表示	CAN診断 サポート モニタ	アクティブ テスト	作業 サポート	識別情報 表示
エンジン	●	●	—	●	●	●
ABS・ASR	●	—	—	—	—	●
SRSエアバッグ	●	—	—	—	—	●

※1 VIM(ビークルインターフェースモジュール)には自己診断,アクティブテストの機能がありません。

※2 一部の車両では未対応となります。

クオン

	自己診断	データ表示	CAN診断 サポート モニタ	アクティブ テスト	作業 サポート	識別情報 表示
エンジン	●	●	—	—	●	●
SRSエアバッグ	●	—	—	—	—	●

スペースランナー(J07Eエンジン搭載車)

	自己診断	データ表示	CAN診断 サポート モニタ	アクティブ テスト	作業 サポート	識別情報 表示
エンジン	●	●	—	●	●	●
ABS・ASR	●	—	—	—	—	●
SRSエアバッグ	●	—	—	—	—	●

スペースアロー、スペースランナー(MD92エンジン搭載車)

	自己診断	データ表示	CAN診断 サポート モニタ	アクティブ テスト	作業 サポート	識別情報 表示
エンジン	●	●	—	—	●	●

※ 注意と補足※

車両に搭載されている各システムのC/Uタイプによっては、対応していない診断機能があります。

Smoother : クラッチペダル操作を必要とせずに、シフトレバー操作、アクセルペダル操作とブレーキペダル操作のみで発進、自動変速、停車ができるシステムです。

VIM : エンジン始動回数などエンジンの情報を記憶しており、エキゾーストブレーキ制御、アイドルストップ制御などをするシステムです。

HSA/CFS : (ヒル・スタート・エイド/クラッチ・フリー・システム)

車両を停止させた際のブレーキ力を記憶し、ブレーキペダルから足を離しても停止情報を保持するシステムです。また、クラッチペダル操作をせずに、ギヤシフト操作、アクセルペダル操作、ブレーキペダル操作のみで発進、変速、停車ができるシステムです。



対応車種一覧

ご使用になる前に

車種名	車両型式	エンジン型式	対応年式		車両側 コネクタタイプ
			西暦	和暦	
コントロール(小型)	BDG-BJR85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BDG-BKR85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BDG-BKS85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BDG-BLR85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BDG-BMR85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BDG-BMS85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BDG-BNR85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BDG-BPR85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BDG-BPS85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BKG-BHR85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BKG-BHS85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BKG-BJR85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BKG-BJS85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BKG-BKR85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BKG-BLR85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BKG-BLS85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BKG-BMR85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BKG-BNR85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BKG-BNS85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	BKG-BPR85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	KK-BHR69	4JG2	'04.06~'06.10	H16.06~H18.10	A
	KK-BHS69	4JG2	'02.06~'04.05	H14.06~H16.05	A
	KK-BHS69	4JG2	'04.06~'06.10	H16.06~H18.10	A
	KK-BKR66	4HF1	'99.01~'02.05	H11.01~H14.05	A
	KK-BKR69	4JG2	'02.06~'04.05	H14.06~H16.05	A
	KK-BKR71	4HG1	'99.01~'03.05	H11.01~H15.05	A
	KK-BKR72	4HJ1	'02.06~'03.04	H14.06~H15.04	A
	KK-BKS66	4HF1	'99.01~'02.05	H11.01~H14.05	A
	KK-BKS71	4HG1	'99.01~'03.05	H11.01~H15.05	A
	KK-BPR66	4HF1	'99.01~'02.05	H11.01~H14.05	A
	KK-BPR71	4HG1	'99.01~'03.05	H11.01~H15.05	A
	KK-BPR72	4HJ1	'02.06~'03.04	H14.06~H15.04	A
	KK-BPS72	4HJ1	'02.06~'03.04	H14.06~H15.04	A
	KR-BKR72	4HJ1	'02.06~'03.04	H14.06~H15.04	A
	KR-BKR81	4HL1	'02.06~'04.05	H14.06~H16.05	A
	KR-BKS81	4HL1	'02.06~'04.05	H14.06~H16.05	A
	KR-BPR72	4HJ1	'02.06~'03.04	H14.06~H15.04	A
	KR-BPR81	4HL1	'02.06~'04.05	H14.06~H16.05	A
	KR-BPS72	4HJ1	'02.06~'03.04	H14.06~H15.04	A

車種名	車両型式	エンジン型式	対応年式		車両側 コネクタタイプ
			西暦	和暦	
コントロール(小型)	PA-BPR81	4HL1-NA	'04.06~'05.04	H16.06~H17.04	A
	PA-BPR81	4HL1-NA	'05.05~'06.10	H17.05~H18.10	A
	PA-BPR81	4HL1-TC	'04.06~'05.04	H16.06~H17.04	A
	PA-BPR81	4HL1-TC	'05.05~'06.10	H17.05~H18.10	A
	PB-BHR81	4HL1-NA	'05.05~'06.10	H17.05~H18.10	A
	PB-BHR81	4HL1-TC	'05.05~'06.10	H17.05~H18.10	A
	PB-BHS81	4HL1-NA	'05.05~'06.10	H17.05~H18.10	A
	PB-BHS81	4HL1-TC	'05.05~'06.10	H17.05~H18.10	A
	PB-BKR81	4HL1-NA	'04.06~'05.04	H16.06~H17.04	A
	PB-BKR81	4HL1-NA	'05.05~'06.10	H17.05~H18.10	A
	PB-BKR81	4HL1-TC	'05.05~'06.10	H17.05~H18.10	A
	PB-BKS81	4HL1-NA	'04.06~'05.04	H16.06~H17.04	A
	PB-BKS81	4HL1-NA	'05.05~'06.10	H17.05~H18.10	A
	PB-BKS81	4HL1-TC	'05.05~'06.10	H17.05~H18.10	A
	PB-BPR81	4HL1-NA	'04.06~'05.04	H16.06~H17.04	A
	PB-BPR81	4HL1-NA	'05.05~'06.10	H17.05~H18.10	A
	PB-BPR81	4HL1-TC	'04.06~'05.04	H16.06~H17.04	A
	PB-BPR81	4HL1-TC	'05.05~'06.10	H17.05~H18.10	A
	PB-BPS81	4HL1-NA	'04.06~'05.04	H16.06~H17.04	A
	PB-BPS81	4HL1-NA	'05.05~'06.10	H17.05~H18.10	A
	PB-BPS81	4HL1-TC	'05.05~'06.10	H17.05~H18.10	A
	PDG-BKR85	4JJ1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	PDG-BPR75	4HK1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	PKG-BPR75	4HK1-TC	'06.11~	H18.11~	B
	CBF-NSQ1F24	QR20DE	'07.06~	H19.06~	A
	CBF-NSQ2F24	QR20DE	'07.06~	H19.06~	A
	PDG-NSZ1F24	QR20DE	'07.06~	H19.06~	A
	PDG-NSZ2F24	QR20DE	'07.06~	H19.06~	A
	PDG-NSZ4F24	QR20DE	'07.06~	H19.06~	A
	PDG-NSZ5F24	QR20DE	'07.06~	H19.06~	A
PDG-NTZ2F24	ZD30DDTi	'07.06~	H19.06~	A	
PDG-NTZ3F24	ZD30DDTi	'07.06~	H19.06~	A	

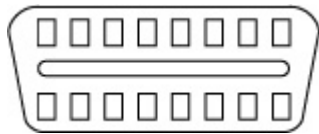
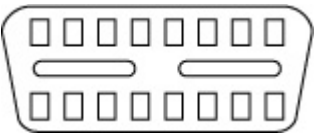
車種名	車両型式	エンジン型式	対応年式		車両側 コネクタタイプ
			西暦	和暦	
コント(中型)	BDG-LK36C	J07E	'06.11～	H18.11～	A
	BDG-LK36E	J07E	'06.11～	H18.11～	A
	BDG-LK37C	J08E	'06.11～	H18.11～	A
	BDG-LK37E	J08E	'08.06～	H20.06～	A
	BDG-MK35C	J05D	'06.11～	H18.11～	A
	BDG-MK36C	J07E	'06.11～	H18.11～	A
	BDG-MK36D	J07E	'06.11～	H18.11～	A
	BDG-MK37C	J07E	'06.11～	H18.11～	A
	BDG-MK37D	J08E	'06.11～	H18.11～	A
	BDG-PK36C	J07E	'06.11～	H18.11～	A
	BDG-PK37C	J08E	'06.11～	H18.11～	A
	BDG-PK37D	J07E	'06.11～	H18.11～	A
	BDG-PW37C	J08E	'06.11～	H18.11～	A
	KS-PK36A	J07E	'06.11～	H18.11～	A
	KS-PK37A	J08E	'06.11～	H18.11～	A
	KS-PK37B	J08E	'06.11～	H18.11～	A
	KS-PW37A	J08E	'06.11～	H18.11～	A
	PB-LK36A	J07E	'04.06～'06.10	H16.06～H18.10	A
	PB-LK37A	J08E	'04.06～'06.10	H16.06～H18.10	A
	PB-MK35A	J05D	'04.06～'06.10	H16.06～H18.10	A
	PB-MK36A	J07E	'04.06～'06.10	H16.06～H18.10	A
	PB-MK36B	J07E	'04.06～'06.10	H16.06～H18.10	A
	PB-MK37A	J08E	'04.06～'06.10	H16.06～H18.10	A
	PB-MK37B	J08E	'04.06～'06.10	H16.06～H18.10	A
	PB-PK36A	J07E	'04.06～'06.10	H16.06～H18.10	A
	PK-PK36A	J07E	'04.06～'06.10	H16.06～H18.10	A
	PK-PK37A	J08E	'04.06～'06.10	H16.06～H18.10	A
	PK-PK37B	J08E	'04.06～'06.10	H16.06～H18.10	A
	PK-PW37A	J08E	'04.06～'06.10	H16.06～H18.10	A

車種名	車両型式	エンジン型式	対応年式		車両側 コネクタタイプ
			西暦	和暦	
クオン	ADG-CD2	MD92	'05.05～	H17.05～	-
	ADG-CD4	GE13	'04.11～	H16.11～	-
	ADG-CF4	GE13	'05.06～	H17.06～	-
	ADG-CG2	MD92	'05.05～	H17.05～	-
	ADG-CG4	GE13	'04.11～	H16.11～	-
	ADG-CK2	MD92	'05.05～	H17.05～	-
	ADG-CV2	MD92	'05.05～	H17.05～	-
	ADG-CV4	GE13	'05.06～	H17.06～	-
	ADG-CW2	MD92	'05.05～	H17.05～	-
	ADG-CW4	GE13	'05.05～	H17.05～	-
	ADG-CX2	MD92	'05.05～	H17.05～	-
	ADG-CX4	GE13	'05.06～	H17.06～	-
	ADG-CZ4	GE13	'05.06～	H17.06～	-
	ADG-GK4	GE13	'05.06～	H17.06～	-
	ADG-GW4	GE13	'05.06～	H17.06～	-
	AKG-GK4	GE13	'06.06～	H17.06～	-
	PKG-GK4	GE13	'07.01～	H19.01～	-
	PKG-CD4	GE13	'06.09～	H18.09～	-
	PKG-CG4	GE13	'06.09～	H18.09～	-
	PKG-CV4	GE13	'06.09～	H18.09～	-
PKG-CW4	GE13	'06.09～	H18.09～	-	
PKG-CX4	GE13	'06.09～	H18.09～	-	
スペースアロー	ADG-RA273	MD92	'05.06～	H17.06～	-
スペースランナー	PB-RM360	J07E	'05.01～	H17.01～	-
	PDG-RA273	MD92	'06.06～	H18.06～	-
	PKG-AP35	MD92	'07.10～	H19.10～	-
	PKG-RA274	MD92	'06.06～	H18.06～	-
	PK-JP360	J07E	'05.01～	H17.01～	-
	PK-RP360	J07E	'07.01～	H19.01～	-

コネクタタイプ(車両側データリンクコネクタ形状)

タイプA:12V車、24V車共用です。

タイプB:24V車です。車両と接続する際は、オプションの「24V車用変換カプラ」が必要になる場合があります。

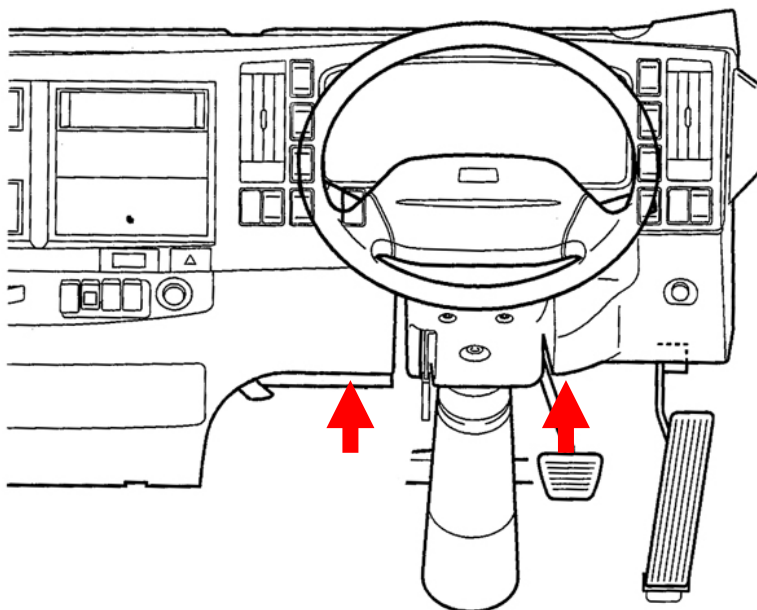
車両側データリンクコネクタ形状	
タイプ A(12V 車, 24V 車)	タイプ B(24V 車)
	

※注意と補足※

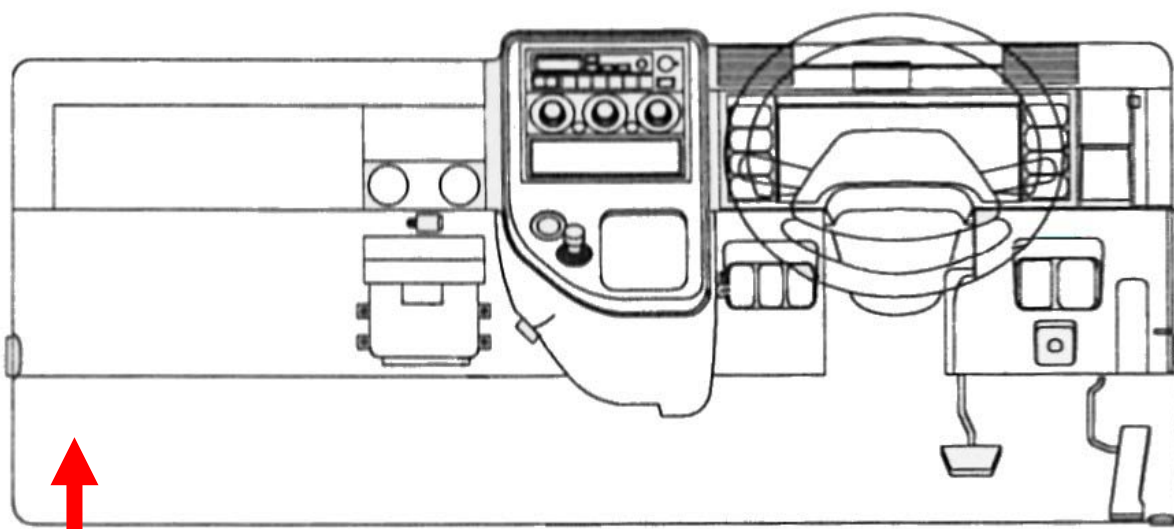
- ・ UDトラックの対応車種はエンジンの対応により設定されています。
- ・ エンジンが対応していても他のシステムが対応していない場合があります。
- ・ 対応表の年式はあくまで目安であり、対応年式内の車両でも対応していない場合があります。

ご使用になる前に

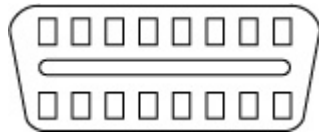
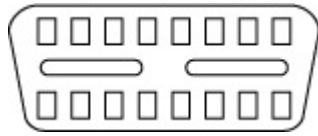
データリンクコネクタ(タイプA/タイプB)



《データリンクコネクタ位置(小型)》



《データリンクコネクタ位置(中型,大型)》

車両側データリンクコネクタ形状	
タイプ A(12V 車, 24V 車)	タイプ B(24V 車)
	

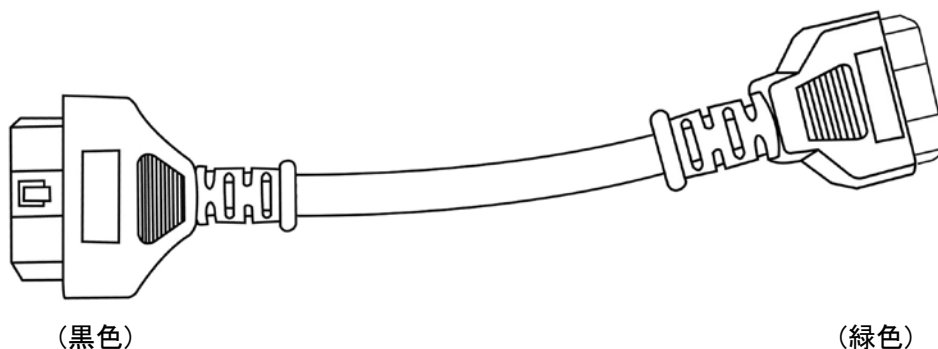
車両側データリンクコネクタは運転席インストルメントパネル下部または助手席インストルメントパネル裏側にあり、コネクタの形状は車両によって異なります。コネクタ形状がタイプB(24V車)の場合、24V車用変換カプラ(別途オプション品)が必要になる場合があります。

また、車両によっては、車両のデータリンクコネクタ側からは電源が供給されません。その場合は、別途付属のシガライタ電源ケーブル、バッテリーケーブルを接続して、車両から電源を供給してください。シガライタ電源ケーブルから電源供給した場合、クランキング時に一時的に電源供給されなくなります。電源の供給方法に関しては取扱説明書(本体編)『電源の供給方法について』の項をご参照ください。

24V車用変換カプラ(別途オプション品)

Bタイプ(24V車)車両を診断する場合、本製品が必要となる場合があります。

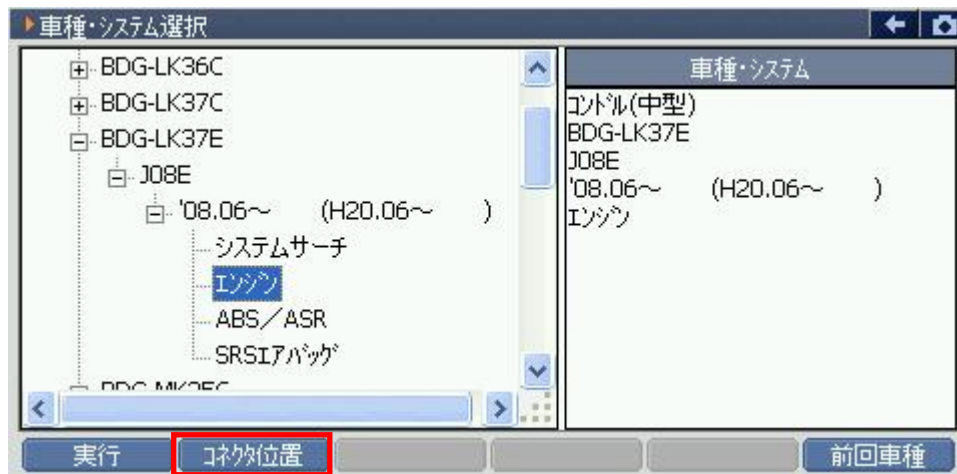
その際には、本製品のご購入をお願いいたします。



《24V 車用変換カプラ(オプション)》

※注意と補足※

- ・ 車種・システム選択画面で **コネクタ位置** ボタンをタッチすると、車両側のコネクタ位置が表示されます。



〈図: 車種・システム選択画面〉

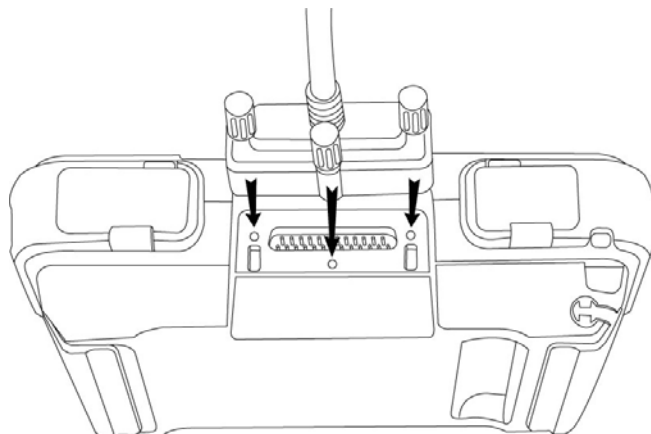


〈図: コネクタ位置表示画面〉

診断の準備

車両と接続します	P17
電源のON/OFF	P20
車種、システムを選択します	P22

- 1) G-scanのDLCコネクタ部にDLCメインケーブルを接続し、3箇所のネジをしっかりと締め付けてください。

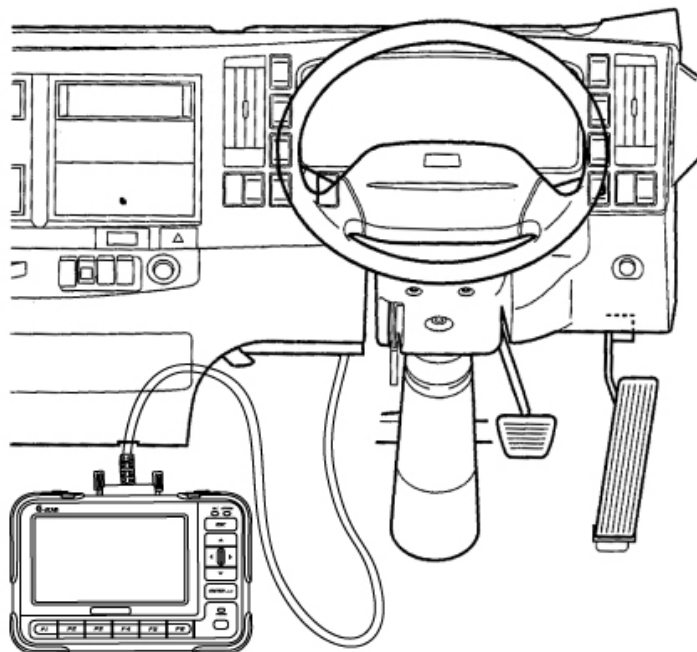


〈図：DLCメインケーブルの接続〉

**警告**

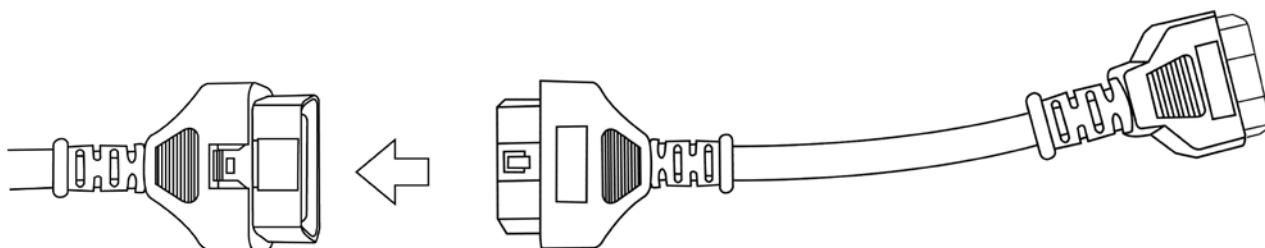
DLCメインケーブルがG-scanに接続された状態で、DLCメインケーブルのみを持たないでください。

- 2) G-scan本体に接続したDLCメインケーブルのもう一端を車両の診断コネクタに接続します。



〈図:車両との接続〉

- 3) DLCメインケーブルが車両側コネクタと接続できない場合は、24V車用変換ケーブルをG-scan本体に接続したDLCメインケーブルのもう一端に接続して、車両の診断コネクタと接続してください。



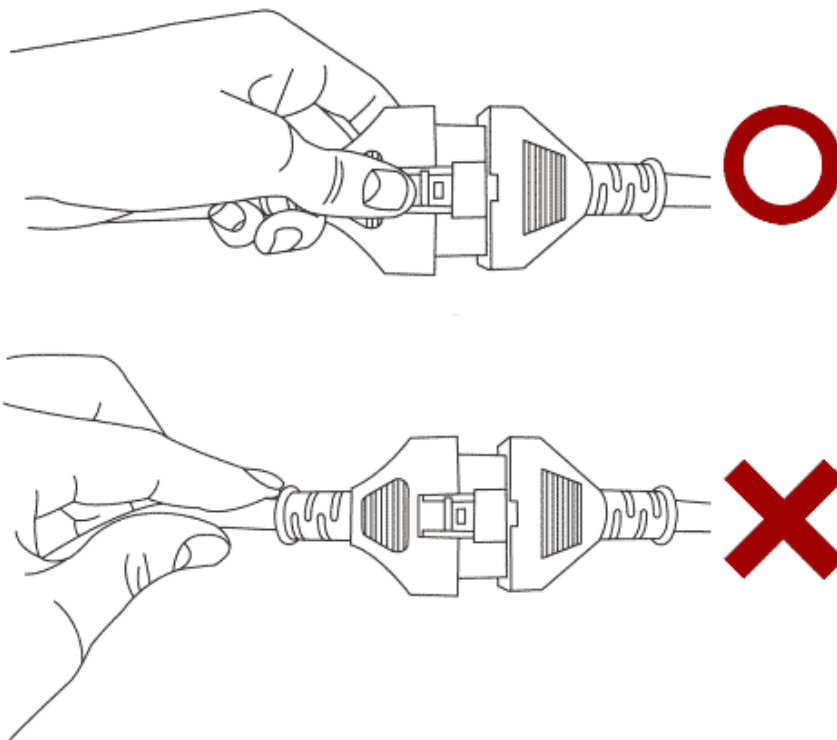
〈図:24V車用変換ケーブルとの接続〉

※注意と補足※

- ・ 24V車用変換カプラはオプション別売です。
- ・ 車両によっては、車両のデータリンクコネクタ側からは電源が供給されません。その場合は、別途付属のシガライタ電源ケーブル、バッテリーケーブルを接続して、車両から電源を供給してください。電源の供給方法に関しては取扱説明書(本体編)『電源の供給方法について』の項をご参照ください。

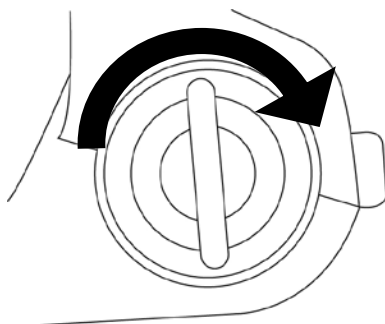


警告



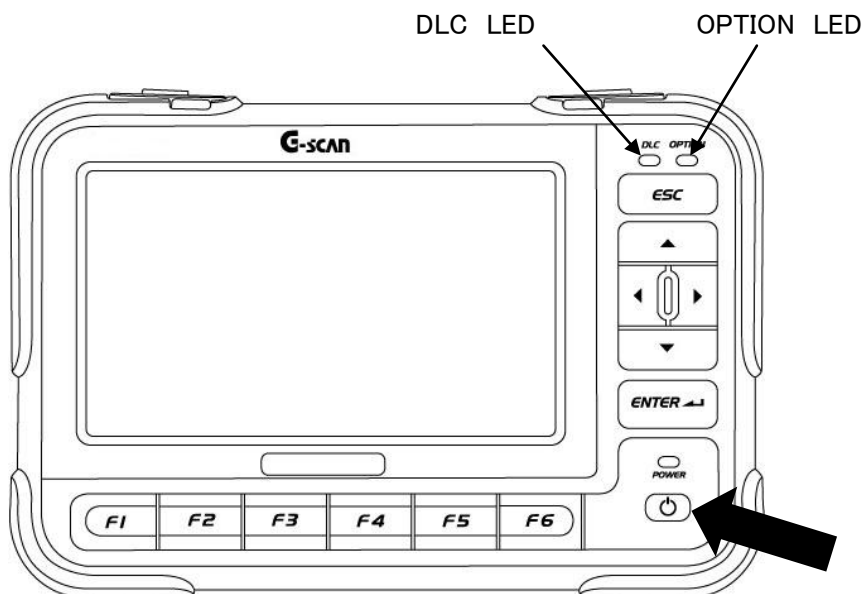
24V車用変換カプラからDLCメインケーブルを取り外すとき、ワイヤを引っ張ったり、曲げたりしないでください。ケーブルやコネクタに損害を与える場合があります。必ずつまみを押しながら取り外してください。

- 1) 車両のIG SWをON、またはエンジンを始動します。



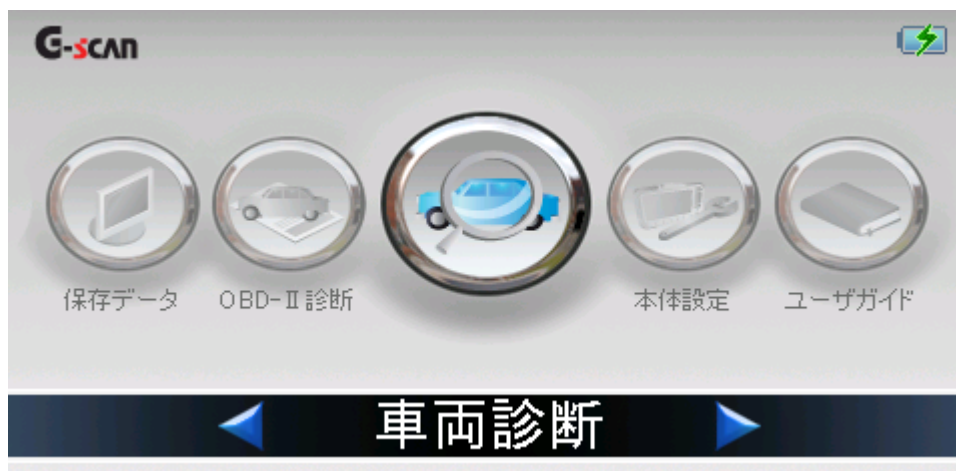
〈図:IG SW ONまたはエンジン始動〉

- 2) G-scan本体の電源ON/OFFボタンを約0.5秒長押ししてください。DLC LED、OPTION LEDがオレンジ色から緑色へと変わり、G-scanの電源がONします。



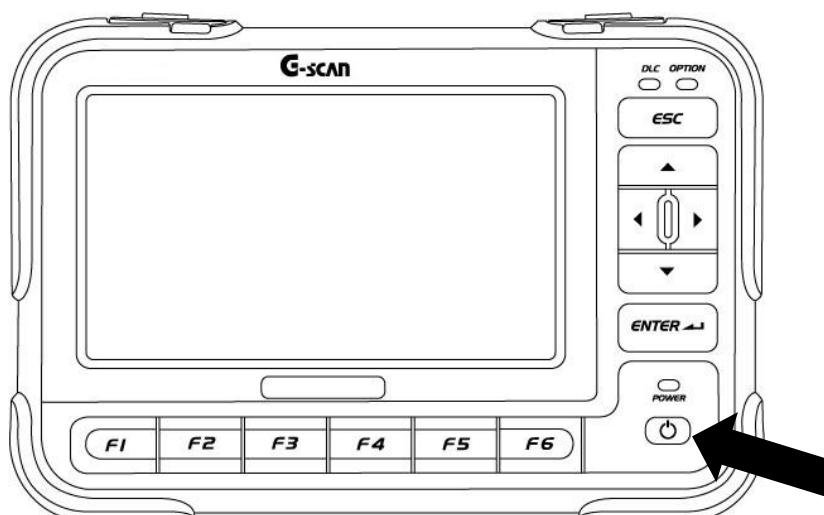
〈図:電源ON〉

3) G-scanが通常通り起動すると以下の画面が表示されます。



〈図: G-scanメイン画面〉

4) 電源をOFFする場合は、上記のG-scanメイン画面を表示した状態で、電源ON/OFFボタンを約2.5秒長押ししてください。G-scanの電源がOFFします。



〈図: 電源OFF〉

- 1) G-scanメイン画面において『車両診断』を選択して、**ENTER** ボタンを押してください。



〈図：車両診断を選択〉

- 2) メーカー選択画面が表示されます。UDトラックスを選択して、**決定** ボタンをタッチ、又は **FI** ボタンを押してください。



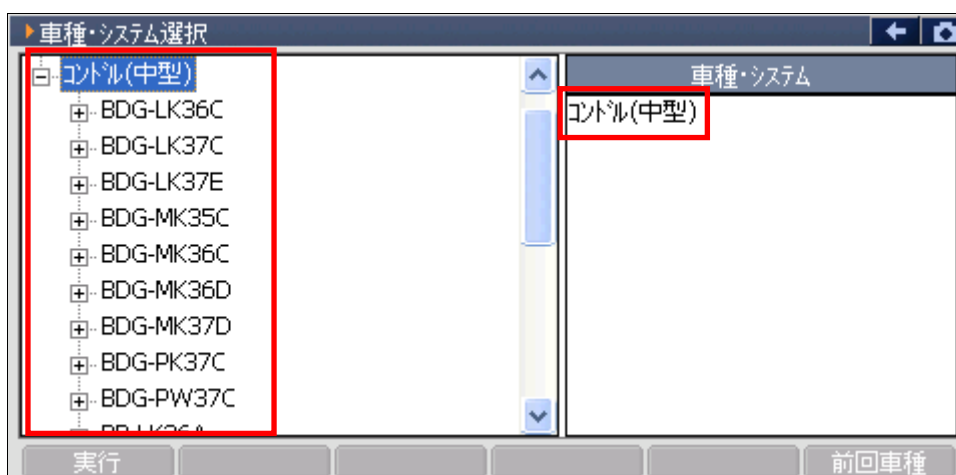
〈図：メーカー選択画面〉

3) 車種・システム選択画面が表示されます。



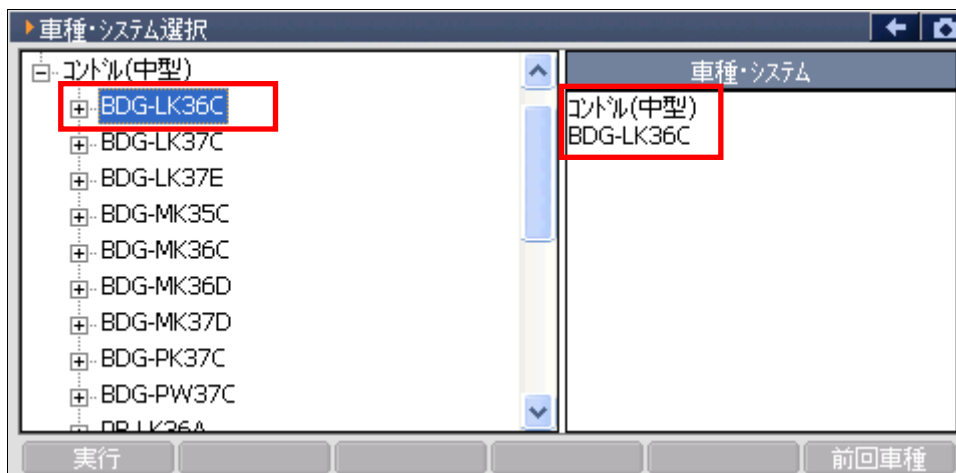
〈図:車種・システム選択画面〉

4) 診断する車種名を選択して **ENTER** ボタンを押してください。車種名の下に型式が表示されます。

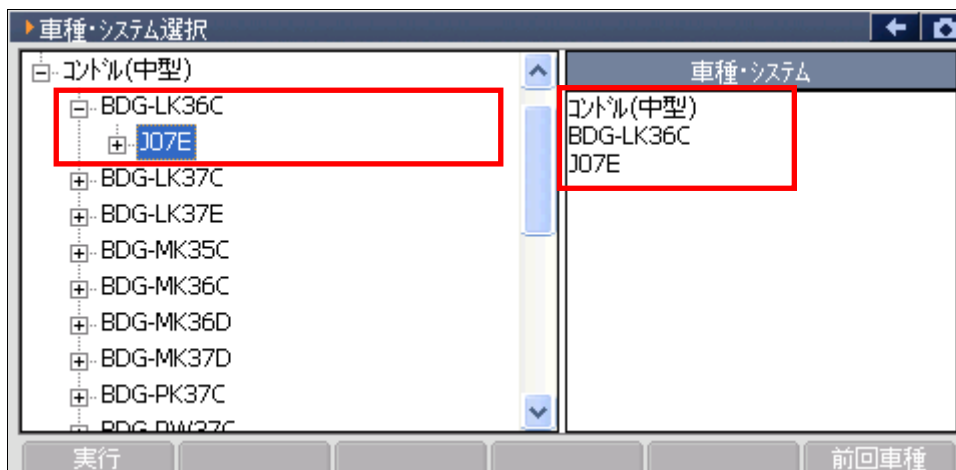


〈図:車種名の選択〉

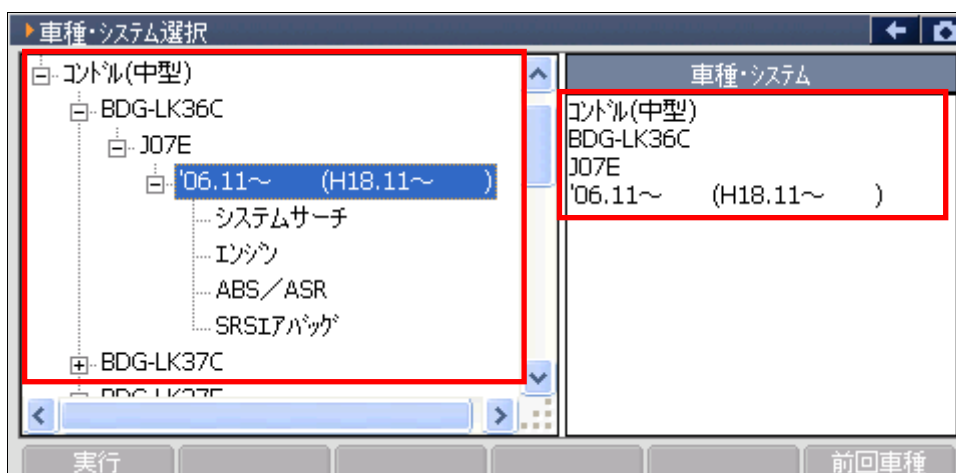
5) 同様に、診断する車両の型式、エンジン型式、年式を選択してください。



〈図: 型式の選択〉

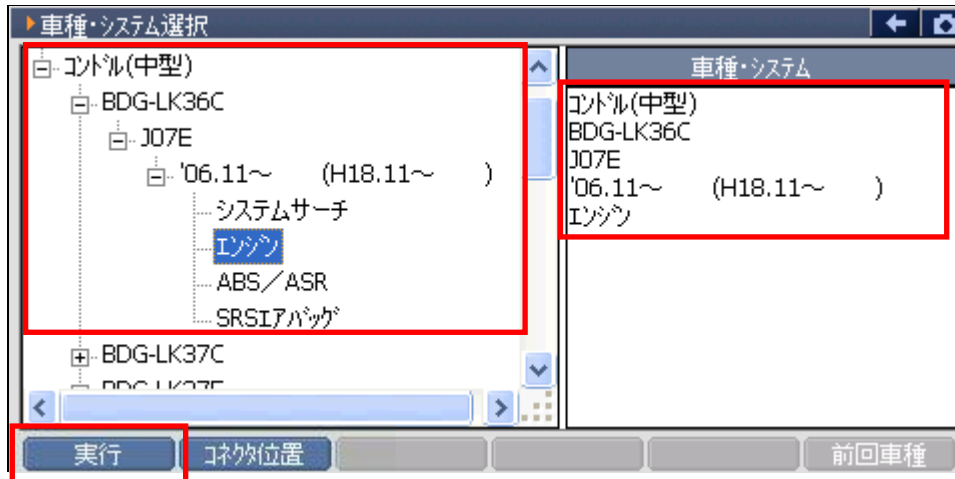


〈図: エンジン型式の選択〉



〈図: 年式の選択〉

6) 診断するシステムを選択して **実行** ボタンをタッチ、又は **F1** ボタンを押してください。



〈図:システムの選択〉

※注意と補足※

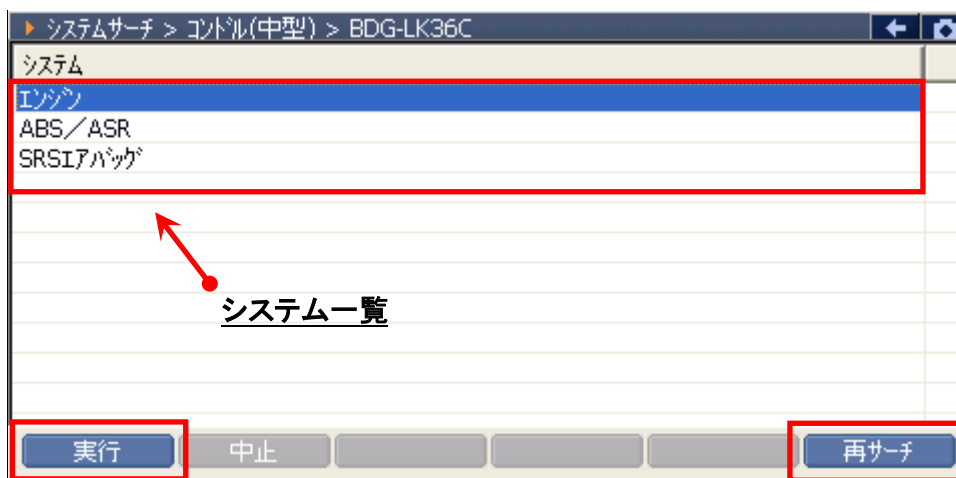
- ・ 車種、システムの選択は正確に行ってください。正確に車種・システム選択が行われないと故障コード違いや、データ違い、通信異常の原因になります。
- ・ 車種・システム選択画面で **前回車種** ボタンをタッチ、又は **F5** ボタンを押すと、前回選択した車種、システムを自動で選択します。

- ・ システムサーチとは通信可能なシステムを検索する機能です。

システムサーチを実行すると、画面に通信可能なシステム一覧を表示します。

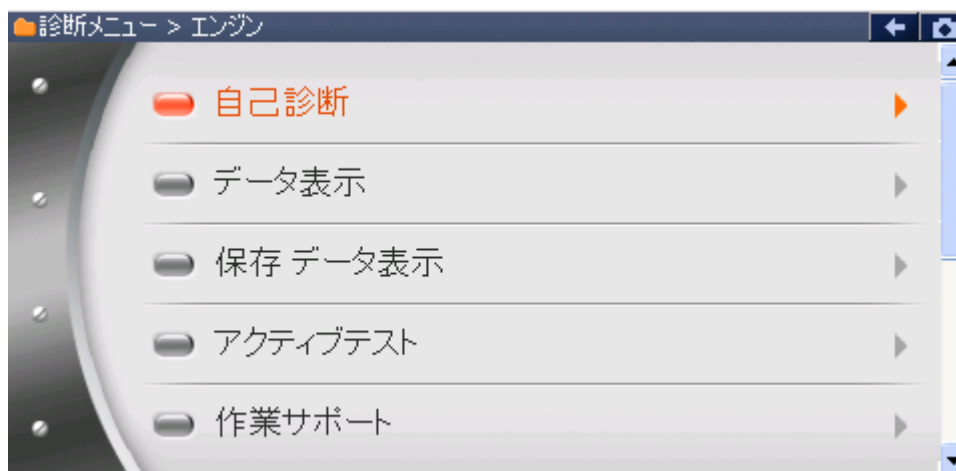
システム一覧から、システムを選択後 **実行** ボタンをタッチ、又は **F1** ボタンを押すと選択したシステムと通信が開始され、7)の診断メニューが表示されます。

再サーチ ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押すと再度システムサーチを行います。



〈図：システムサーチ画面〉

7) 車種・システムの選択が正しく行われると診断メニューが表示されます。



〈図：診断メニュー画面〉

※注意と補足※

- ・ 上記の診断メニューはエンジンを選択した例です。診断メニューに表示される診断機能は車種、システムによって異なります。
対応システムと機能の関係に関してはP6をご参照ください。

診断機能

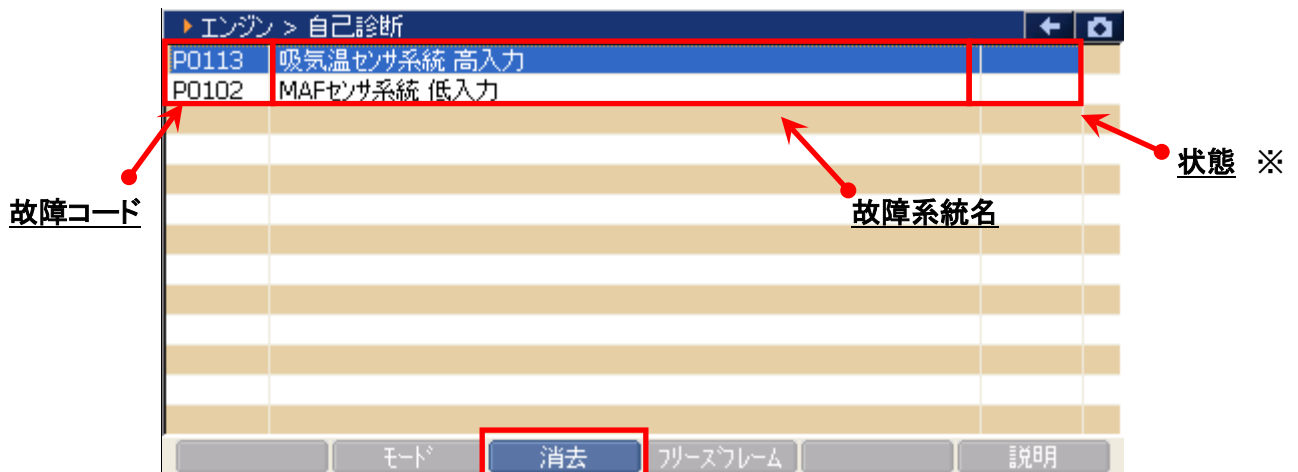
自己診断機能.....	P29
データ表示機能.....	P34
保存データ表示機能.....	P52
CAN診断サポートモニタ機能.....	P63
アクティブテスト機能.....	P67
作業サポート機能.....	P71
識別情報表示機能.....	P148

1) 診断メニューにおいて『自己診断』選択して、**ENTER** ボタンを押してください。



〈図: 診断メニューにて自己診断を選択〉

2) 自己診断画面が表示され、記憶された故障コードが表示されます。



〈図: 自己診断画面〉

故障コード : SAEコード(例:P0113)が表示されます。

故障系統名 : 故障系統名が表示されます。
故障内容の詳細に関しては、UDトラックスのサービスマニュアルをご参照ください。

故障の検出状態を表示します。

「現在」 : 現在発生している故障コードを検出したことを意味します。

状態 : 「間欠」 : 間欠的に発生している故障コードを検出したことを意味します。

「未確」 : 2トリップ連続故障検出法※を使用する故障コードで、1回目に検出された故障に対して「1t」と表示されます。

「過去」 : 過去に発生した故障コードを検出したことを意味します。

故障を検出してから、何回走行したかを表しています。走行回数の計測法はクランキングの回数による車両と暖機運転の回数による車両があります。

時期 : 「0」: 現在も故障を検出している状態を意味します。

「1t」: 2トリップ連続故障検出法※を使用する故障コードで、1回目に検出された故障に対して「1t」と表示されます。

「1~255」: 故障を検出してからの走行回数を表示しています。

消去 自己診断記憶を消去します。【詳細はP31 3)を参照】

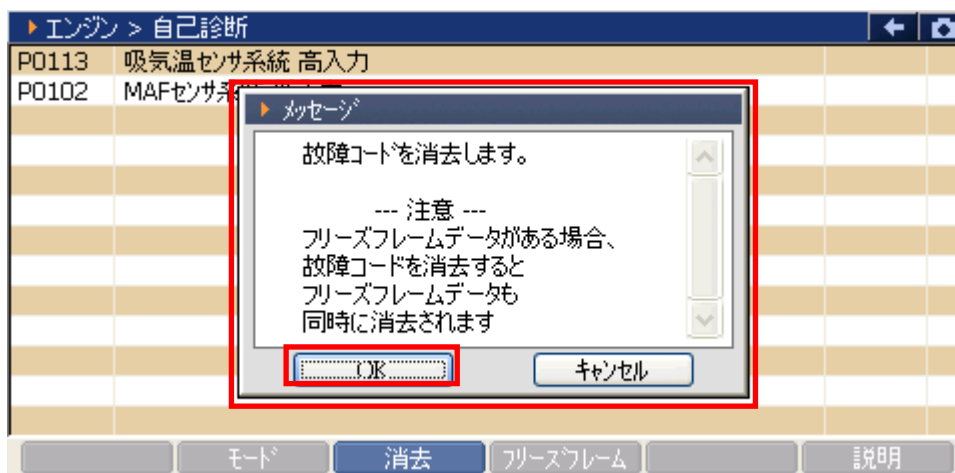
フリーズフレーム フリーズフレームデータを表示します。【詳細はP32を参照】

※2トリップ連続故障検出法: 誤診断防止のため、IG SWのOFF/ONをはさんだ2回の連続する走行で2回とも同じ故障が検出されないと故障と判断しない故障検出方法。

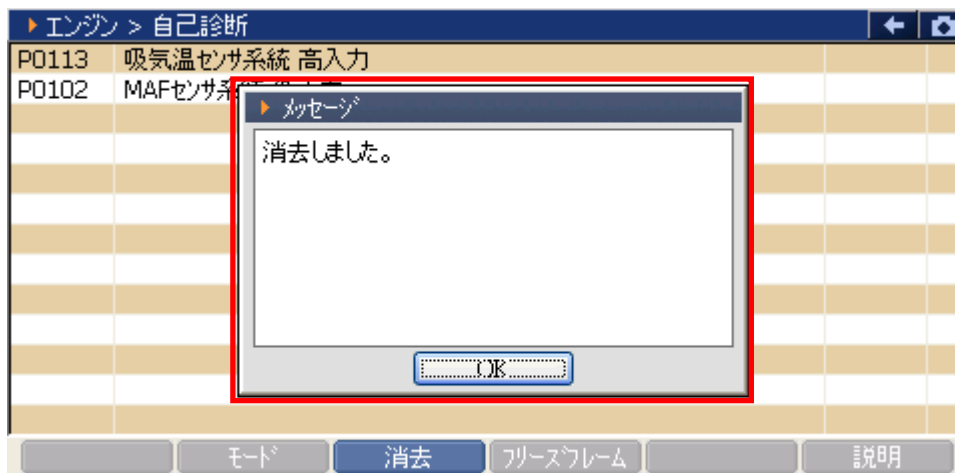
※注意と補足※

- ・ 自己診断画面の表示形式は診断するシステムによって異なります。

- 3) **消去** ボタンをタッチ、又は **F3** ボタンを押すと故障コードを消去します。以下の画面が表示されますので、**OK** ボタンをタッチして故障コードを消去してください。



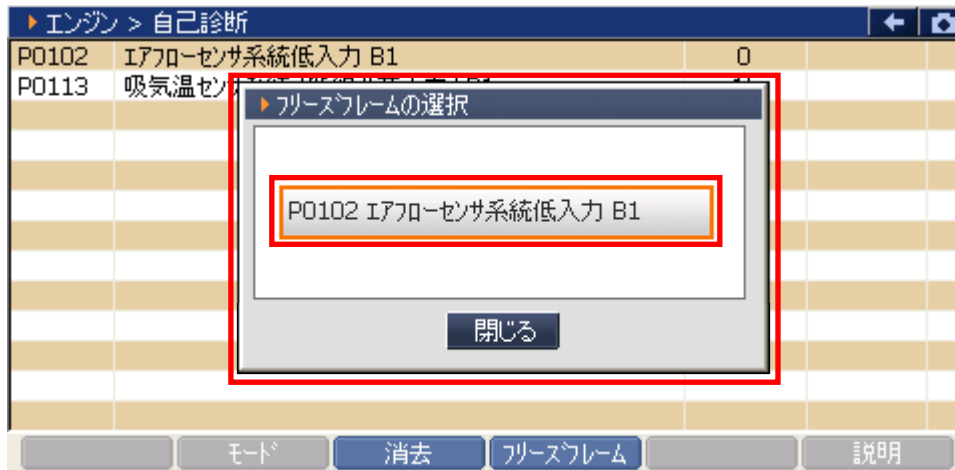
〈図: 故障コードの消去〉



〈図: 故障コードの消去完了〉

フリーズフレーム ボタンの詳細

- ① フリーズフレーム ボタンをタッチ、又は **F4** ボタンを押すと以下の画面が表示されます。フリーズフレームデータを表示する故障コードを選択してください。



〈図: 表示するフリーズフレームデータの選択〉

- ② 故障コードを選択すると、フリーズフレームデータが表示されます。

戻る ボタンをタッチ、又は **F1** ボタンを押すと自己診断画面に戻ります。

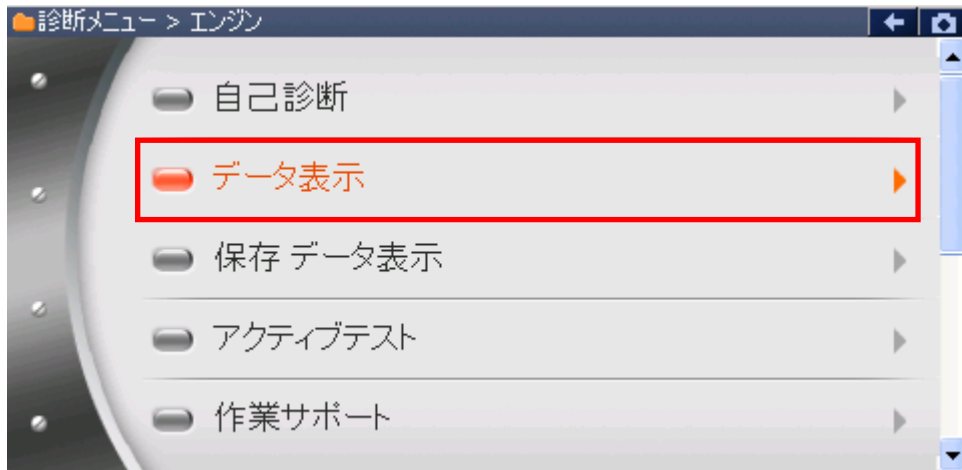
項目	値	単位
燃料システムステータス B1	モード5	-
水温センサ	88	℃
空燃比学習値 B1	100.0	%
空燃比補正值 B1	100.0	%
エンジン回転数	1344	rpm
車速センサ	0	Km/h
スロットル開度	1.0	%
噴射パルス	4.4	mS
吸気温センサ	-45	℃

〈図: フリーズフレームデータの表示〉

※注意と補足※

- ・ フリーズフレームデータとは故障コード発生・検出時のデータがECU(エンジンコンピュータ)によって記録されたものです。記憶されるデータの種類は車載ECUによって決められていて、故障コードの種類には関係なく決まった種類(主にエミッション関係)のデータが記憶されます。
- ・ フリーズフレームデータは故障コード消去後、最初の故障コード発生と同時に1回だけ記憶されます。
- ・ フリーズフレームデータは故障コードを消去する時に同時に消去されます。
- ・ フリーズフレームデータの表示は一部の車種のエンジンのみ対応です。

1) 診断メニューにおいて『データ表示』を選択して **ENTER** ボタンを押してください。



〈図: 診断メニューにてデータ表示を選択〉

2) データ表示画面が表示され、リアルタイムなデータが数値で表示されます。

項目名 現在値 単位

項目名	現在値	単位	項目名	現在値	単位
エンジン冷却水温	85	°C	噴射量補正量 #3	18.3	mm...
エンジン回転数	601	rpm	噴射量補正量 #4	11.7	mm...
車速	0	Km/h	噴射量補正量 #5	8.4	mm...
吸入空気温度	36	°C	燃料噴射量	12.4	mm...
吸入空気量	21.87	gm/s	目標エンジン回転数	600	rpm
燃料圧力	35550	kPa	目標モトルール圧力	36	MPa
大気圧	100	kPa	触媒手動再生状態	OFF	-
アクセルセンサNo.1開度	17.3	%	触媒昇温不良	正常	-
アクセルセンサNo.2開度	17.6	%	サライボック制御モード	通常	-
メイン噴射時期	8.5	°CA	燃料添加量異常	正常	-
噴射量補正量 #1	9.5	mm...	DPR制御モード	未定義	-
噴射量補正量 #2	5.0	mm...	サライボック学習	未完	-

Navigation: << 1/5 2/5 >>

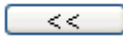
Buttons: 機能 | 1画面詳細 | 記録 | 選択項目

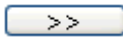
〈図: データ表示画面〉


項目名 : 項目名が表示されます。


現在値 : 現在値が表示されます。


単位 : 単位が表示されます。

 前のページを表示します。


 次のページを表示します。

 **機能** 最大最小値のリセットを行います。【詳細はP38を参照】

 **1画面詳細** 1画面表示に切替えます。【詳細はP36 3)を参照】

 **参考値** 参考値を表示します。【詳細はP39を参照】

 **記録** データを記録します。【詳細はP43を参照】

 **選択項目** 表示する項目を選択します。【詳細はP49を参照】

※注意と補足※

- ・ 表示される項目名は車種、システムによって異なります。

- 3) **1画面詳細** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押すと2画面で表示されていたデータを1画面に表示することができます。

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
イグニッション電圧	27.8	V	27.8	27.8
バッテリー電圧	27.6	V	27.6	27.6
目標アイドル回転速度	600	rpm	600	600
エンジン回転速度	600	rpm	600	600
メイン燃料噴射時期	-9	degCA	-9	-9
フル燃料噴射量	4	mm ³ /s	4	4
アクセルペダルセンサ1	0.5	V	0.5	0.5
アクセルペダルセンサ2	4.3	V	4.3	4.3
アクセルペダル開度	0	%	0	0
目標フェーイルール圧	30.0	MPa	30.0	30.0
実フェーイルール圧	30.0	MPa	30.0	30.0
フェーイルール圧(実-目標)	0.0	MPa	0.0	0.0

〈図: データ表示画面 1画面表示〉

項目名 : 項目名が表示されます。

現在値 : 現在値が表示されます。

単位 : 単位が表示されます。

最大値/最小値 : 最大値と最小値が表示されます。

- 機能** 最大最小値のリセットを行います。【詳細はP38を参照】
- 2画面表示** 2画面表示に切替えます。
- 参考値** 参考値を表示します。【詳細はP39を参照】
- グラフ** 数値で表示されているデータをグラフで表示します【詳細はP40を参照】
- 記録** データを記録します。【詳細はP43を参照】
- 選択項目** 表示する項目を選択します。【詳細はP49を参照】

※注意と補足※

- 『圧力』、『速度』、『温度』、『空気量』に含まれる項目の場合、単位の部分をタッチすると以下の画面が表示され、単位を変更することができます。

エンジン > データ表示(全項目)

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
イグニッション電圧	27.8	V	27.8	27.8
バッテリー電圧	27.6	V	27.6	27.6
目標アイドル回転速度	600	rpm	600	600
エンジン回転速度	600	rpm	600	600
メイン燃料噴射時期	-9	degCA	-9	-9
フル燃料噴射量	4	mm ³ /s	4	4
アクセルペダルセンサ1	0.5	V	0.5	0.5
アクセルペダルセンサ2	4.3	V	4.3	4.3
アクセルペダル開度	0	%	0	0
目標フェイェル圧	30.0	MPa	30.0	30.0
実フェイェル圧	30.0	MPa	30.0	30.0
フェイェル圧(実-目標)	0.0	MPa	0.0	0.0

機能 2画面表示 グラフ 記録 選択項目

〈図: 単位をタッチ〉


エンジン > 単位

圧力	温度	速度	空気量
<input type="radio"/> inHg	<input type="radio"/> °F	<input type="radio"/> MPH	<input type="radio"/> lb/h
<input type="radio"/> psi	<input type="radio"/> °C	<input type="radio"/> km/h	<input type="radio"/> lb/m
<input type="radio"/> mbar			<input type="radio"/> gm/s
<input type="radio"/> bar			
<input type="radio"/> kPa			
<input checked="" type="radio"/> MPa			
<input type="radio"/> mmHg			

OK キャンセル

〈図: 単位変更画面〉

機能 ボタンの詳細

- ① 機能 ボタンをタッチ、又は  ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

エンジン > データ表示(全項目)

イグニッション電圧	27.8 V	フェーイルレール圧センサ	1.4 V
バッテリー電圧	27.6 V	レール圧フィードバックモード	5 -
目標アイドル回転速度	600 rpm	レール圧レギュレータ駆動...	32 %
エンジン回転速度	600 rpm	レール圧レギュレータ電圧...	954 mA
メイン燃料噴射時期	-9 deg...	ボックシ差学習完了...	YES -
フル燃料噴射量	4 mm...	エンジン冷却水温センサ	0.7 V
アクセルペダルセンサ1	0.5 V	エンジン冷却水温	69 °C
アクセルペダルセンサ2	4.3 V	吸気温度センサ	1.9 V
アクセルペダル開度	0 %	吸気温度	28 °C
目標フェーイルレール圧	30.0 MPa	燃料温度センサ	1.3 V
実フェーイルレール圧	30.0 MPa	燃料温度	45 °C
フェーイルレール圧(実)	0.0 MPa	大気圧センサ	2.3 V
最大最小値リセット	/8		2/8 >>

機能 1画面詳細 記録 選択項目

〈図: 2画面表示状態で機能ボタンをタッチ〉

エンジン > データ表示(全項目)

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
イグニッション電圧	27.8	V	27.8	27.8
バッテリー電圧	27.6	V	27.6	27.6
目標アイドル回転速度	600	rpm	600	600
エンジン回転速度	600	rpm	600	600
メイン燃料噴射時期	-9	degCA	-9	-9
フル燃料噴射量	4	mm ³ /s	4	4
アクセルペダルセンサ1	0.5	V	0.5	0.5
アクセルペダルセンサ2	4.3	V	4.3	4.3
アクセルペダル開度	0	%	0	0
目標フェーイルレール圧	30.0	MPa	30.0	30.0
実フェーイルレール圧	30.0	MPa	30.0	30.0
最大最小値無し				
最大最小値リセット	0.0	MPa	0.0	0.0

機能 2画面表示 グラフ 記録 選択項目

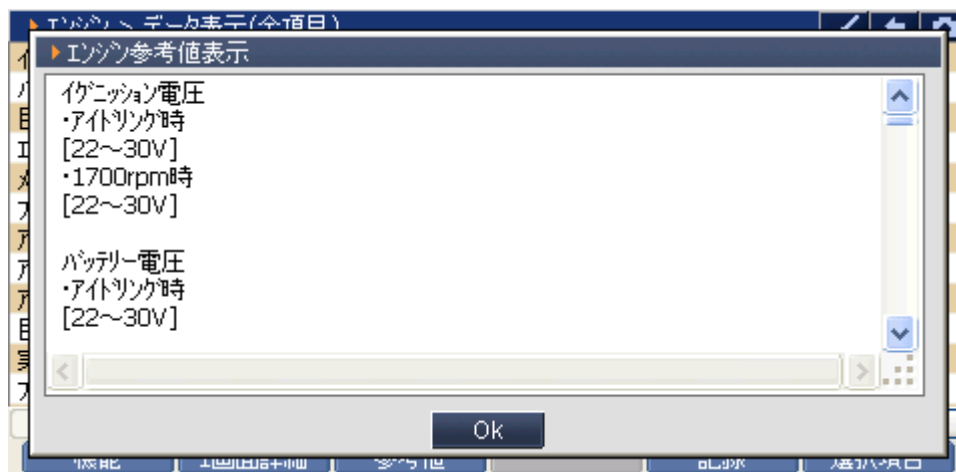
〈図: 1画面表示状態で機能ボタンをタッチ〉

最大最小値無し : 最大値、最小値の列を非表示にします。
『最大最小値無し』は1画面表示状態のみ表示されます。

最大最小値リセット : 最大値、最小値をリセットします。

参考値 ボタンの詳細

- ① 参考値 ボタンをタッチ、又は **F3** ボタンを押すとエンジン参考値が表示されます。



〈図: 参考値表示画面〉

※注意と補足※

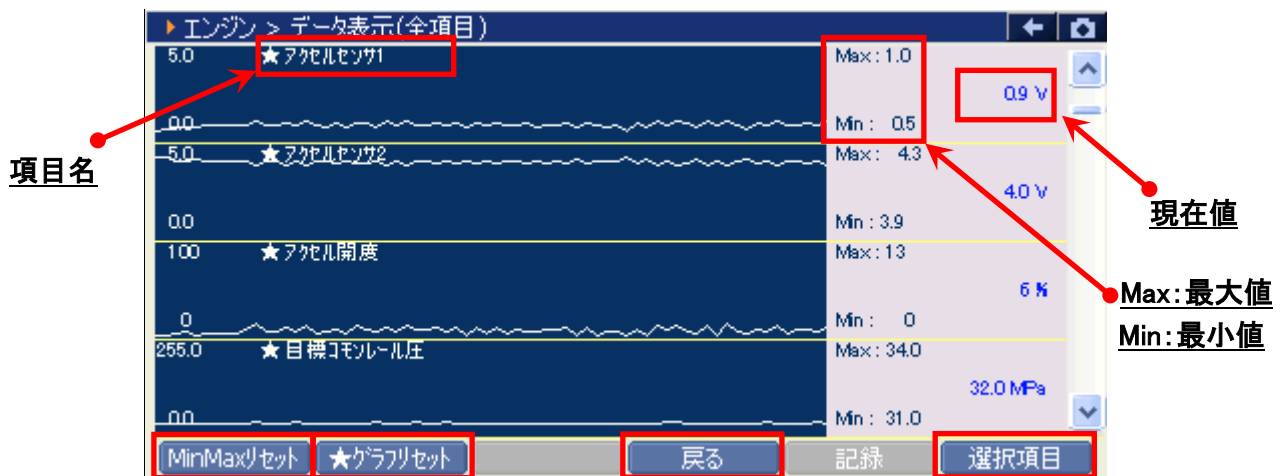
- ・ 参考値表示はエンジンのみの機能です。エンジン以外のシステムでは 参考値 ボタンは表示されません。
- ・ 一部のエンジン型式では参考値表示がされませんのでご注意ください。

グラフ ボタンの詳細

- ① 1画面表示状態で画面下部の **グラフ** ボタンをタッチ、又は **F4** ボタンを押すと数値で表示されていたデータがグラフで表示されます。

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
イグニッション電圧	27.8	V	27.8	27.8
バッテリー電圧	27.6	V	27.6	27.6
目標アイドル回転速度	600	rpm	600	600
エンジン回転速度	600	rpm	600	600
メイン燃料噴射時期	-9	degCA	-9	-9
フル燃料噴射量	4	mm ³ /s	4	4
アクセルペダルセンサ1	0.5	V	0.5	0.5
アクセルペダルセンサ2	4.3	V	4.3	4.3
アクセルペダル開度	0	%	0	0
目標フェイルレール圧	30.0	MPa	30.0	30.0
実フェイルレール圧	30.0	MPa	30.0	30.0
フェイルレール圧(実-目標)	0.0	MPa	0.0	0.0

〈図:1画面表示状態〉



〈図:グラフ表示画面〉

項目名 : 項目名が表示されます。

現在値 : 現在値が表示されます。

Max/Min : 最大値/最小値が表示されます。

MinMaxリセット : 最大値、最小値をリセットします。

★グラフリセット : グラフの数値軸の幅を最大値/最小値に合わせて補正します。【詳細はP41を参照】

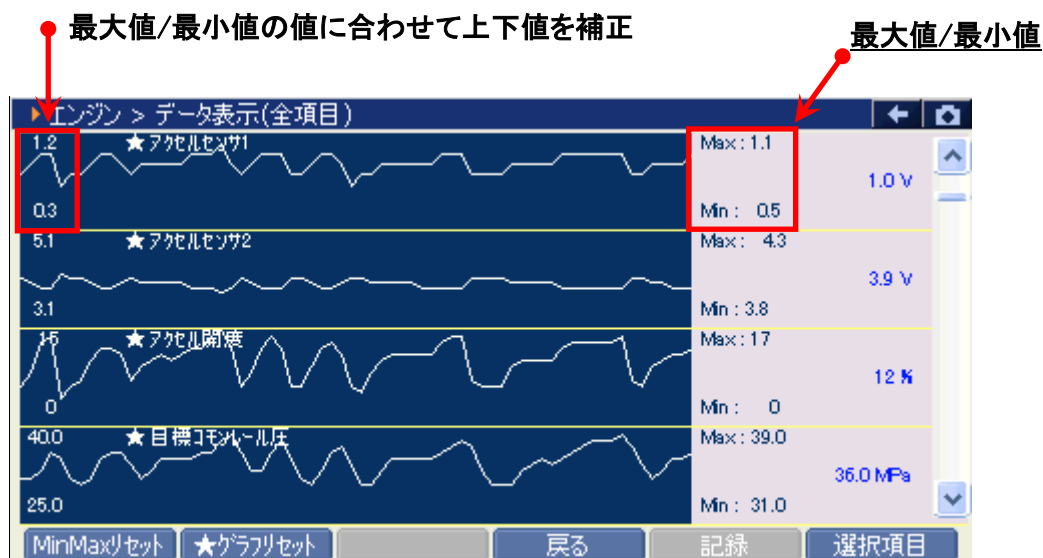
戻る : 数値表示に戻ります。

選択項目 : 表示する項目を選択します。【詳細はP49を参照】

- ② グラフ表示画面で画面下部の **★グラフリセット** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押すと、グラフの縦軸である数値軸の上下値の幅が、グラフリセットを実行した時点の最大値/最小値に合わせた上下値の幅に補正されます。



〈図:グラフリセット前〉



〈図:グラフリセット後〉

※注意と補足※

- ・ グラフリセットは、画面に表示している項目にのみ実行されます。
- ・ 項目名の左に☆印が付いている項目のみグラフリセットに対応しています。
その他の項目は、グラフリセットを実行しても上下値の補正は行われません。

記録 ボタンの詳細

- ① **記録** ボタンをタッチ、又は **F5** ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

エンジン > データ表示(全項目)				
項目名	現在値	単位	最小値	最大値
イグニッション電圧	27.8	V	27.8	27.8
バッテリー電圧	27.6	V	27.6	27.6
目標アイドル回転速度	600	rpm	600	600
エンジン回転速度	600	rpm	600	600
メイン燃料噴射時期	-9	degCA	-9	-9
フル燃料噴射量	4	mm3/s	4	4
アクセルペダルセンサ1	0.5	V	0.5	0.5
アクセルペダルセンサ2	4.3	V	4.3	4.3
アクセルペダル開度	0	%	0	0
目標フェーイルレール圧	30.0	MPa		30.0
実フェーイルレール圧	30.0	MPa		30.0
フェーイルレール圧(実-目標)	0.0	MPa		0.0

機能 2画面表示 グラフ **記録** 選択項目

〈図:2画面表示状態で記録ボタンをタッチ〉

エンジン > データ表示(全項目)					
イグニッション電圧	27.8	V	フェーイルレール圧センサ	1.4	V
バッテリー電圧	27.6	V	レール圧フィードバックモード	5	-
目標アイドル回転速度	600	rpm	レール圧レギュレータ駆動...	32	%
エンジン回転速度	600	rpm	レール圧レギュレータフィード...	954	mA
メイン燃料噴射時期	-9	deg...	ポンプ機能差学習完了...	YES	-
フル燃料噴射量	4	mm...	エンジン冷却水温センサ	0.7	V
アクセルペダルセンサ1	0.5	V	エンジン冷却水温	69	℃
アクセルペダルセンサ2	4.3	V	吸気温度センサ	1.9	V
アクセルペダル開度	0	%	吸気温度	28	℃
目標フェーイルレール圧	30.0	MPa	燃料温度センサ	1.3	V
実フェーイルレール圧	30.0	MPa	燃料温度	45	℃
フェーイルレール圧(実-目...	0.0	MPa	大気圧センサ	2.3	V

<< 1/8 >>
機能 1画面詳細 **記録** 選択項目

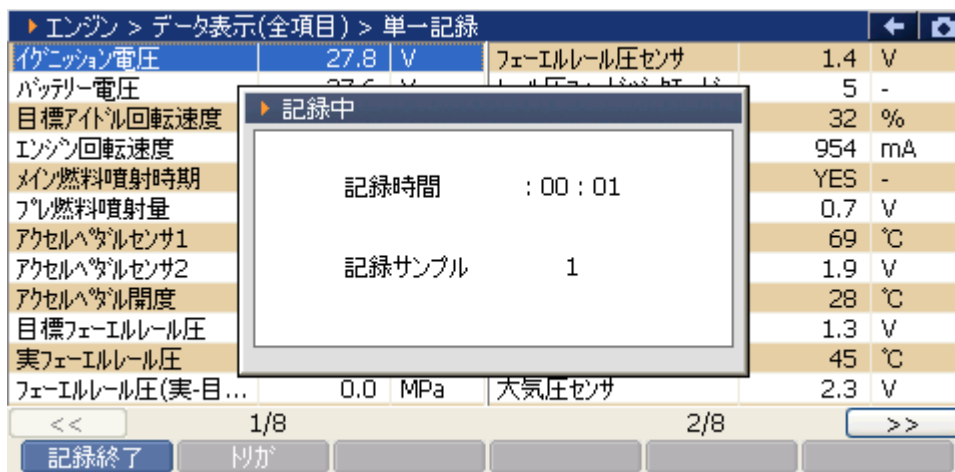
〈図:1画面表示状態で記録ボタンをタッチ〉

単一記録 : 1サンプル分のデータを記録します。【詳細はP44 ②を参照】

連続記録 : 連続したサンプルのデータを記録します。【詳細はP47 ⑥を参照】
最大記録時間は60分です。

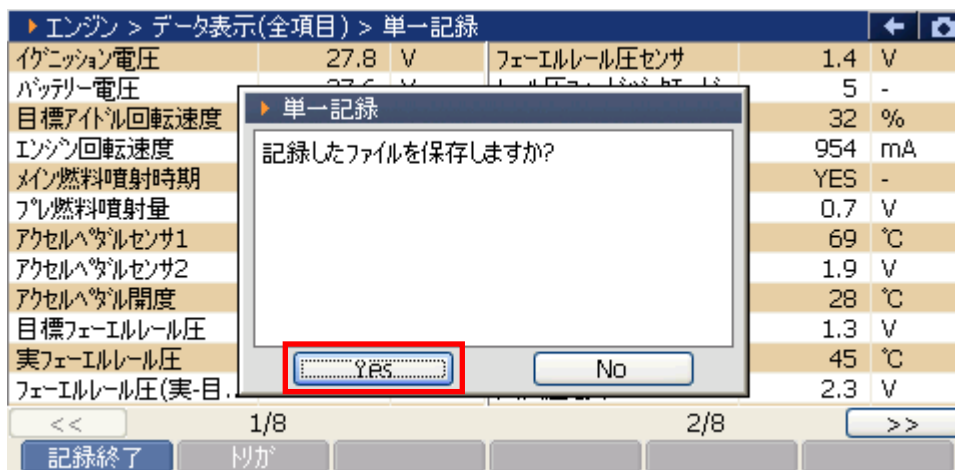
② 『単一記録』を選択すると、データの記録が開始されます。

『単一記録』では1サンプル分のデータを記録します。



〈図: 単一記録で記録中〉

③ 記録が終了すると以下の画面が表示されます。 を選択してファイルを保存してください。 を選択した場合、記録したデータは失われ閲覧することはできません。



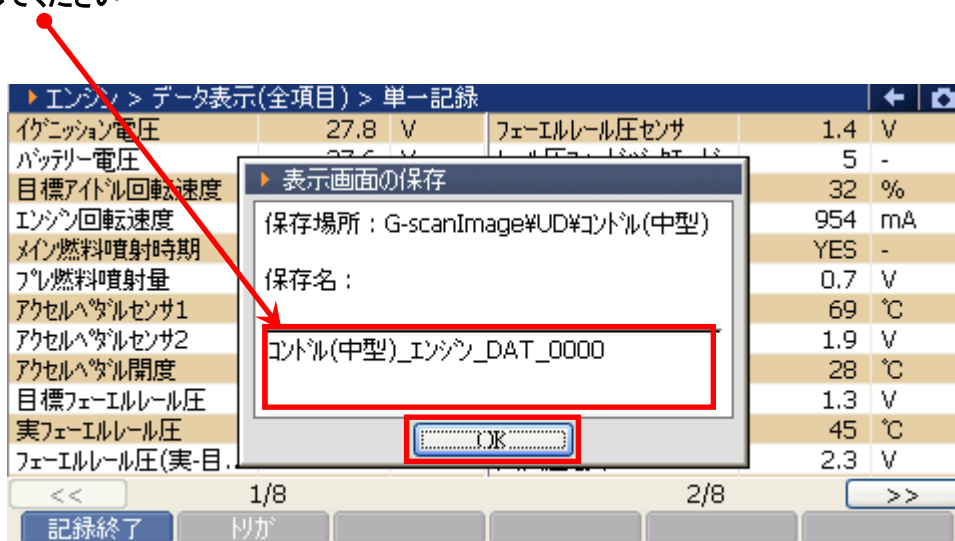
〈図: 記録完了後ファイルの保存確認〉

④ 保存ファイル名の確認画面が表示されます。

よろしければ、 をタッチして記録データを保存してください。

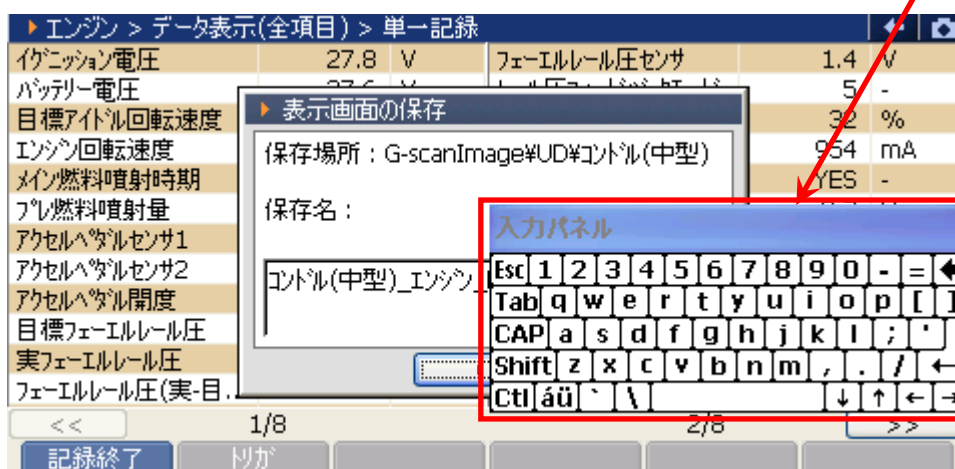
ファイル名を変更する場合は、ファイル名が表示されている部分をタッチしてください。入力パネルが表示されます。入力パネルを操作してファイル名を変更してください。

ファイル名を変更する場合は
タッチしてください



〈図: 保存ファイル名の確認〉

入力パネル



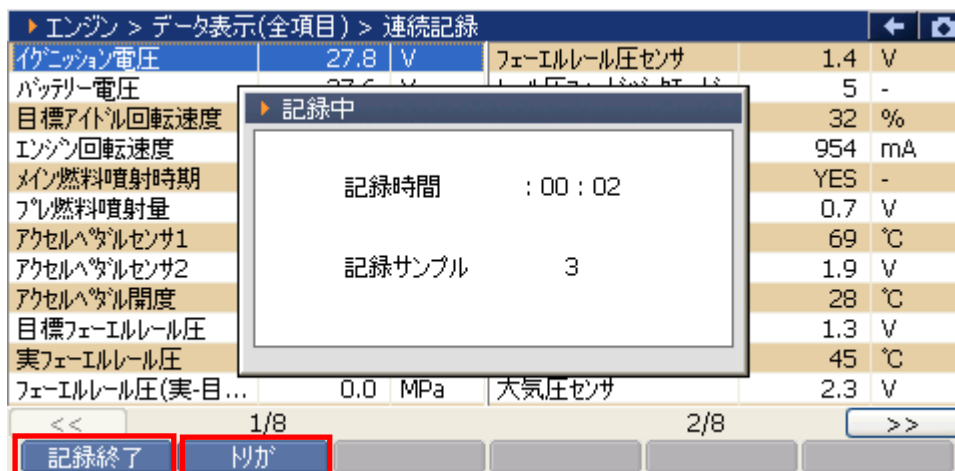
〈図: 保存ファイル名の変更〉

- ⑤ ファイルの保存が完了すると、記録したデータが表示されます。
詳細に関してはP52をご参照ください。

サンプル	イグニッション電圧 (V)	バッテリー電圧 (V)	目標アイドル回転速度 (rpm)	エンジン回転速度 (rpm)
0	27.8	27.6	600	600

〈図: 保存データ表示画面〉

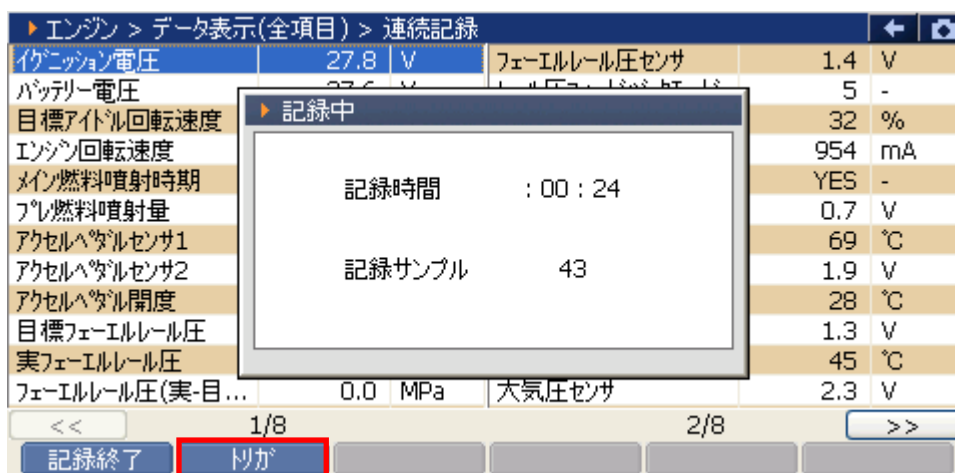
- ⑥ 『連続記録』を選択すると、データの記録が開始されます。
『連続記録』では、連続したサンプルのデータを記録します。



〈図:連続記録で記録中〉

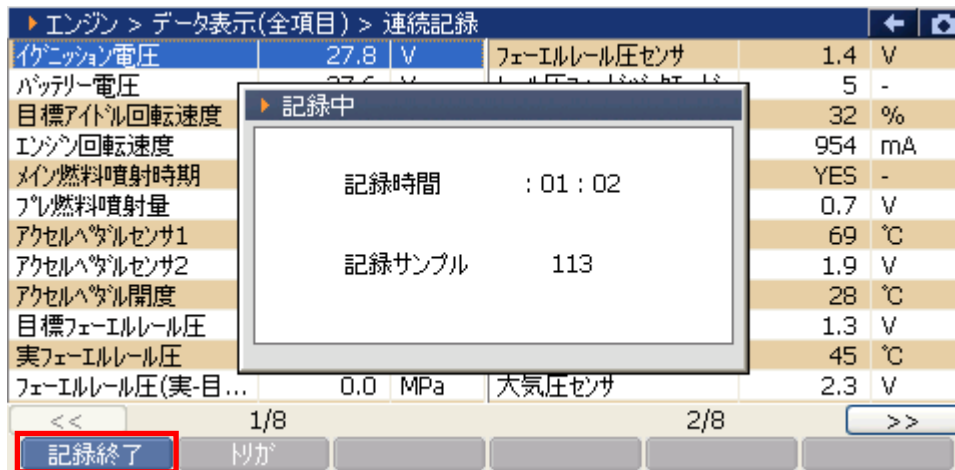
- トリガ** トリガ機能を使用します。【詳細は⑦を参照】
- 記録終了** 記録を終了します。【詳細はP48 ⑧を参照】

- ⑦ 記録中に **トリガ** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押すとトリガ機能を使用することができます。トリガ機能を使用するとトリガ前(-1.-2.-3サンプル.....)、トリガ後(1.2.3サンプル.....)のデータを記録することができます。



〈図:トリガボタンを選択〉

- ⑧ 記録を終了する場合は、**記録終了** ボタンをタッチ又は **FI** ボタンを押してください。尚、トリガ機能を使用しない場合、記録開始から記録終了まで (0サンプル～.....) のデータを記録します。
- 記録終了後、記録したファイルを保存してください。ファイルの保存に関してはP44 ③、P45 ④をご参照ください。



〈図：記録終了〉

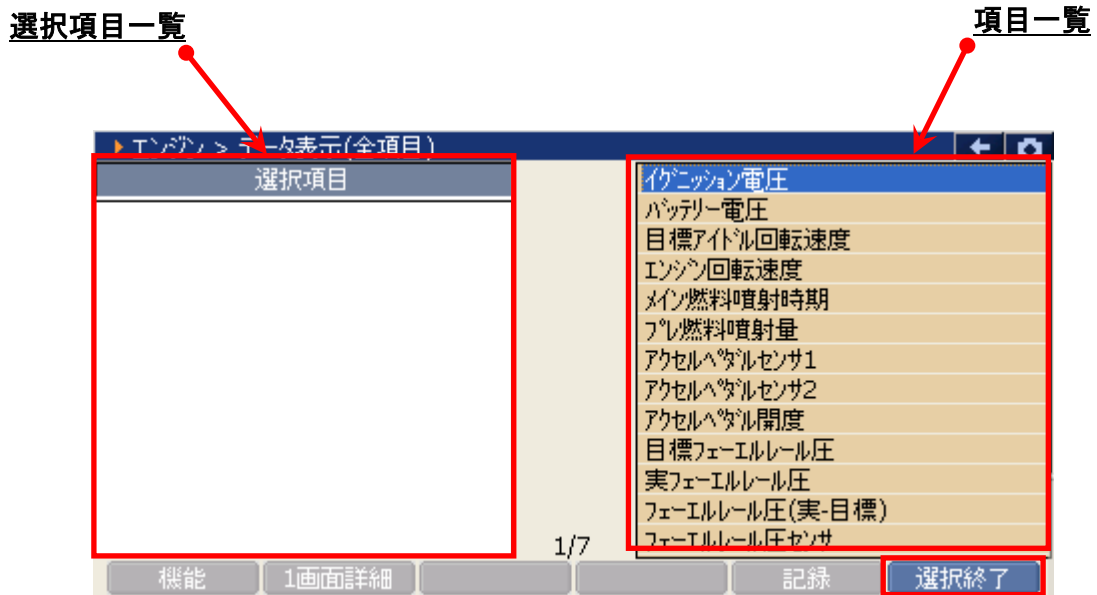
- ⑨ ファイルの保存が完了すると記録したデータが表示されます。詳細に関してはP52をご参照ください。

サンプル	イグニッション電圧 (V)	バッテリー電圧 (V)	目標アイドル回転速度 (rpm)	エンジン回転速度 (rpm)
-5	27.8	27.6	600	600
-4	27.8	27.6	600	600
-3	27.8	27.6	600	600
-2	27.8	27.6	600	600
-1	27.8	27.6	600	600
0	27.8	27.6	600	600
1	27.8	27.6	600	600
2	27.8	27.6	600	600
3	27.8	27.6	600	600
4	27.8	27.6	600	600

〈図：保存データ表示画面〉

■ 選択項目 ボタンの詳細

- ① **選択項目** ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



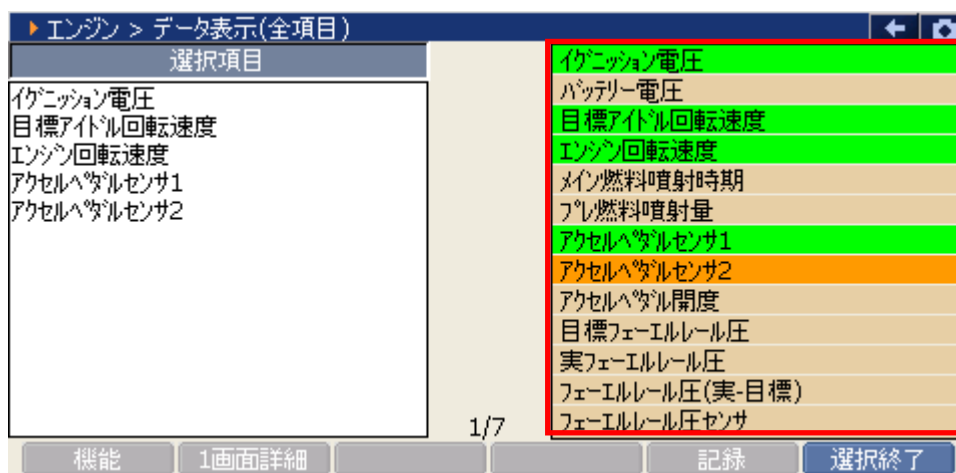
〈図: 表示項目の選択〉

選択項目一覧 : 項目名が表示されます。

項目一覧 : 項目一覧が表示されます。

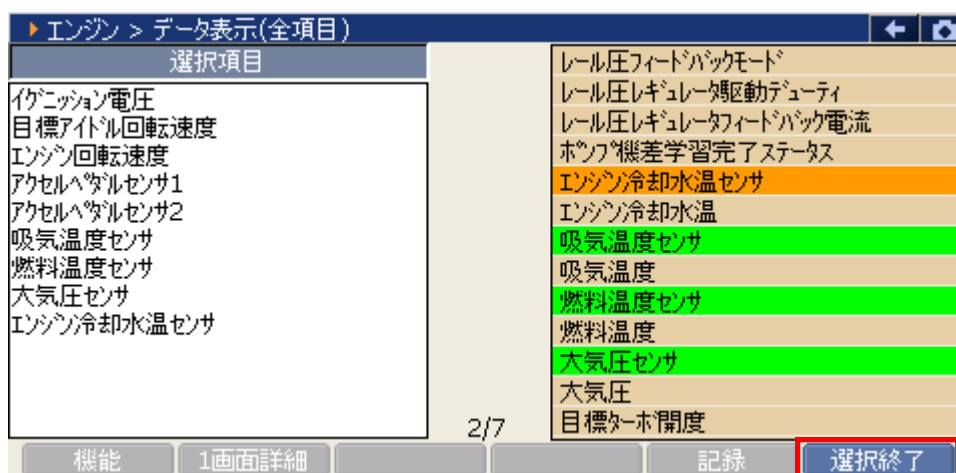
選択終了 選択を終了します。

- ② 項目一覧から、表示する項目を選択します。選択する項目にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押して表示する項目を選択してください。**←** **→** ボタンを押すと次のページを表示します。尚、選択できる項目は最大で12項目です。



〈図: 表示項目の選択〉

- ③ 項目の選択を終了する場合は、**選択終了** ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押してください。



〈図: 選択の終了〉

④ データ表示画面に選択した項目が表示されます。


全項目の表示に戻す場合は、**全項目** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押してください。

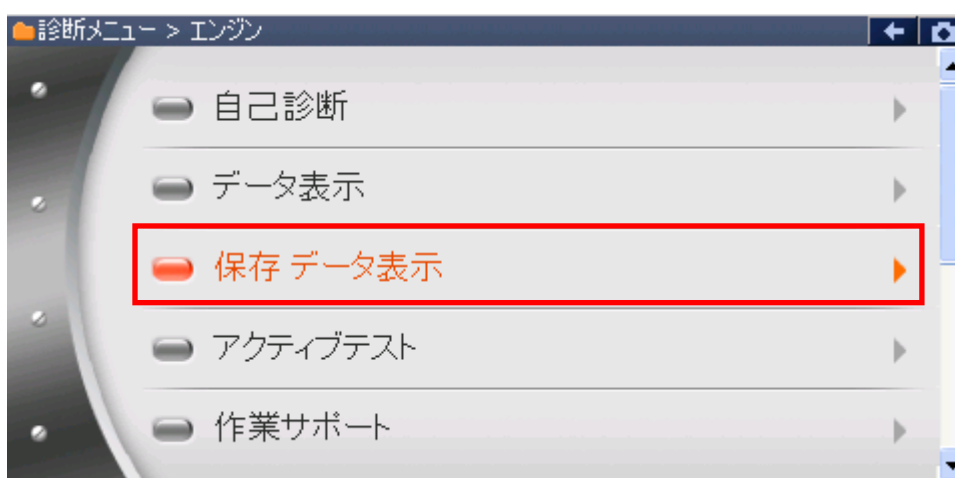


項目名	現在値	単位	最小値	最大値
イグニッション電圧	27.8	V	27.8	27.8
目標アイドル回転速度	600	rpm	600	600
エンジン回転速度	600	rpm	600	600
アクセルペダルセンサ1	0.5	V	0.5	0.5
アクセルペダルセンサ2	4.3	V	4.3	4.3
エンジン冷却水温センサ	0.7	V	0.7	0.7
吸気温度センサ	1.9	V	1.9	1.9
燃料温度センサ	1.3	V	1.3	1.3
大気圧センサ	2.3	V	2.3	2.3

機能 **全項目** グラフ 記録 選択項目

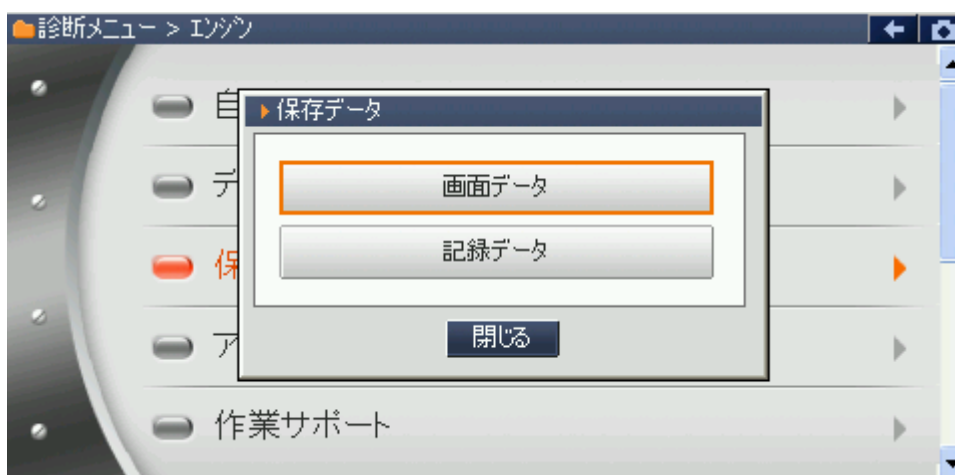
〈図: 選択項目の表示〉

- 1) 保存データ表示機能では表示画面を保存した内容を表示する画面データと、データ表示機能で記録、保存したデータを表示する記憶データを選択することができます。診断メニューにおいて『保存データ表示』を選択して  ボタンを押してください。



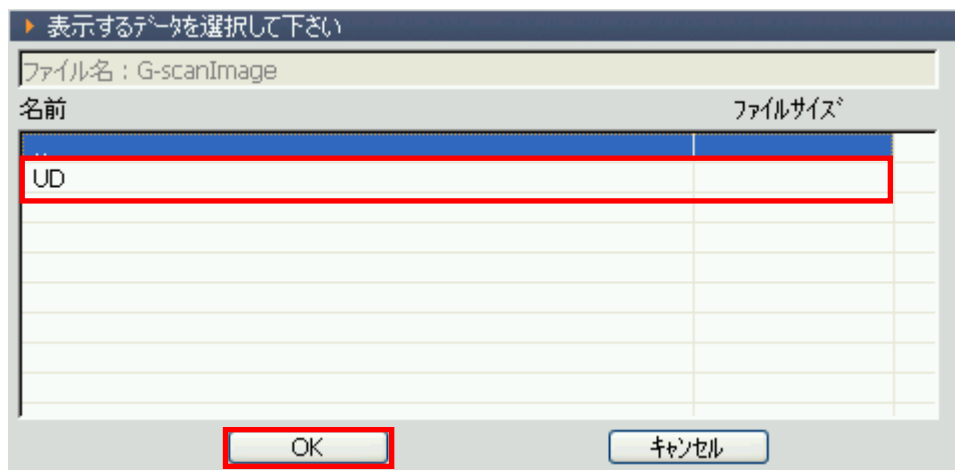
〈図: 診断メニューにて保存データ表示を選択〉

- 2) 保存データを選択すると、下記のように表示されます。画面データ、記録データのいずれかを選択してください。次に画面データを選択した場合の説明をします。



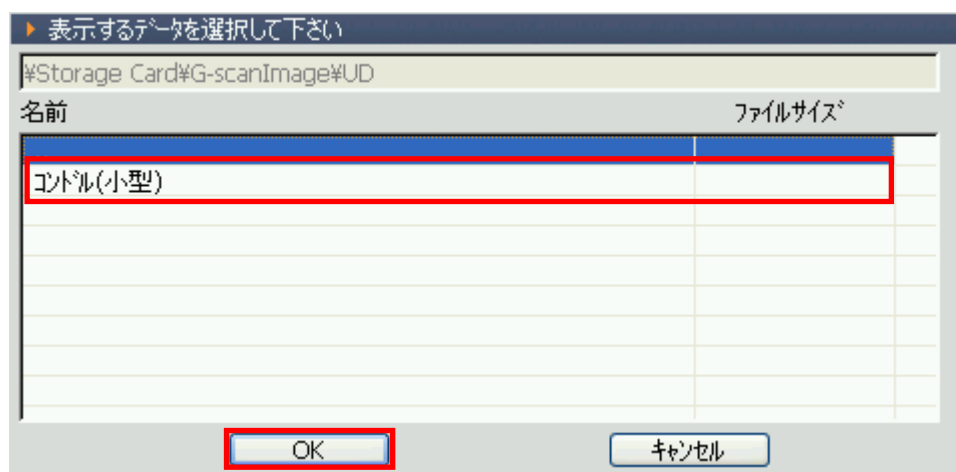
〈図: 保存データ表示を選択した後の画面〉

- 3) 画面データを選択すると、下記のように表示されます。保存されている画面データのメーカーのフォルダが表示されます。ここまではUDを選択した場合を説明します。



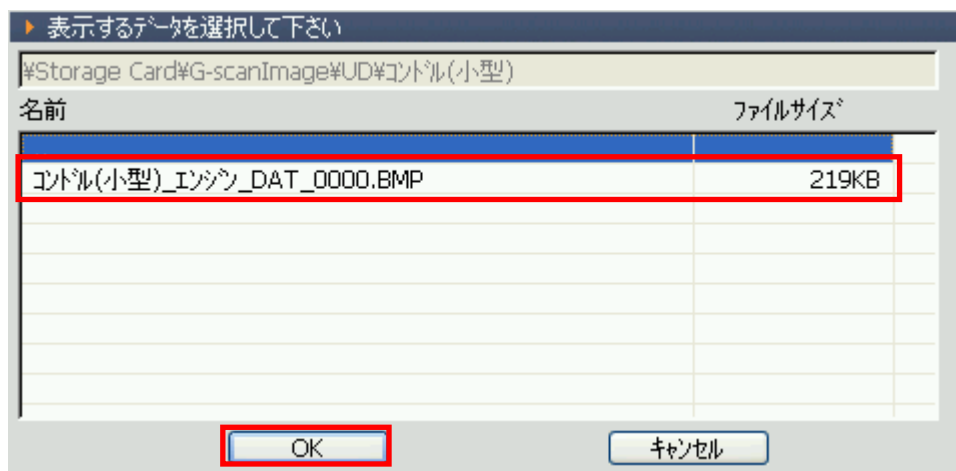
〈図：画面データ表示を選択した後の画面〉

- 4) UDを選択すると、保存されている車種名のフォルダが表示されます。ここでは、コンドル(小型)を選択します。



〈図：画面データ表示を選択した後の画面〉

5) 保存されているデータが表示されます。表示するデータを選択してください。



〈図: 保存されている画面データの選択画面〉

6) データを選択すると下記のように表示されます。

エンジン > データ表示(全項目)			
イグニッション電圧	18.2 V	フェーイルレール圧センサ	4.9 V
バッテリー電圧	17.9 V	レール圧フィードバックモード	4 -
目標アイドル回転速度	850 rpm	レール圧レギュレータ駆動...	55 %
エンジン回転速度	0 rpm	レール圧レギュレータフィード...	1 mA
メイン燃料噴射時期	0 deg...	ポンプ機差学習完了...	YES -
フル燃料噴射量	0 mm...	エンジン冷却水温センサ	4.9 V
アクセルペダルセンサ1	0.0 V	エンジン冷却水温	-40 °C
アクセルペダルセンサ2	0.0 V	吸気温度センサ	4.9 V
アクセルペダル開度	0 %	吸気温度	-40 °C
目標フェーイルレール圧	100.0 MPa	燃料温度センサ	4.9 V
実フェーイルレール圧	100.0 MPa	燃料温度	-30 °C
フェーイルレール圧(実-目...	0.0 MPa	大気圧センサ	0.0 V

前ファイル コントロール(小型)_エンジン_DAT_0000.BMP 次ファイル

〈図: 保存されている画面データの選択画面〉

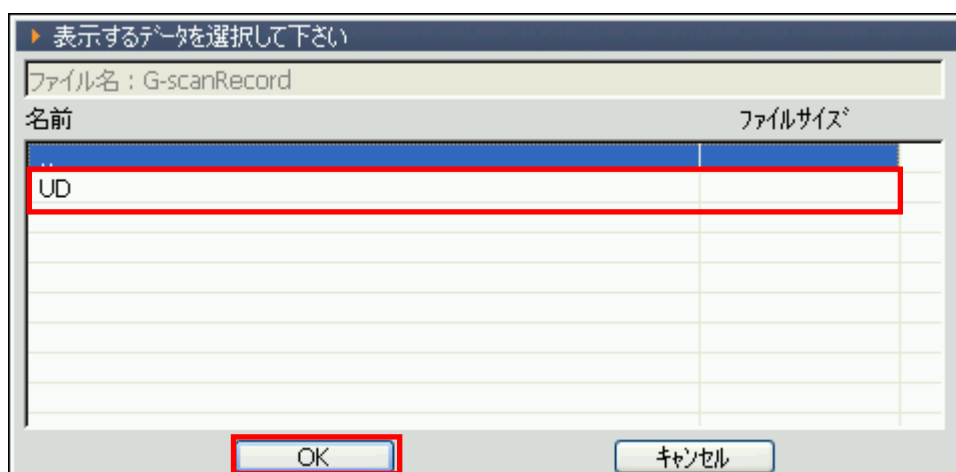
7) 次に記録データを選択した時の説明をします。記録データを選択してください。



〈図：記録データの選択〉

8) フォルダの選択画面が表示されるので『UD』を選択して

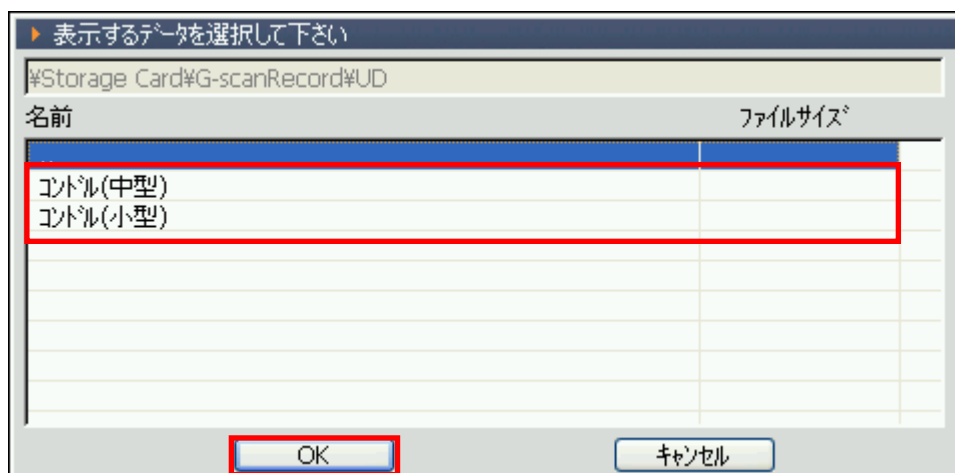
ボタンをタッチしてください。



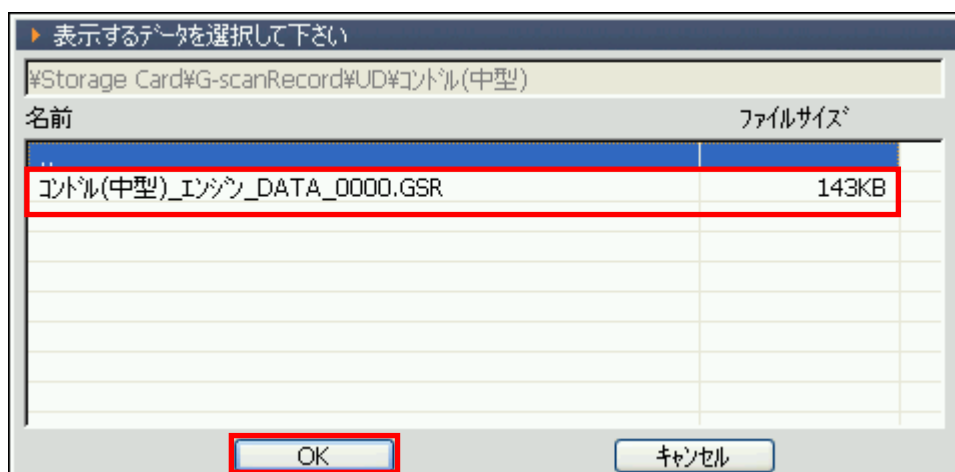
〈図：メーカーフォルダの選択〉

9) 車種名が記載されたフォルダの一覧が表示されます。

フォルダを選択して ボタンをタッチしてください。更に、保存ファイル名の一覧が表示されます。表示するファイル名を選択して ボタンをタッチしてください。



〈図：車種名フォルダの選択〉



〈図：保存ファイル一覧〉

10) データ表示で保存したデータが表示されます

サンプル	イニッション電圧 (V)	バッテリー電圧 (V)	目標アイドル回転速度 (rpm)	エンジン回転速度 (rpm)
-5	27.8	27.7	650	1539
-4	27.8	27.6	650	1487
-3	27.7	27.6	650	1438
-2	27.8	27.6	650	1435
-1	27.7	27.6	650	1412
0	27.8	27.5	650	1423
1	27.9	27.7	617	1434
2	27.8	27.7	610	1451
3	27.8	27.7	610	1472
4	27.9	27.7	610	1489

〈図: 保存データ表示画面〉


- サンプル** : 記録数が表示されます。
- 記録項目名** : 項目名が表示されます。
項目名の部分をタッチすると、横にスクロールした際その項目が固定されます。
- 記録値** : 値が表示されます。

トリガ移動 Oサンプル位置に移動します。【詳細はP58を参照】

グラフ 記録したデータをグラフで表示します。【詳細はP59を参照】

データ情報 保存したデータの情報を表示します。【詳細はP62を参照】

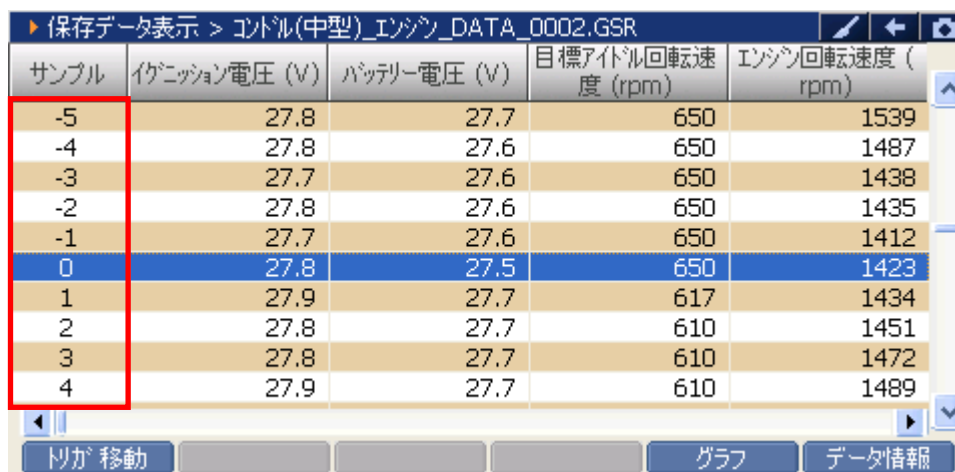
トリガ移動 ボタンの詳細

- ① トリガ移動 ボタンをタッチ、又は  ボタンを押すと0サンプルの位置に移動します。



サンプル	イグニッション電圧 (V)	バッテリー電圧 (V)	目標アイドル回転速度 (rpm)	エンジン回転速度 (rpm)
-307	27.9	27.8	665	663
-306	28.0	27.8	665	664
-305	28.0	27.8	665	669
-304	28.0	27.8	665	683
-303	27.9	27.8	665	682
-302	28.1	27.8	664	1201
-301	28.0	27.8	664	1322
-300	28.0	27.8	664	1975
-299	27.6	27.6	664	1973
-298	28.0	27.8	663	1190

〈図:トリガ移動ボタンを選択〉

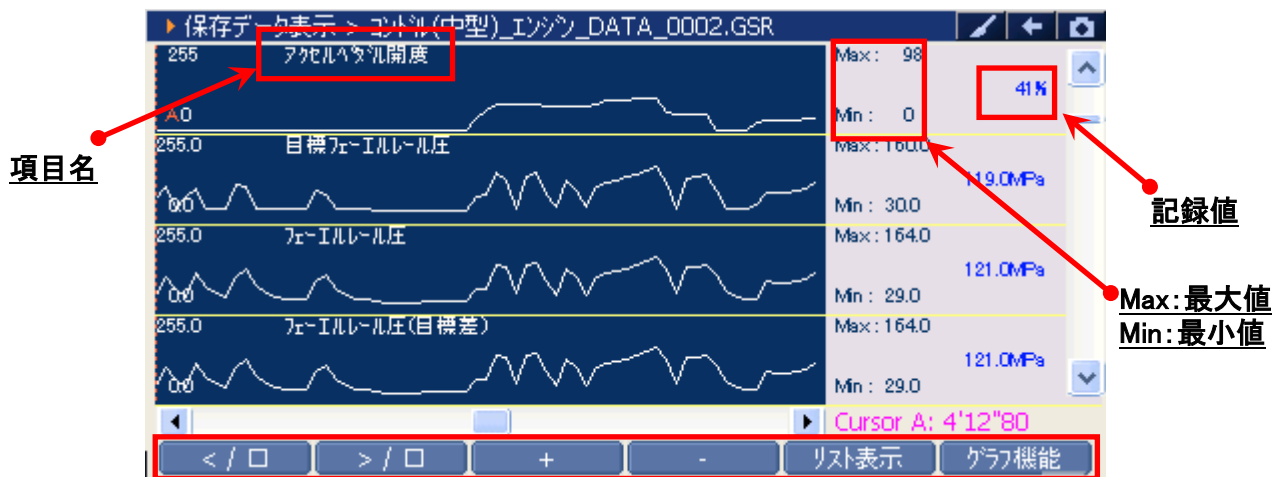


サンプル	イグニッション電圧 (V)	バッテリー電圧 (V)	目標アイドル回転速度 (rpm)	エンジン回転速度 (rpm)
-5	27.8	27.7	650	1539
-4	27.8	27.6	650	1487
-3	27.7	27.6	650	1438
-2	27.8	27.6	650	1435
-1	27.7	27.6	650	1412
0	27.8	27.5	650	1423
1	27.9	27.7	617	1434
2	27.8	27.7	610	1451
3	27.8	27.7	610	1472
4	27.9	27.7	610	1489

〈図:0サンプル位置に移動〉

グラフ ボタンの詳細

- ① **グラフ** ボタンをタッチ、又は **F4** ボタンを押すと数値で表示されていたデータがグラフで表示されます。



〈図：記録データのグラフ表示〉

項目名 : 項目名が表示されます。

記録値 : カーソルA上の値が表示されます。

最大値/最小値 : 最大値、最小値が表示されます。

- </□** グラフを左に送ります。
- >/□** グラフを右に送ります。
- +** グラフを拡大します。
- グラフを縮小します。
- リスト表示** 数値表示に戻ります。
- グラフ機能** グラフ機能を使用します。【詳細はP60 ②を参照】

- ② **グラフ機能** ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



〈図: グラフ機能の詳細〉

表示項目 : 表示する項目を選択します。【詳細は③を参照】

カーソルA移動 : コントロールをカーソルAに移動します。【詳細はP61 ④を参照】

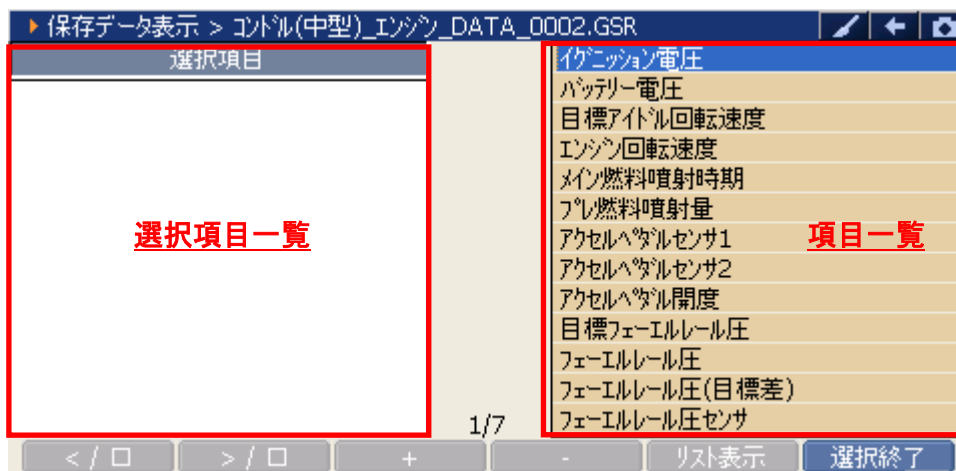
カーソルB移動 : コントロールをカーソルBに移動します。【詳細はP61 ⑤を参照】

トリガ移動 : カーソルAをトリガ位置(0サンプルの位置)に移動します。

MinMaxリセット : 最大値、最小値をリセットします。

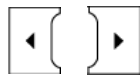
データ情報 : 保存したデータ情報を表示します。【詳細はP62 ①を参照】

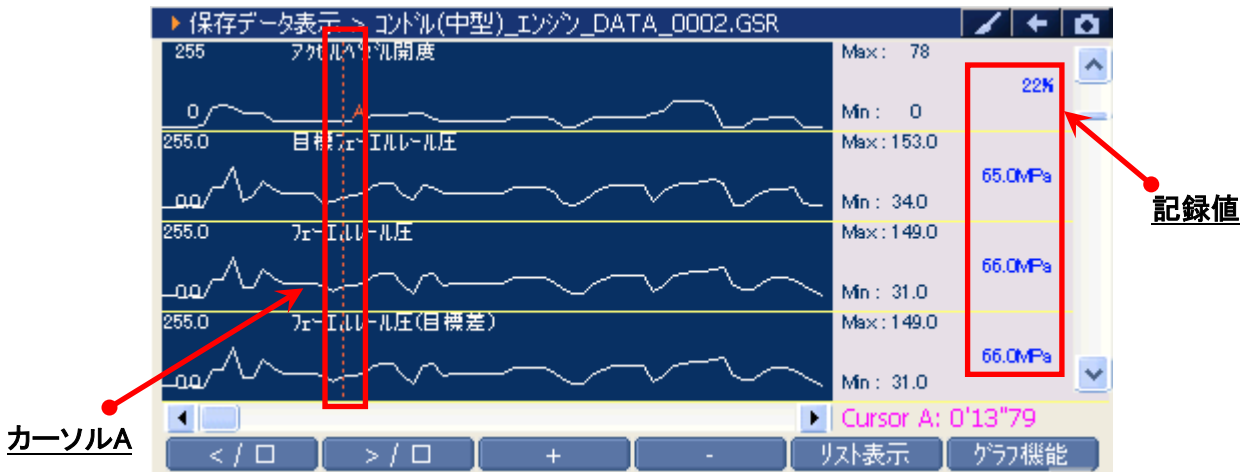
- ③ 『表示項目』を選択すると以下の画面が表示されますので、項目一覧から表示する項目にカーソルを合わせ **ENTER** ボタンを押して表示する項目を選択してください。 **</>** ボタンでページ移動します。最大で12項目を選択可能です。



〈図: 表示項目の選択〉


④ 『カーソルA移動』を選択するとカーソルAにコントロールが移ります。

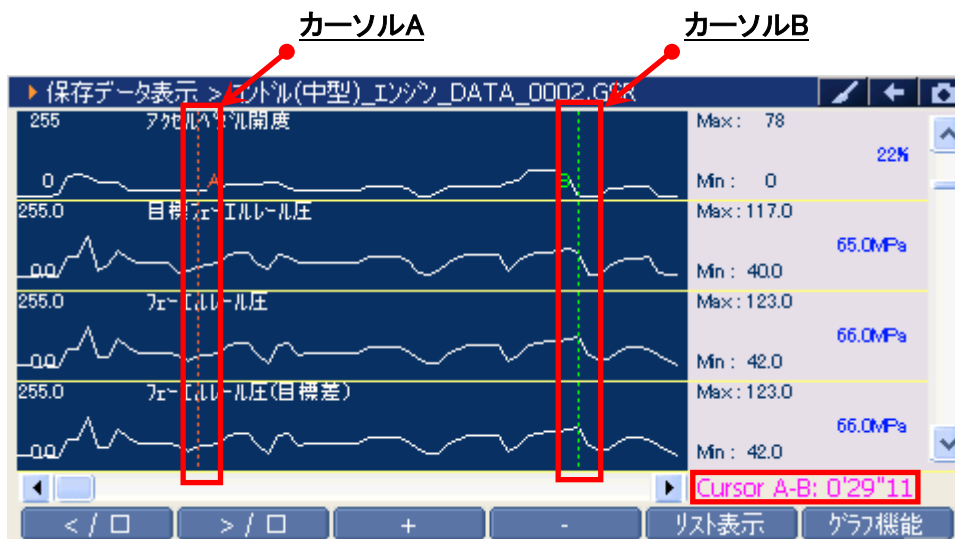
 ボタンを押して、カーソルAを移動させてください。カーソルA上にある値が、記録値に表示されます。



〈図:カーソルAの移動〉

⑤ 『カーソルB移動』を選択するとカーソルBにコントロールが移ります。

 ボタンを押して、カーソルBを移動させてください。画面右下にカーソルAからカーソルBまでの時間が表示されます。



〈図:カーソルBを移動選択〉

データ情報 ボタンの詳細


- ① **データ情報** ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押すか、**グラフ機能** 内の『データ情報』をタッチするとデータ情報画面が表示されます。データ情報画面では現在表示している保存データの詳細を表示します。

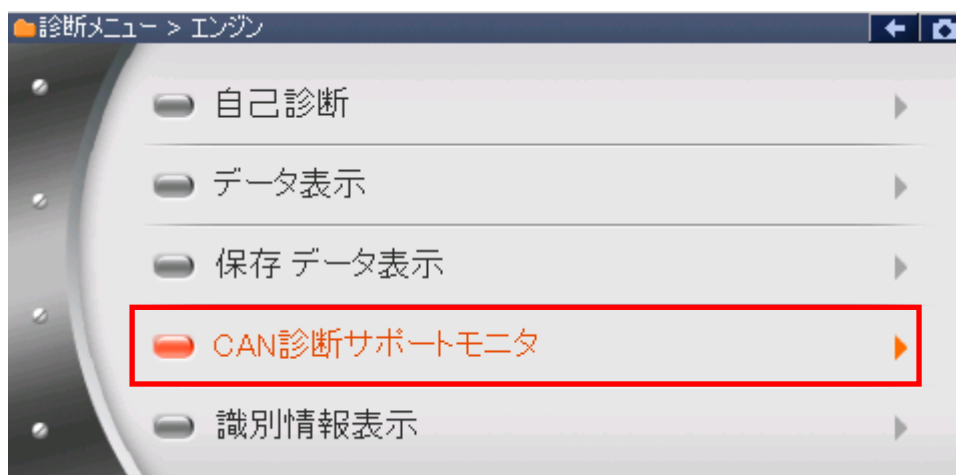


〈図: データ情報画面〉

車両に搭載されているCAN通信システムは、複数のシステムが互いに信号を送受信しているため、CAN通信線に断線等の不具合が発生すると、各システムが制御に必要な信号を送受信できなくなり、不具合箇所に関連した複数のシステムに作動不良などが発生します。

CAN診断サポートモニタ機能では、CAN通信に異常がないか診断することができます。

- 1) 診断メニューから『CAN診断サポートモニタ』を選択して  ボタンを押してください



〈図: 診断メニューにてCAN診断サポートモニタを選択〉

2) CAN診断サポートモニタ画面が表示され、CAN通信の診断結果が表示されます。

表示項目

診断結果

表示項目	診断結果
送信診断[現在]	OK
送信診断[過去]	OK
VDC/TCS/ABS[現在]	OK
VDC/TCS/ABS[過去]	OK
METER/M&A[現在]	OK
METER/M&A[過去]	OK
BCM[現在]	OK
BCM[過去]	OK
AT/CVT[現在]	OK
AT/CVT[過去]	OK
送信診断[現在]	OK

機能 1画面詳細 記録 選択項目

〈図：CAN診断サポートモニタ画面〉

- 機能** CAN診断サポートモニタ機能では使用しません。
- 1画面詳細** 1画面表示に切替えます。【詳細はP36 3)を参照】
- 参考値** CAN診断サポートモニタ機能では使用しません。
- 記録** データを記録します。【詳細はP43を参照】
- 選択項目** 表示する項目を選択します。【詳細はP49を参照】

- 3) CAN診断サポートモニタ画面に表示される項目は、診断する車両やシステムによって異なり、『過去履歴付き』システムと、『過去履歴無し』システムとでは表示される項目が異なります。

エンジン > データ表示(全項目)			
送信診断[現在]	OK	-	
送信診断[過去]	OK	-	
VDC/TCS/ABS[現在]	OK	-	
VDC/TCS/ABS[過去]	OK	-	
METER/M&A[現在]	OK	-	
METER/M&A[過去]	OK	-	
BCM[現在]	OK	-	
BCM[過去]	OK	-	
AT/CVT[現在]	OK	-	
AT/CVT[過去]	OK	-	

1/1

機能 1画面詳細 参考値 記録 選択項目

〈図: CAN診断サポートモニタ画面 過去履歴無し〉

エンジン > データ表示(全項目)			
初期診断[現在]	OK	-	
送信診断[現在]	OK	-	
ECM[現在]	OK	-	
VDC/TCS/ABS[現在]	OK	-	
METER/M&A[現在]	OK	-	
車間制御[現在]	OK	-	

1/1

機能 1画面詳細 記録 選択項目

〈図: CAN診断サポートモニタ画面 過去履歴有り〉

《CAN診断サポートモニタ表示例》

◆『過去履歴無し』システムの場合

表示項目	現在	意味
初期診断	OK	現在異常がない
	NG	C/Uの異常(一部のC/Uを除く)
送信診断	OK	現在異常がない
	UNKWN	現在2秒以上送信できない 診断を行っていない
C/U名称 (受信診断)	OK	現在異常がない
	UNKWN	現在2秒以上受信できない 診断を行っていない
		受信するC/Uがない(オプションレス)


◆『過去履歴有り』システムの場合

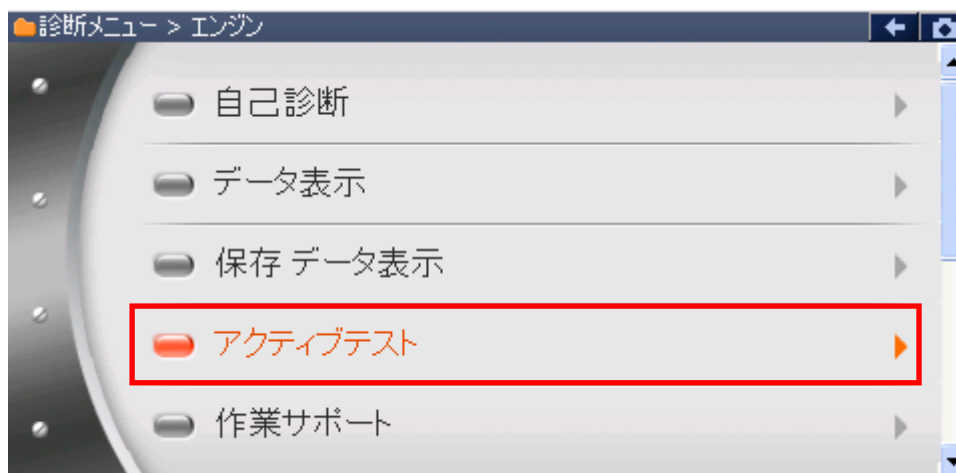
表示項目	現在	過去	意味
送信診断	OK	OK	現在も過去も異常がない
		1 - 39	現在は正常だが、過去に2秒以上送信できなかった (数字はキーSW OFF→ON回数を表わす)
	UNKWN	0	現在2秒以上送信できない
C/U名称 (受信診断)	OK	OK	現在も過去も異常がない
		1 - 39	現在は正常だが、過去に2秒以上受信できなかった (数字はキーSW OFF→ON回数を表わす)
	UNKWN	0	現在2秒以上受信できない
	***	***	診断を行っていない 受信するC/Uがない(オプションレス)



警告

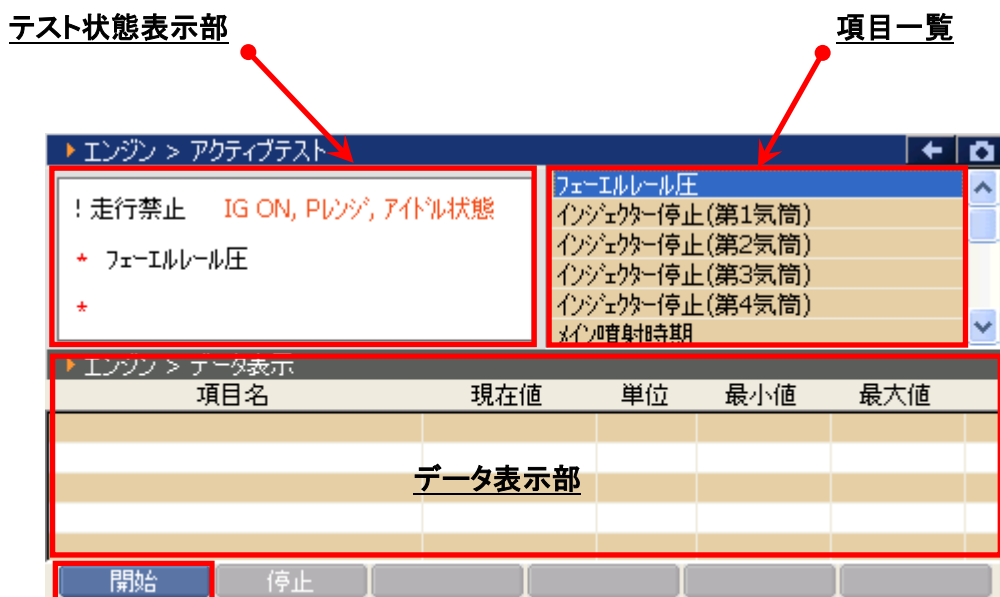
- アクティブテストはUDトラックスのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- アクティブテストを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
車両をこの状態にできない場合はアクティブテストを実行しないでください。
 1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
 2. ブレーキペダルを踏込む。
 3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

- 1) 診断メニューにおいて『アクティブテスト』を選択して  ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにてアクティブテストを選択〉

2) アクティブテスト画面が表示されます。



〈図: アクティブテスト画面〉

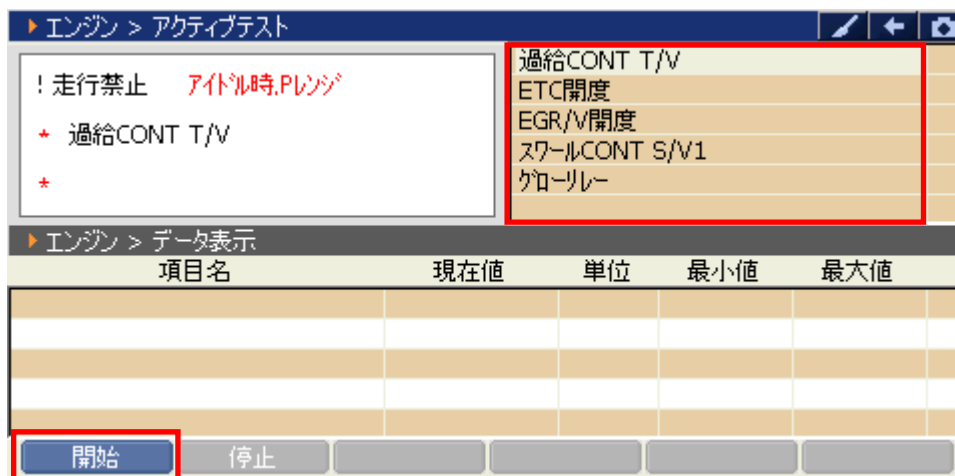
テスト状態表示部 : テスト状態が表示されます。

項目一覧 : アクティブテスト項目の一覧が表示されます。

データ表示部 : アクティブテスト中のデータが表示されます。

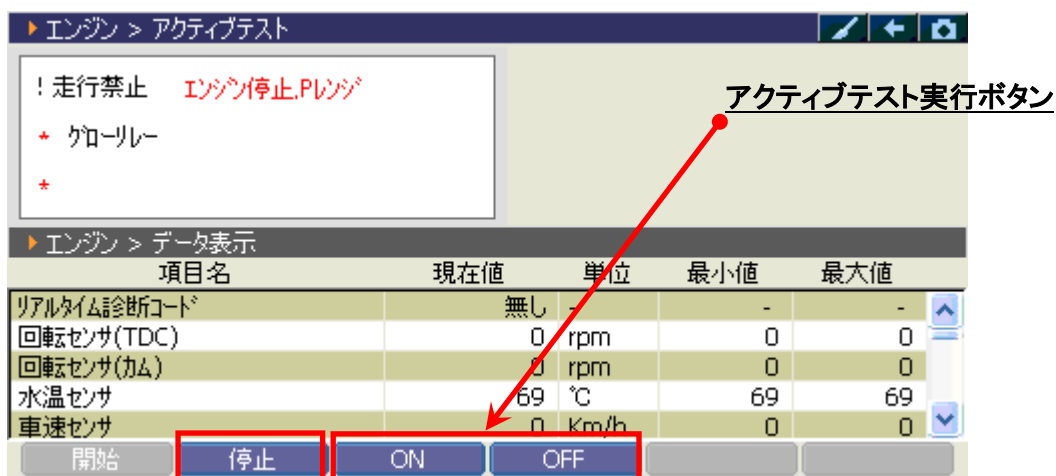
開始 : アクティブテストを開始します。【詳細はP69 3)を参照】

- 3) アクティブテスト項目一覧の中から実行する項目を選択して、**開始** ボタンをタッチ、又は **F1** ボタンを押してください。



〈図: アクティブテスト画面〉

- 4) アクティブテストが開始されます。アクティブテスト実行ボタンを操作してアクティブテストを行ってください。アクティブテストを停止する場合は **停止** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押してください。



〈図: アクティブテスト開始〉

※注意と補足※

- ・ P69 4)の画面は『ETC開度』のアクティブテスト実行画面です。
- ・ アクティブテストにはテスト条件がある項目があります。

テスト条件を超えた場合、テスト状態表示部に『テスト失敗』と表示されます。

『テスト失敗』と表示された場合、車両のテスト条件を満たした状態にして、再度アクティブテストを実行してください。

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
空燃比センサ1	1500	mV	1500	1500
過給圧センサ	98.66	kPa	98.66	98.66
インタークーラ吸気温センサ	36	°C	36	36
ETC開度	0	%	0	0
EGR/V開度	0	%	0	0


〈図: アクティブテスト失敗〉

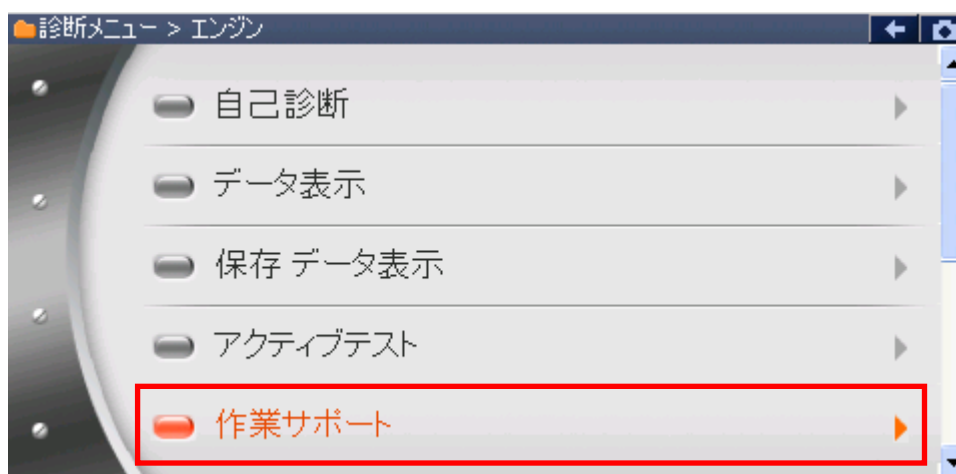


警告

- 作業サポートはUDトラックスのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
 1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
 2. ブレーキペダルを踏込む。
 3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

エンジンの作業サポートについて

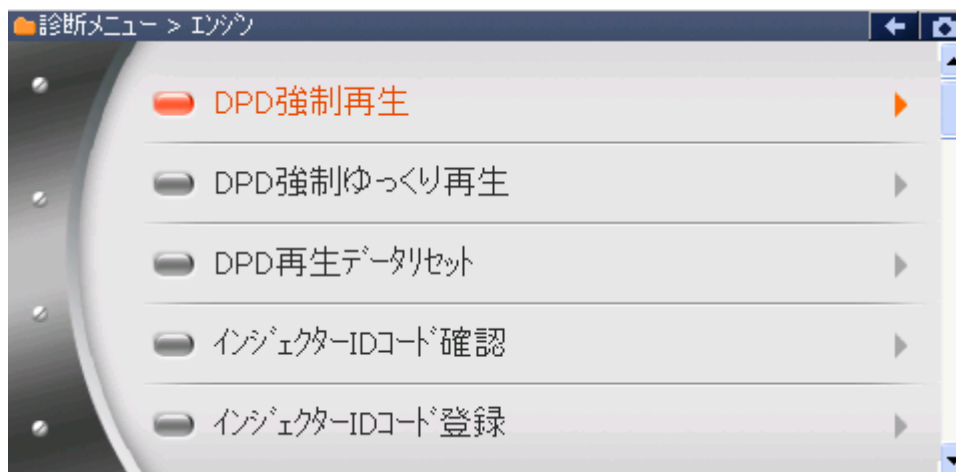
- 1) 診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して  ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにて作業サポートを選択〉

2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。実行する項目を選択して **ENTER** ボタンを押してください。表示される項目はエンジンの型式により異なります。

例1) コンドル(小型) エンジン型式 4HL1、4HK1、4JJ1の場合



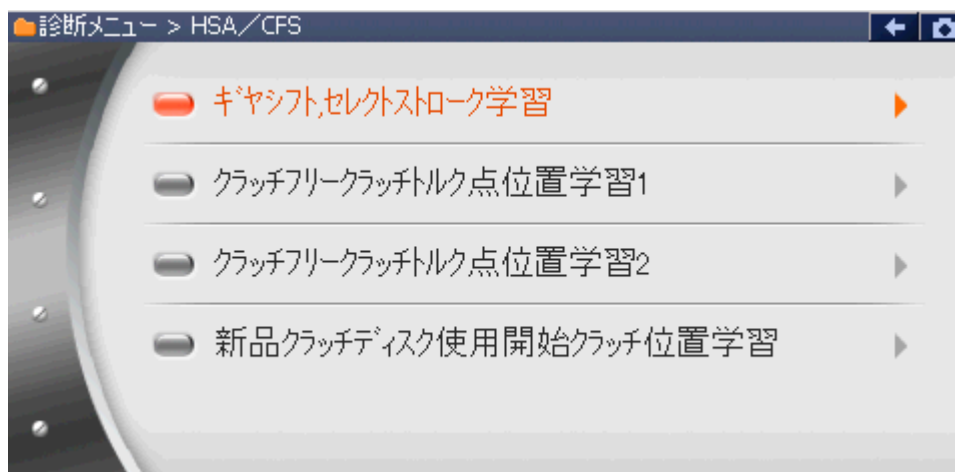
〈図: 作業サポート項目選択画面1〉

- DPD強制再生** : DPD強制再生を実施します。
※所要時間 = 約20分
- DPD強制ゆっくり再生** : DPD強制ゆっくり再生を実施します。
強制再生に比べてDPDへの負荷を軽減して再生を実施します。
※所要時間 = 約120分
※一部の車両には本機能は搭載されていません。
- DPD再生データリセット** : DPD交換時、またはDPD再生を行う際に使用します。
- インジェクターIDコード確認** : 各気筒のインジェクターIDコードを確認する際に使用します。
- インジェクターIDコード登録** : インジェクター交換時、ECUにインジェクターIDコードを登録する際に使用します。
- インジェクターIDコード
読み込み/書き込み
(ECU交換時)** : ECU交換時、インジェクターIDコードを自動で読み込み/書き込みを行います。
- MAF補正データ確認** : MAFの補正データの確認する際に使用します。
- MAFデータサービスモード** : MAF交換時、MAFの補正データを設定する際に使用します。
- MAF補正データ
読み込み/書き込み
(ECU交換時)** : ECU交換時、MAF補正データを自動で読み込み/書き込みを行います。

サプライポンプ学習値クリア : サプライポンプ学習値の初期化を行います。

エンジン始動回数
書込み(ECU交換時) : ECU交換時、ECUにエンジン始動回数を登録する際に使用します。

エンジン始動回数
書込み(スタータ交換時) : スタータ交換時、ECUにエンジン始動回数を登録する際に使用します。



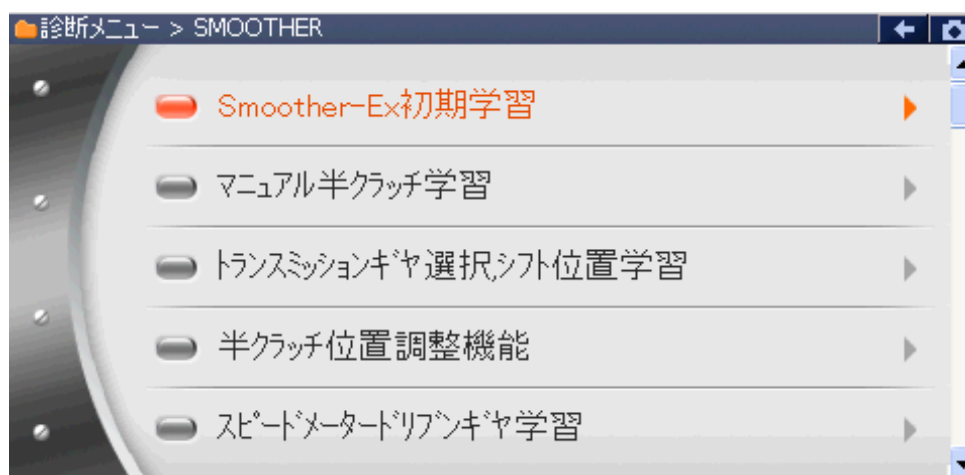
〈図: HSA/CFS作業サポート項目選択画面〉

ギヤシフト,セレクトストローク
学習 : ギヤコントロールレバー、シフトおよびセレクトストロークの学習の際に使用します。

クラッチフリークラッチトルク点
位置学習1 : 初期のクラッチトルク伝達点位置を学習します。

クラッチフリークラッチトルク点
位置学習2 : 初期のクラッチトルク伝達点位置を学習します。
※1の方法で上手くいかない場合はこちらを試してください。

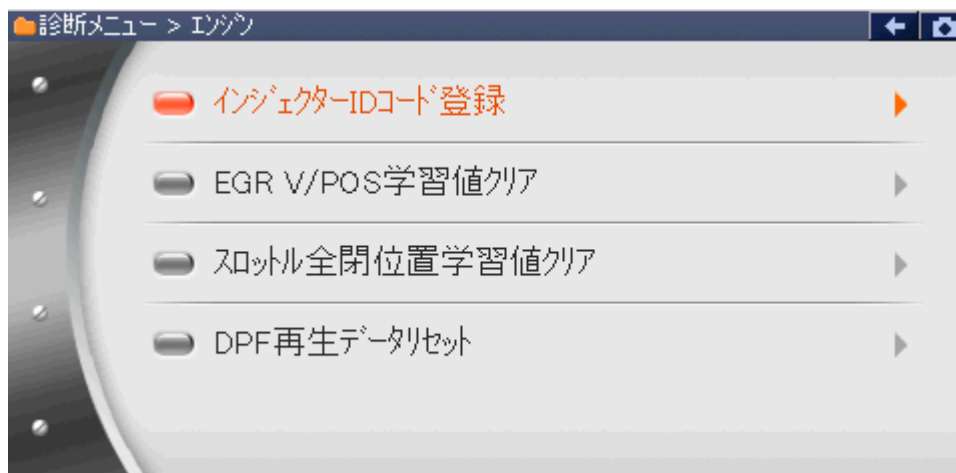
新品クラッチディスク使用開
始クラッチ位置学習 : 新品クラッチ交換時、クラッチ摩耗警報を行うための
基準となる新品クラッチの位置を学習します。



〈図: Smoother作業サポート項目選択画面〉

- Smoother初期学習** : 半クラッチとトランスミッションギヤ選択/シフト位置学習を同時に学習します。
- マニュアル半クラッチ学習** : マニュアル半クラッチを学習します。
- トランスミッションギヤ選択シフト位置学習** : トランスミッションギヤ選択シフト位置を学習します。
- 半クラッチ位置調整機能** : 半クラッチ位置調整機能を学習します。
- スピードメータドリブンギヤ学習** : スピードメータドリブンギヤを学習します。
- 車型のプログラム** : エンジン型式、トランスミッションタイプを登録する際に使用します。
- PTO要求エンジン回転数** : PTO要求エンジン回転数を登録する際に使用します。
- スピードメータギヤのプログラム** : スピードメータドリブンギヤ枚を登録する際に使用します。
- タイヤサイズのプログラム** : タイヤサイズを登録する際に使用します。
- タイヤ補正率のプログラム** : タイヤ補正率を登録する際に使用します。
- ファイナルギヤ比書換え** : ファイナルギヤ比を登録する際に使用します。
- ABS装着のプログラム** : ABSステータスを登録する際に使用します。

例2) コンドル(小型) エンジン型式 ZD30DDTiの場合



〈図:作業サポート項目選択画面2〉

インジェクターIDコード登録 : インジェクター交換時、ECUにインジェクターIDコードを登録する際に使用します。

EGR V/POS学習値クリア : EGRコントロールバルブの全閉位置学習値の初期化を行います。

**スロットル全閉位置
学習値クリア** : スロットルバルブの全閉位置学習値の初期化を行います。

DPF再生データリセット : DPF(ディーゼルパティキュレートフィルタ)の学習値の初期化を行います。

例3) コンドル(小型) エンジン型式 QR20DEの場合



〈図:作業サポート項目選択画面3〉

急速TAS学習 : アイドル回転数を指定範囲内で維持するために、アイドル吸入空気量を、ECUに記憶する際に行います。

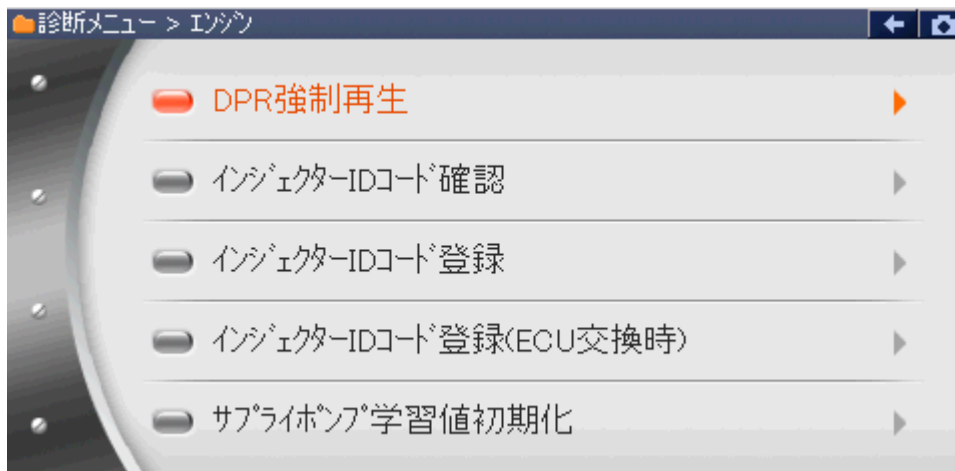
ETC学習クリア : ETC学習値の初期化を行います。

空燃比学習値クリア : 空燃比学習値の初期化を行います。

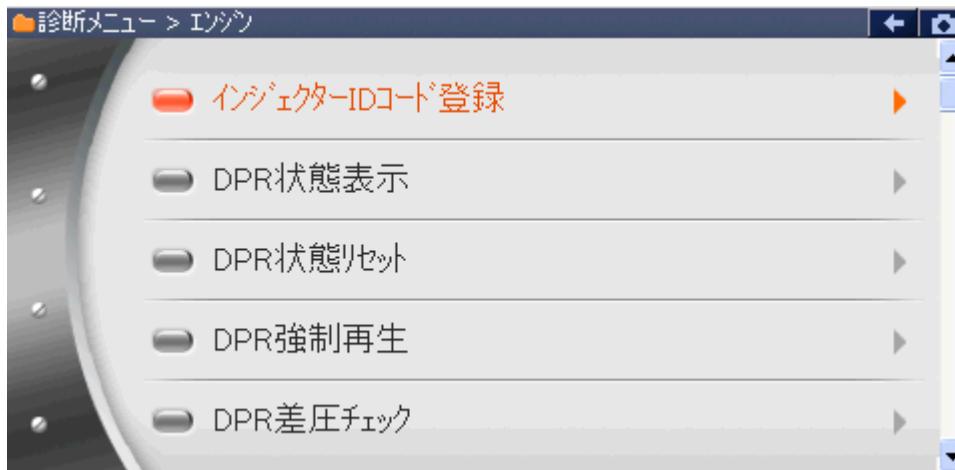
点火時期補正 : 目標点火時期を調整するときに行います。

アイドル回転補正 : 目標アイドル回転数を設定するときに行います。

例3) コンドル(中型)の場合



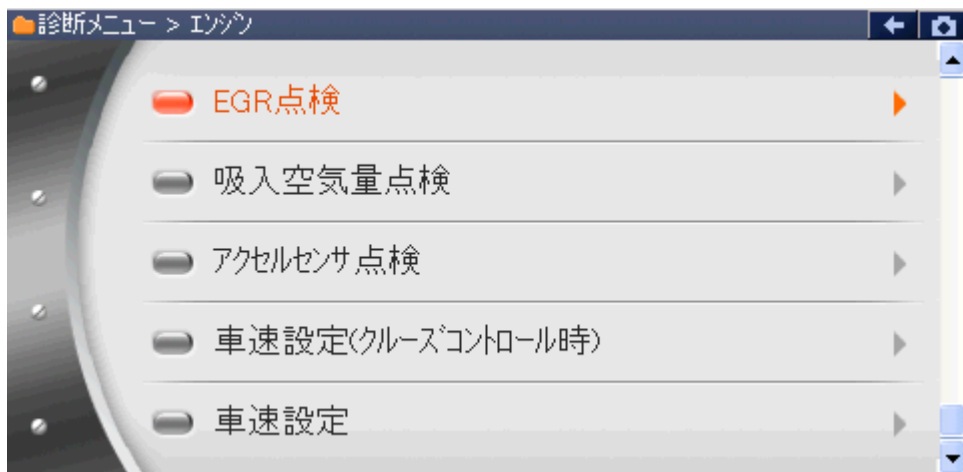
〈図:エンジン作業サポート項目選択画面4〉



〈図:エンジン作業サポート項目選択画面5〉



〈図:エンジン作業サポート項目選択画面6〉



〈図:エンジン作業サポート項目選択画面7〉

- DPR強制再生** : DPR強制再生を実施します。
※ 所要時間 = 約20分
- インジェクターIDコード確認** : 各気筒のインジェクターIDコードを確認する際に使用します。
※ 車種「デュトロ」のみ本機能を搭載しています。
- インジェクターIDコード登録** : 各気筒のインジェクターIDコードを登録する際に使用します。
- インジェクターIDコード登録(ECU交換時)** : ECU交換時に各気筒のインジェクターIDコードを登録する際に使用します。
※ 車種「デュトロ」のみ本機能を搭載しています。
- サブライポンプ学習値初期化** : サブライポンプ学習値の初期化を行います。
- サブライポンプ機差学習値初期化** : サブライポンプ学習値の初期化を行います。

DPR状態表示: DPRの状態を表示します。

DPR状態リセット: DPRの状態をリセットします。

DPR差圧チェック: DPRの詰まり具合をチェックします。

VNT点検: VNT(バリエブルノズルターボチャージャー)の点検を行います。

燃料漏れ点検: 燃料漏れがないかどうかの点検を行います。

ターボ点検: ターボチャージャーの点検を行います。

EGR点検: EGRの点検を行います。

吸入空気量点検: 吸入空気量の点検を行います。

アクセルセンサ点検: アクセルセンサの点検を行います。

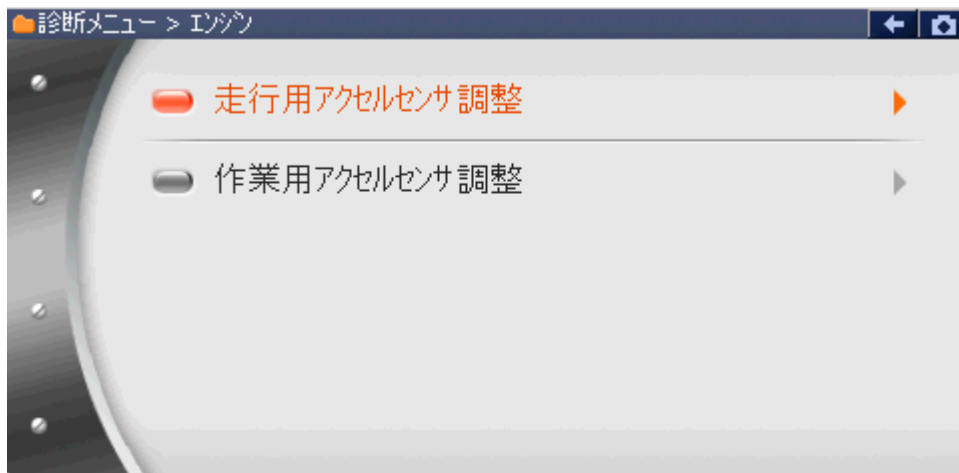
車速設定(クルーズコントロール時): クルーズコントロール時の最大車速設定を行います。

車速設定: 最大車速設定を行います。

※ 注意と補足※

車両に搭載されているエンジン型式によっては、対応していない作業サポート項目があります。

例4) クオン エンジン型式 GE13の場合




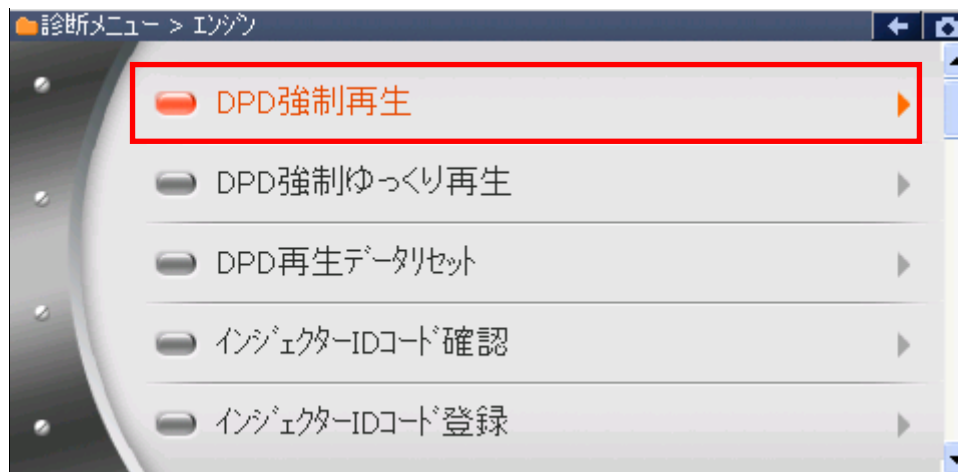
〈図:エンジン作業サポート項目選択画面8〉

走行用アクセルセンサ調整(手動) : 走行用のアクセルセンサの調整をする際に使用します。

作業用アクセルセンサ調整(手動) : 作業用のアクセルセンサの調整をする際に使用します。。

《作業サポート「DPD強制再生」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『DPD強制再生』を選択して  ボタンを押してください。

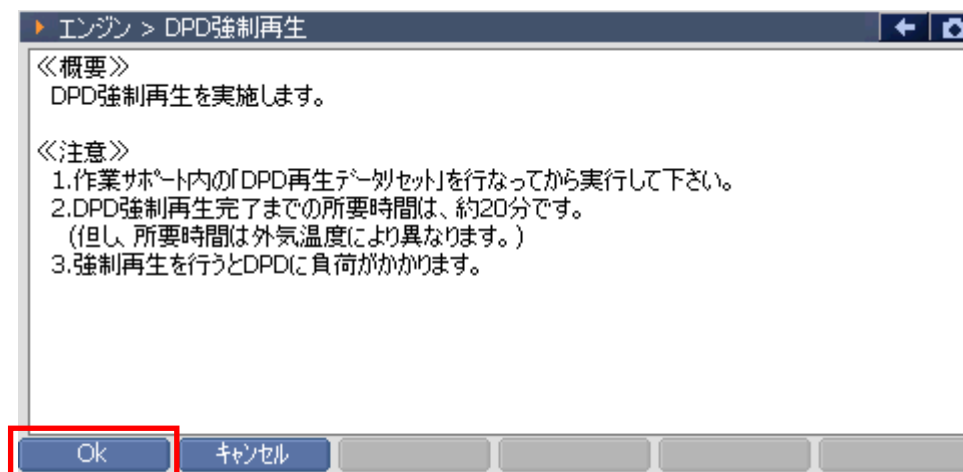


〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『DPD強制再生』の注意メッセージ画面に移ります。

注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

 ボタンを押してください。

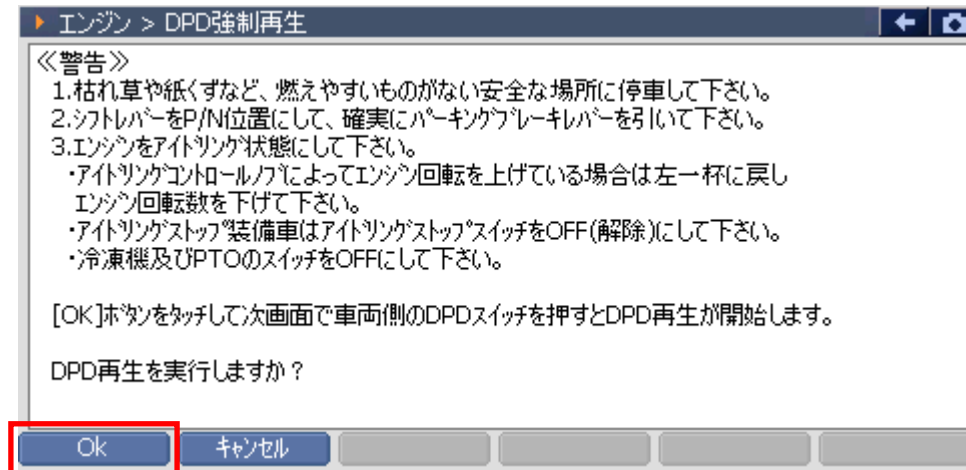


〈図: 注意メッセージ画面 DPD強制再生〉

3) 『DPD強制再生』の警告メッセージ画面に移ります。

警告メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

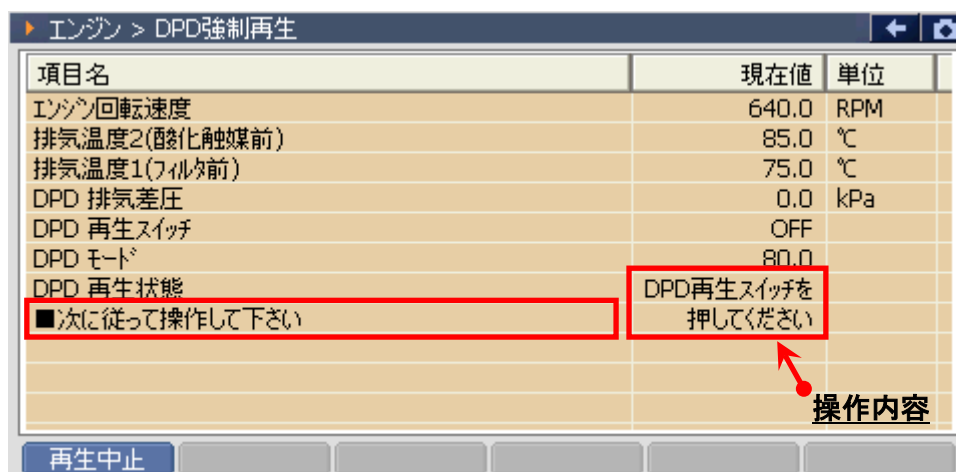
 ボタンを押してください。



〈図: 警告メッセージ画面 DPD強制再生〉

4) 『DPD強制再生』の実行画面に移ります。

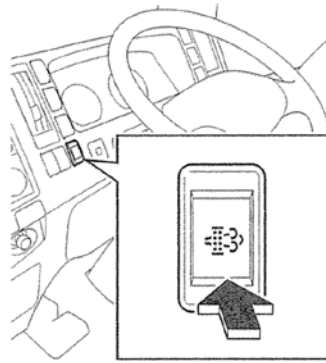
DPD強制再生中の状態が表示されます。『次に従って操作してください』の操作に従い、車両側のDPDスイッチを押すとDPD強制再生が始まります。



〈図: 実行画面 DPD強制再生〉

※ 注意と補足※

- ・ 以下、DPD再生強制再生の例を示します。車両により状態遷移が異なる場合があります。



〈図:DPDスイッチ〉

※ 注意と補足※

・上記のDPDスイッチは車両により配置位置、形状が異なる場合があります。

DPD強制再生開始後、自動的にエンジン回転速度が上がり、徐々に排気温度2(酸化触媒前)、排気温度1(フィルタ前)が上昇します。

項目名	現在値	単位
エンジン回転速度	736.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	175.0	℃
排気温度1(フィルタ前)	150.0	℃
DPD 排気差圧	0.1	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	220.0	
DPD 再生状態	再生予備昇温中	
■次に従って操作して下さい	操作不要	

〈図:実行画面 DPD強制再生〉

項目名	現在値	単位
エンジン回転速度	992.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	590.0	℃
排気温度1(フィルタ前)	335.0	℃
DPD 排気差圧	0.1	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	270.0	
DPD 再生状態	再生中(1)	
■次に従って操作して下さい	操作不要	

〈図:実行画面 DPD強制再生〉

- 5) 約20分経過後、エンジン回転速度が下がり、『DPD再生状態』が『浄化判定中』となります。『次に従って操作してください』の操作に従い、エンジン回転速度を2000RPM以上にします。



項目名	現在値	単位
エンジン回転速度	624.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	525.0	℃
排気温度1(フィルタ前)	285.0	℃
DPD 排気差圧	0.1	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	10.0	
DPD 再生状態	浄化判定中	
■次に従って操作して下さい	2000RPM以上	

操作内容

再生中止

〈図:実行画面 DPD強制再生〉

- 6) 『DPD再生状態』が『再生完了』と表示されましたらDPDの再生が完了し、『DPD強制再生』の完了画面に移ります。

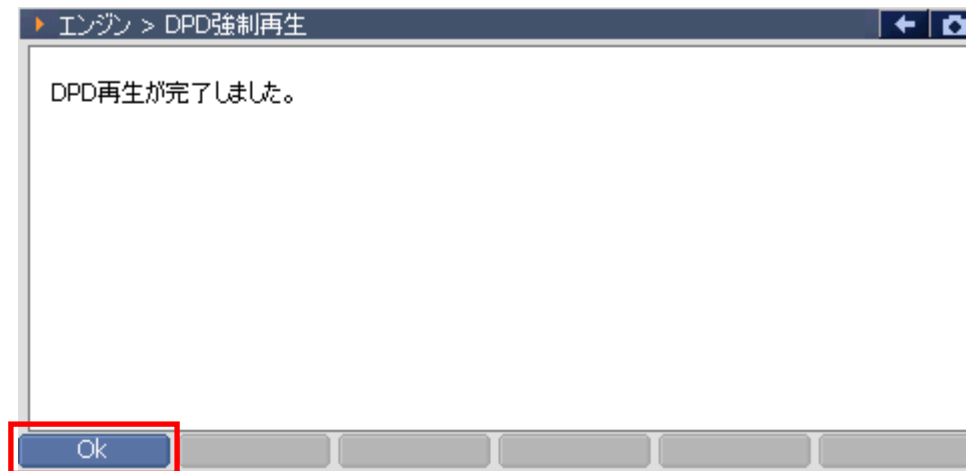


項目名	現在値	単位
エンジン回転速度	617.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	460.0	℃
排気温度1(フィルタ前)	238.0	℃
DPD 排気差圧	0.0	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	30.0	
DPD 再生状態	再生完了	
■次に従って操作して下さい	操作不要	

再生中止

〈図:完了画面 DPD強制再生〉

7) DPD再生完了メッセージが表示されますので、**Ok** ボタンを押してDPD再生を完了してください。



〈図:完了画面 DPD強制再生〉

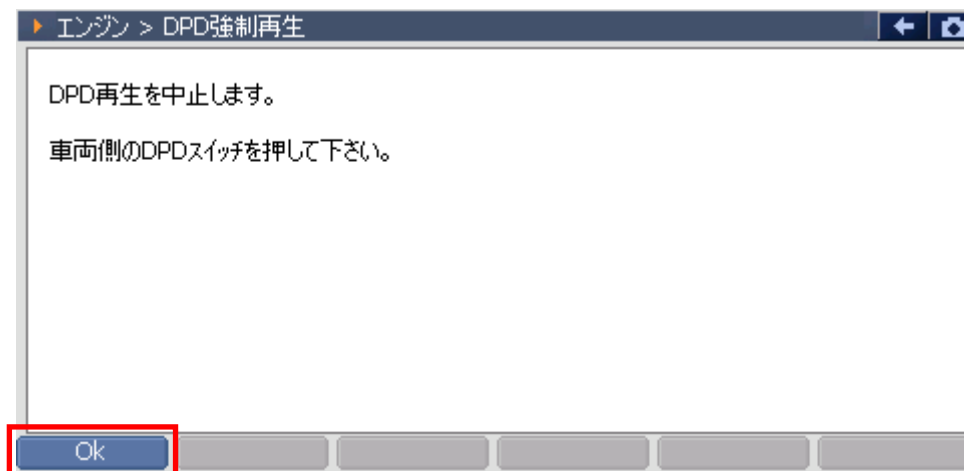
8) やむを得ず、『DPD強制再生』を途中で中止する場合は **再生中止** ボタンを押してください。



〈図:実行画面 DPD強制再生〉

9) 再生中止メッセージ表示されますので、メッセージに従い操作してください。

 ボタンを押してDPD強制再生を中止してください。



〈図:再生中止画面 DPD強制再生〉

※注意と補足※


- ・ 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。
- ・ 手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

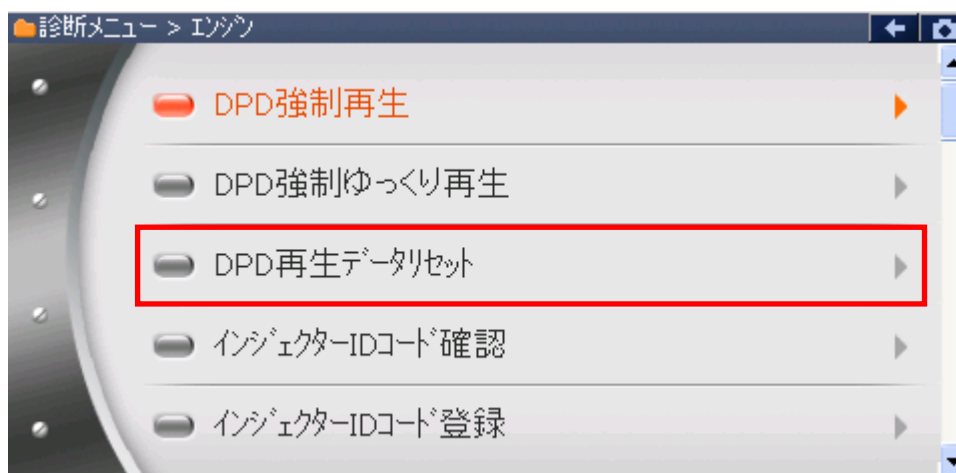
《作業サポート「DPD強制ゆっくり再生」》

※注意と補足※


- ・ 基本的な作業の流れは「DPD強制再生」と同様となります。
- ・ 「DPD強制再生」に比べてDPDへの負荷を軽減して実施します。
- ・ 所要時間は約120分です。
- ・ 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。
- ・ 手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

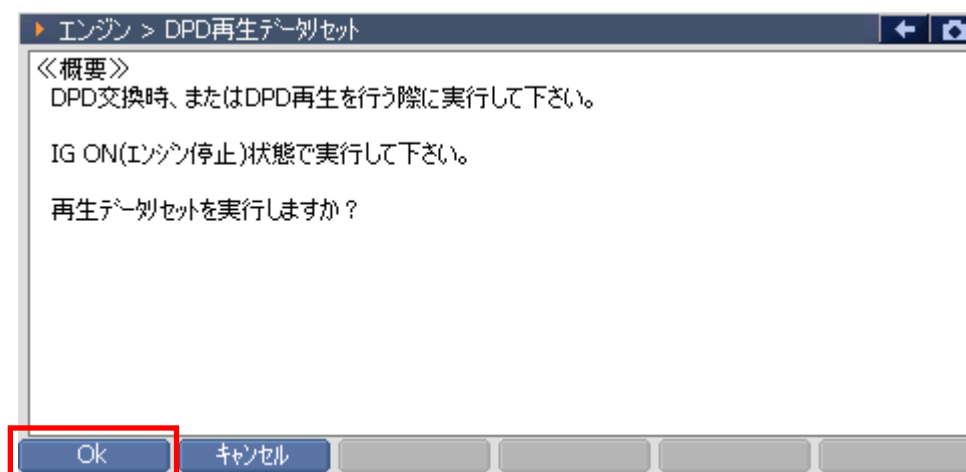
《作業サポート「DPD再生データリセット」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『DPD再生データリセット』を選択して  ボタンを押してください。



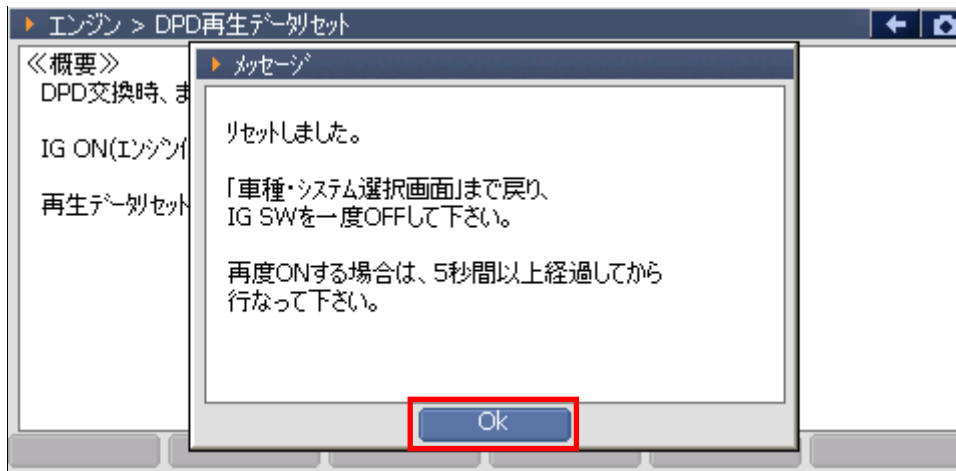
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 確認メッセージ画面に移ります。確認メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ  ボタンを押し、画面の指示に従ってDPD再生データリセットを実行してください。



〈図: 確認メッセージ画面 DPD再生データリセット〉


- 3) DPD再生データリセット完了のメッセージが表示されます。画面の指示に従って操作し、**Ok** ボタンを押してDPD再生データリセットを終了します。

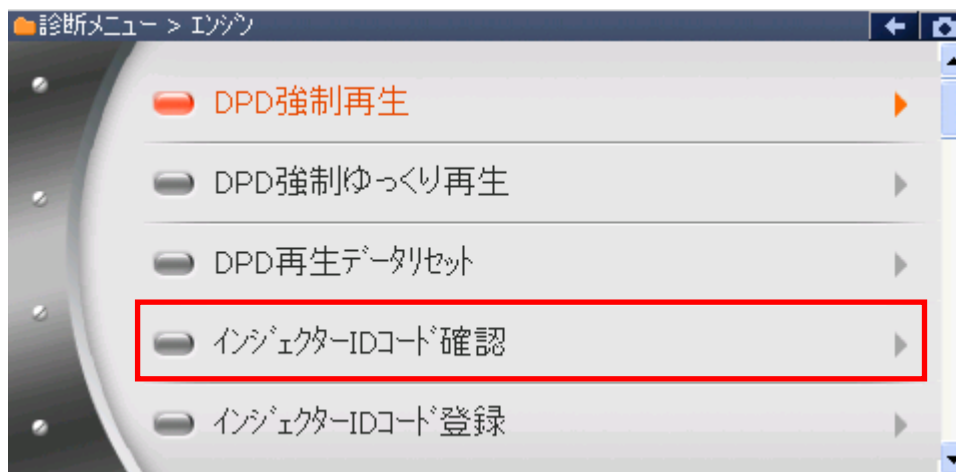


〈図:完了メッセージ画面 DPD再生データリセット〉


《作業サポート「インジェクターIDコード確認」》

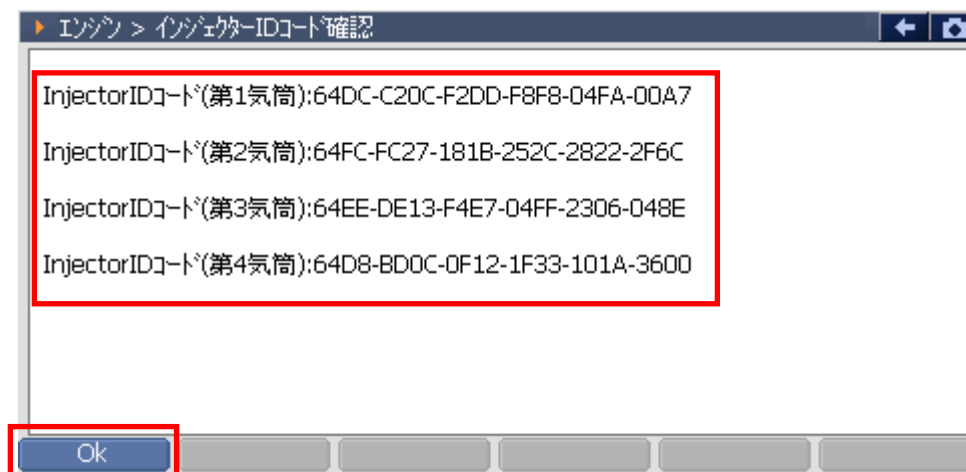
1) 作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード確認』を選択して

 ボタンを押してください。



〈図: 作業サポート項目選択画面〉


2) インジェクターIDコードが確認できます。よろしければ  ボタンを押し、インジェクターIDコード確認を終了してください。

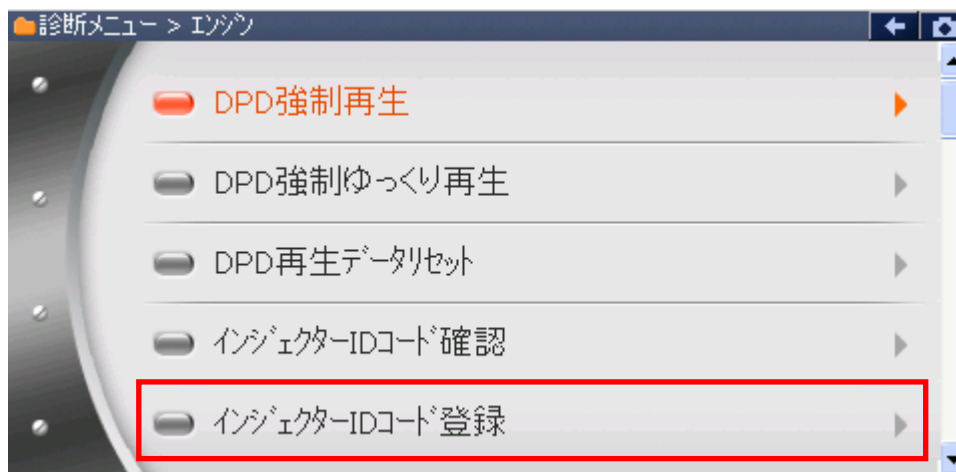


〈図: 確認メッセージ画面 インジェクターIDコード確認(4気筒)〉

《作業サポート「インジェクターIDコード登録」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード登録』を選択して

 ボタンを押してください。

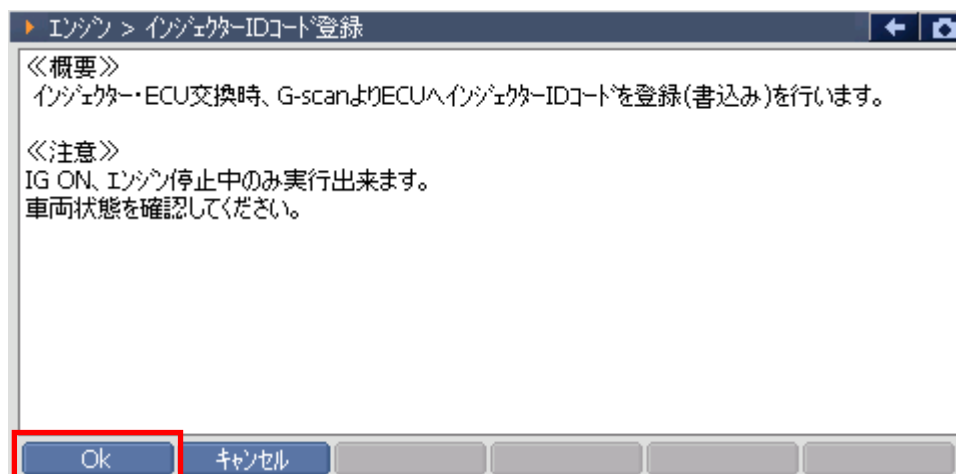


〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『インジェクターIDコード登録』の注意メッセージ画面に移ります。

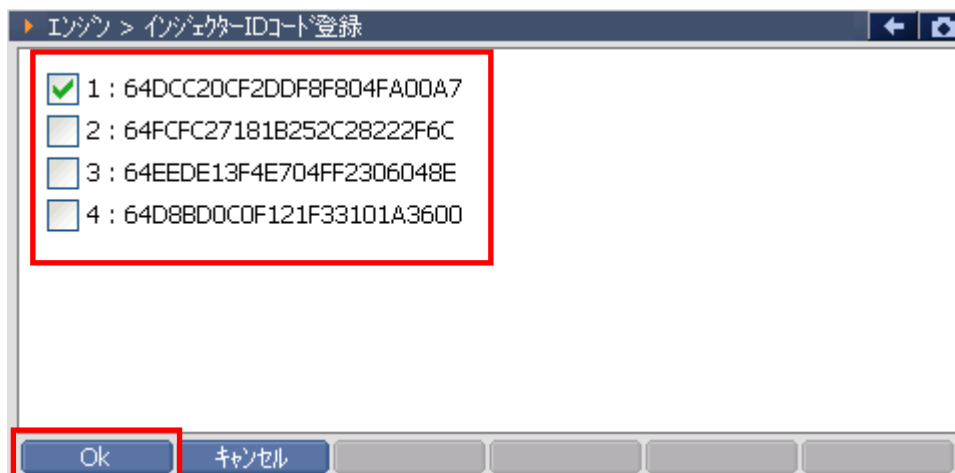
注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

 ボタンを押してください。



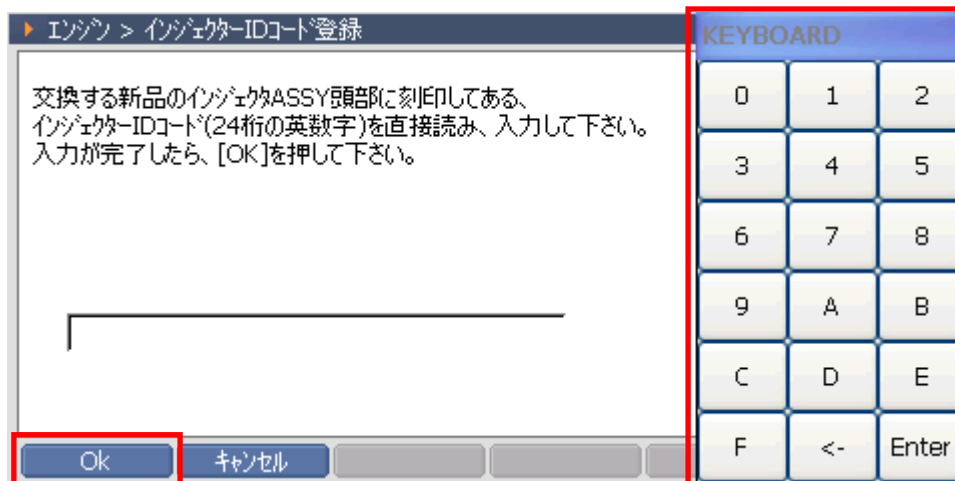
〈図: 確認メッセージ画面 インジェクターIDコード登録〉

- 3) 交換するインジェクターの気筒を選択します。よろしければ **Ok** ボタンを押してください。

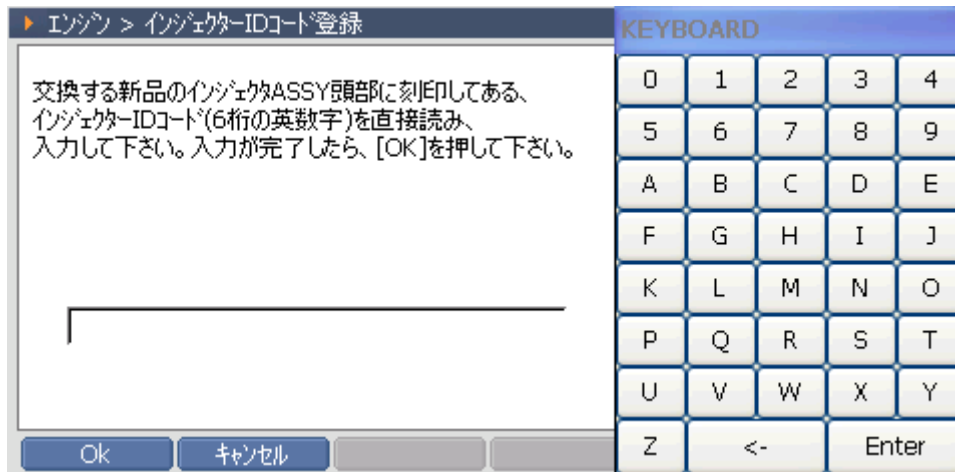


〈図: 気筒選択画面 インジェクター-IDコード登録〉

- 4) KEYBOARDを押して、インジェクターに刻印してある24桁のインジェクター-IDコードを入力します。よろしければ **Ok** ボタンを押してください。



〈図: IDコード入力画面 インジェクター-IDコード登録1〉

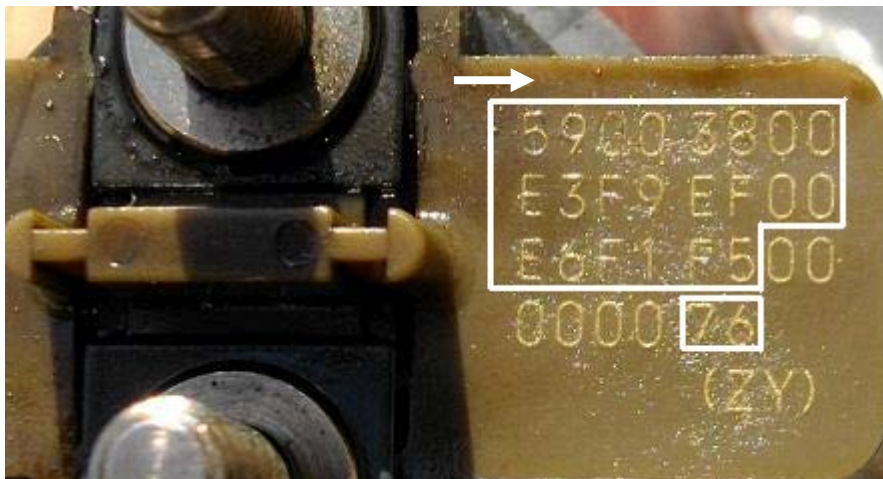


〈図:IDコード入力画面 インジェクタIDコード登録2〉

※注意と補足※

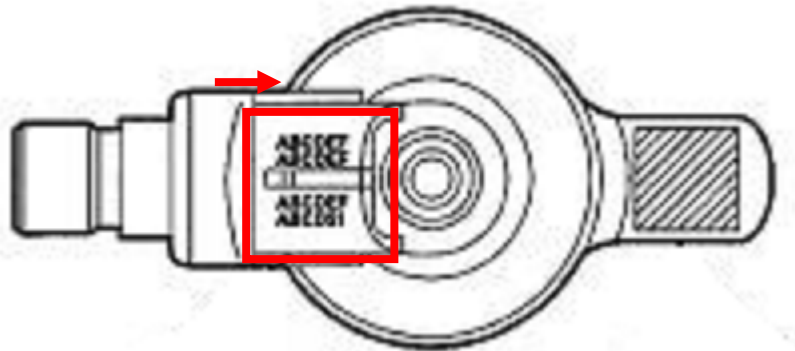
IDコードを入力することでインジェクタの噴射量精度が向上し、排気ガス削減や出力が安定します。インジェクタには下記の3タイプがあり、それぞれIDコードの刻印が異なります。インジェクタ上部に下記のようにIDコードが刻印されています。

(例1)コンドル(小型) 06モデル 4HL1-NAエンジンの場合



矢印の方向に読み、実際に使用するIDコード(24桁)は白枠内でIDコードは『59003800E3F9EF00E6F1F576』になります。

(例2)コンドル(小型) 07モデル 4JJ1-TCエンジンの場合



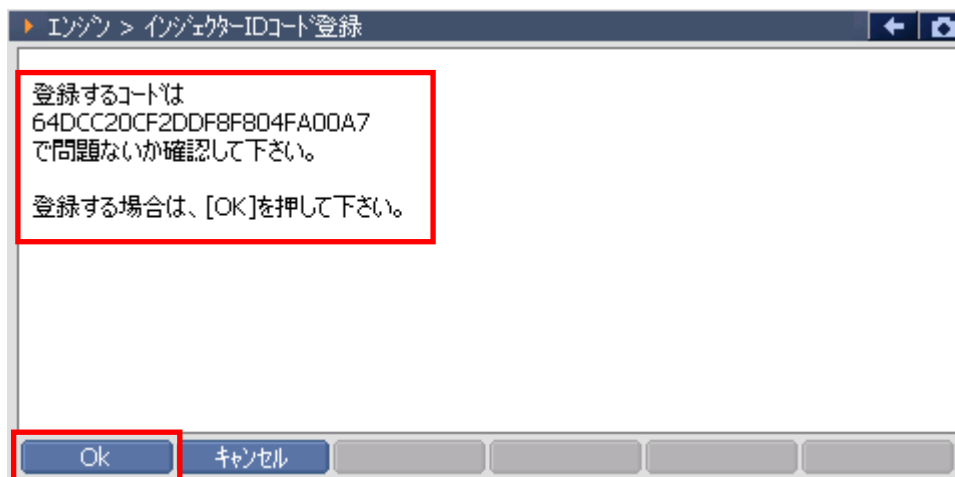
矢印の方向に読み、実際に使用するIDコード(24桁)は赤枠内にIDコードが刻印されています。
24桁をそのまま入力してください。

(例3)コンドル(小型) 07モデル ZD30DDTiエンジンの場合



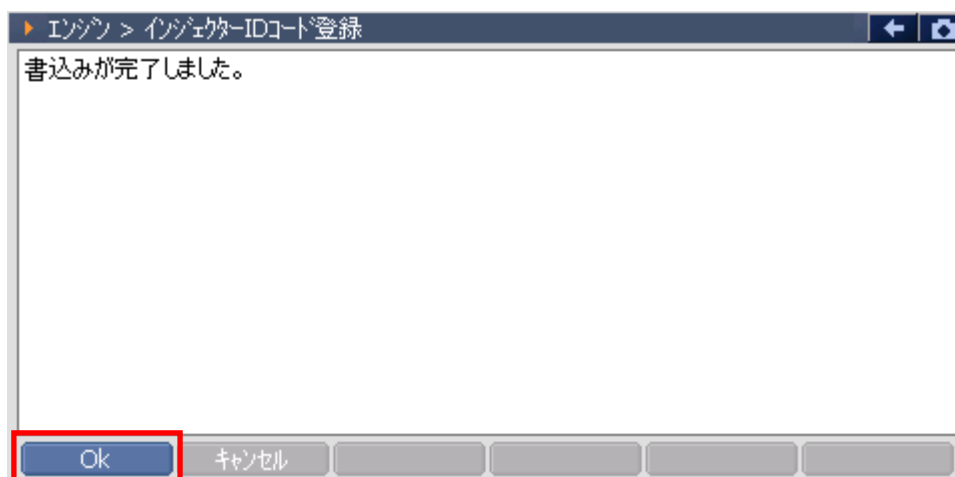
矢印の方向に読み、実際に使用するIDコード(6桁)は黄枠内にIDコードが刻印されています。
6桁をそのまま入力してください。IDコードは『4P7YC1』になります。

- 5) 入力したIDコードが正しければ **Ok** ボタンを押してください。ボタンを押すとECUにインジェクターIDコードを書込みます。



〈図: IDコード確認画面 インジェクターIDコード登録〉

- 6) 書込み完了のメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押してインジェクターIDコード登録を終了します。




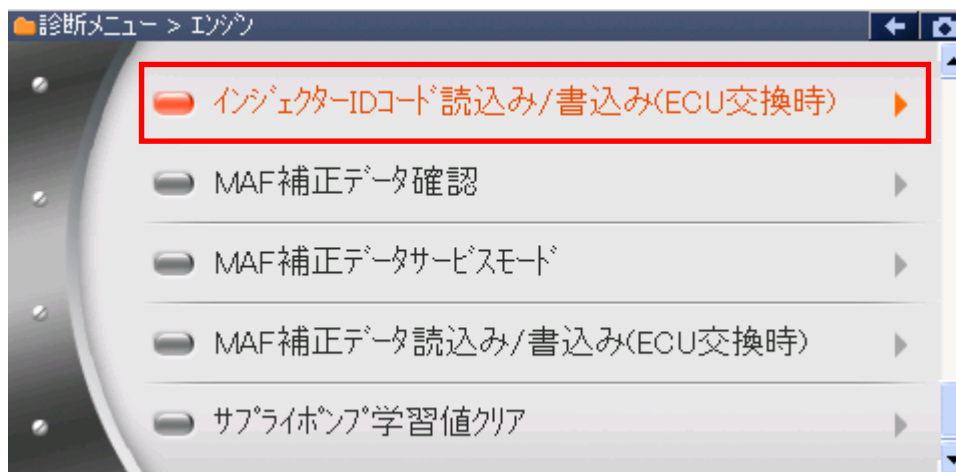
〈図: 完了画面 インジェクターIDコード登録〉

※注意と補足※

誤ったインジェクターIDコードを入力しますと登録されませんのでご注意ください。

《作業サポート「インジェクターIDコード読み込み/書き込み(ECU交換時)」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード読み込み/書き込み(ECU交換時)』を選択して  ボタンを押してください。

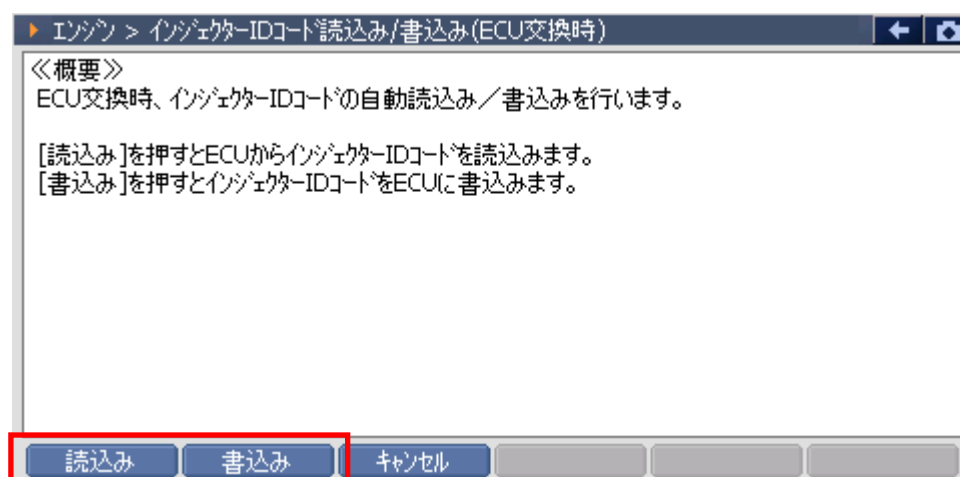


〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『インジェクターIDコード読み込み/書き込み(ECU交換時)』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。

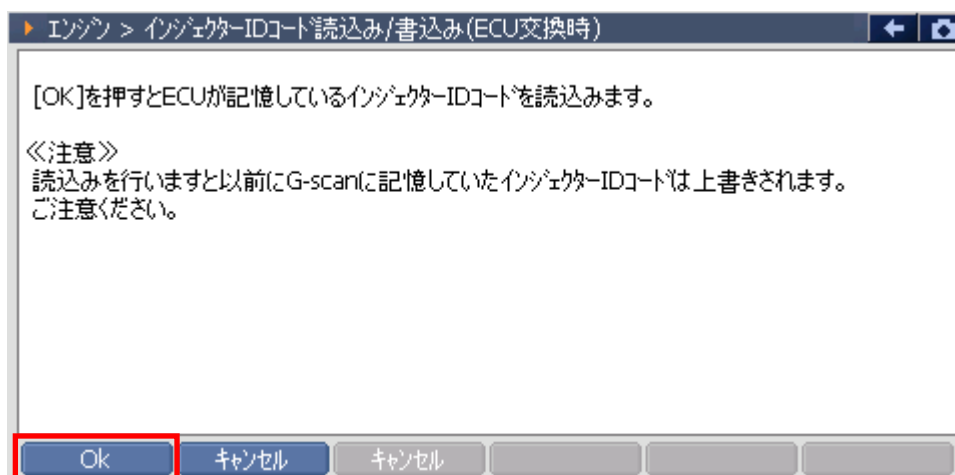
 : ECUからG-scanにインジェクターIDコードを読み込みます。

 : G-scanからECUにインジェクターIDコードを書き込みます。



〈図: 確認メッセージ画面 インジェクターIDコード読み込み/書き込み〉

- 3) **読み込み** ボタンを押すと注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ **Ok** ボタンを押してください。

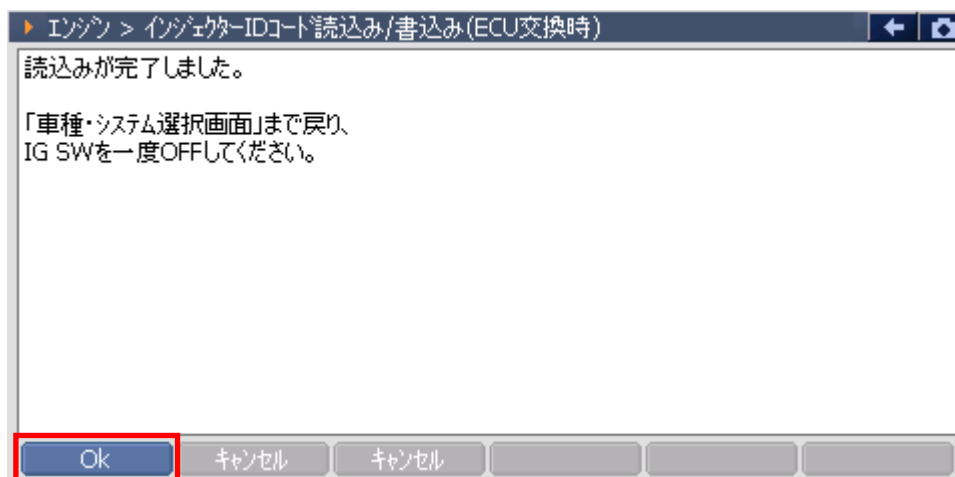


〈図: 確認メッセージ画面 インジェクターIDコード読み込み〉

※注意と補足※

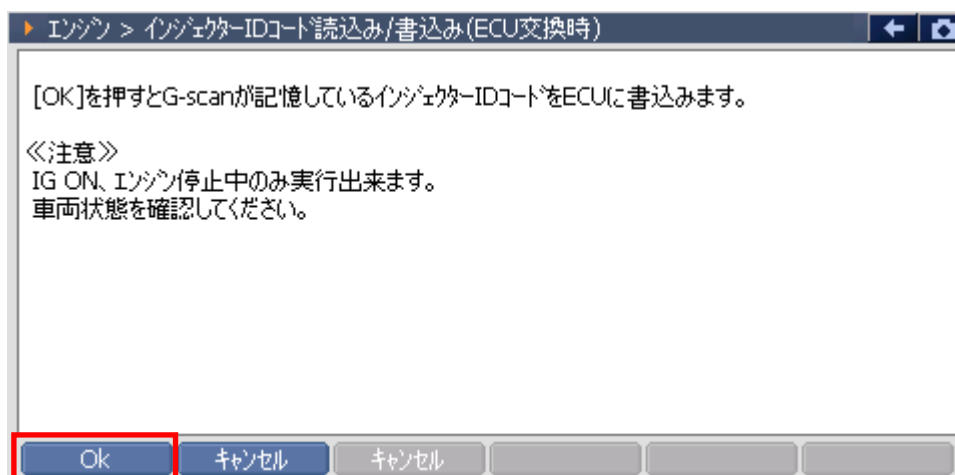
読み込みを行いますと以前に記憶していたデータは上書きされますのでご注意ください。

- 4) 読み込み完了のメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押してインジェクターIDコード読み込みを終了します。



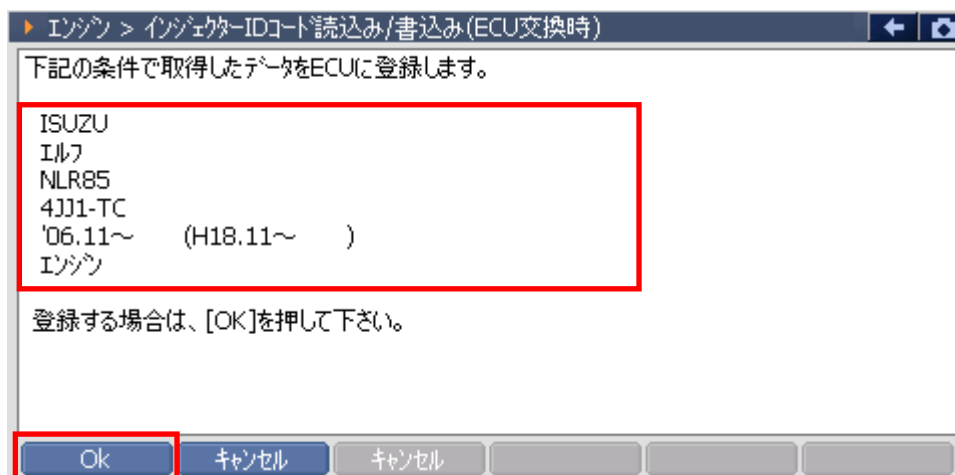
〈図: 完了画面 インジェクターIDコード読み込み〉

- 5) **書込み** ボタンを押すと注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ **Ok** ボタンを押してください。



〈図: 確認メッセージ画面 インジェクターIDコード書込み〉

- 6) 前回インジェクターIDコードを読込んだ際の情報が表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ **Ok** ボタンを押してください。

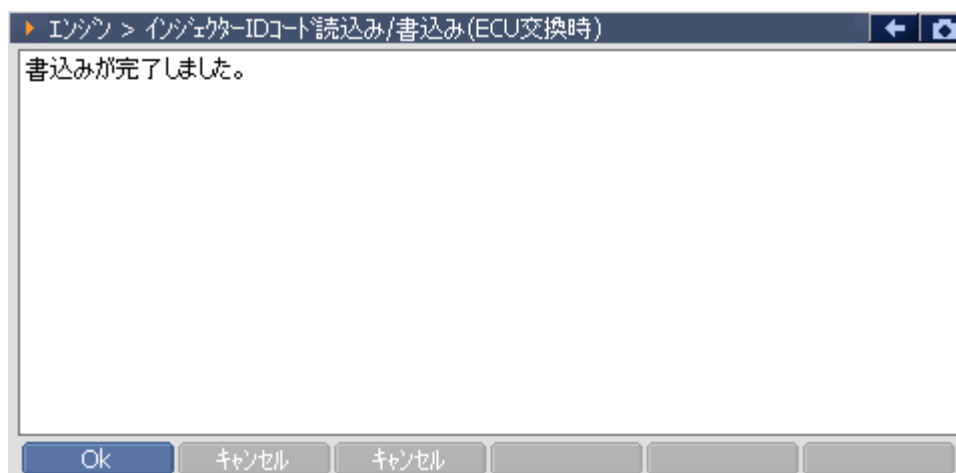


〈図: 確認メッセージ画面 インジェクターIDコード書込み〉

※注意と補足※

データを取得した車種と書込みを行う車種が異なる場合、データの書込みに失敗する場合がありますのでご注意ください。

- 7) 書き込み完了のメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押してインジェクターIDコード登録を終了します。




〈図: 完了画面 インジェクターIDコード書き込み〉

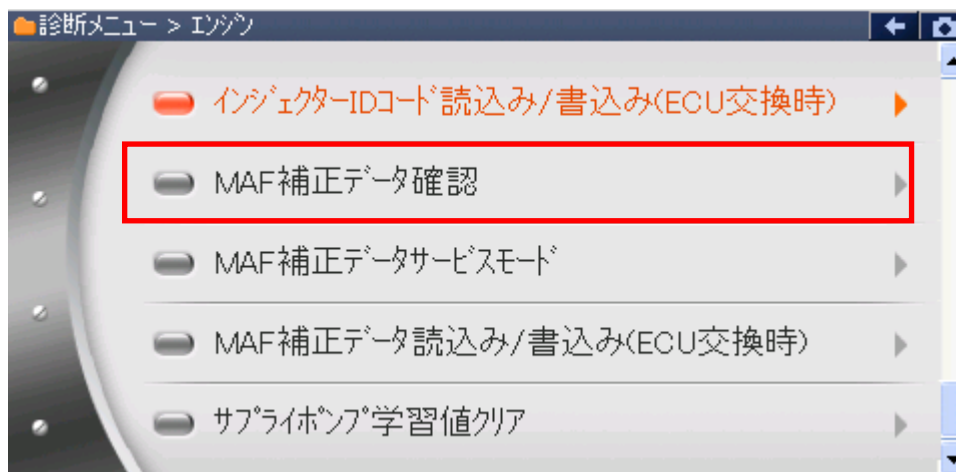
《作業サポート「MAF補正データ読み込み/書き込み(ECU交換時)」》

※注意と補足※

- ・ 基本的な作業の流れは「インジェクターIDコード読み込み/書き込み(ECU交換時)」と同様となります。
- ・ 読み込みを行いますと以前に記憶していたデータは上書きされますのでご注意ください。
- ・ データを取得した車種と書き込みを行う車種が異なる場合、データの書き込みに失敗する場合がありますのでご注意ください。


《作業サポート「MAF補正データ確認」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『MAF補正データ確認』を選択して  ボタンを押してください。

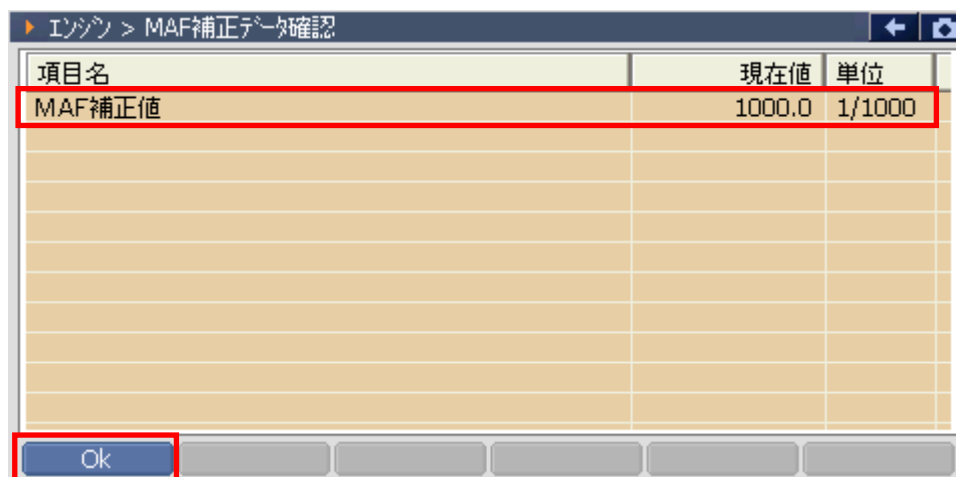


〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 現在のMAF補正值が表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ

 ボタンを押し、MAF補正データ確認を終了してください。

下記の画面ではMAF補正值は『1.000』を表します。(現在値 × 単位(1/1000) = 1.000)




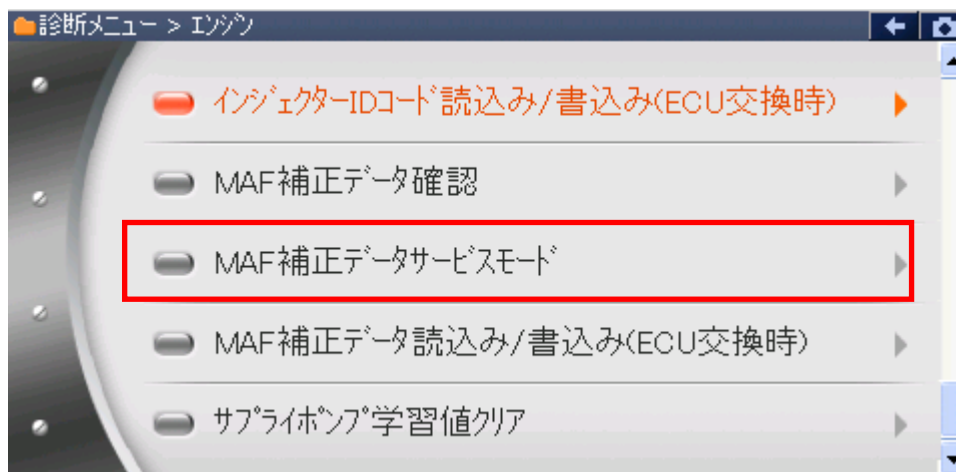
項目名	現在値	単位
MAF補正值	1000.0	1/1000

〈図: 確認画面 MAF補正データ確認〉


《作業サポート「MAF補正データサービスモード」》

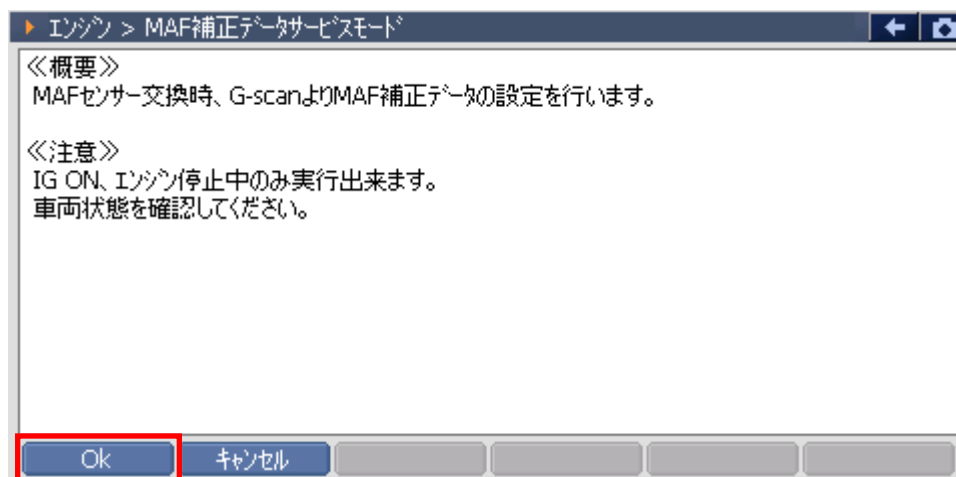
- 1) 作業サポート項目選択画面から『MAF補正データサービスモード』を選択して

 ボタンを押してください。



〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『MAF補正データサービスモード』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ  ボタンを押してください。



〈図: 確認メッセージ画面 MAF補正データサービスモード〉

- 3) 選択値の内容をご確認いただき、設定する値のボタンを押してください。ボタンを押すと押した値を設定します。

下記の画面ではMAF補正値は『1.000』を表します。(現在値 × 単位(1/1000) = 1.000)

項目名	現在値	単位
MAF補正値	1240.0	1/1000

〈図:入力画面 MAF補正データサービスモード〉


- 4) 書き込み完了のメッセージが表示されます。 ボタンを押してMAF補正データサービスモードを終了します。

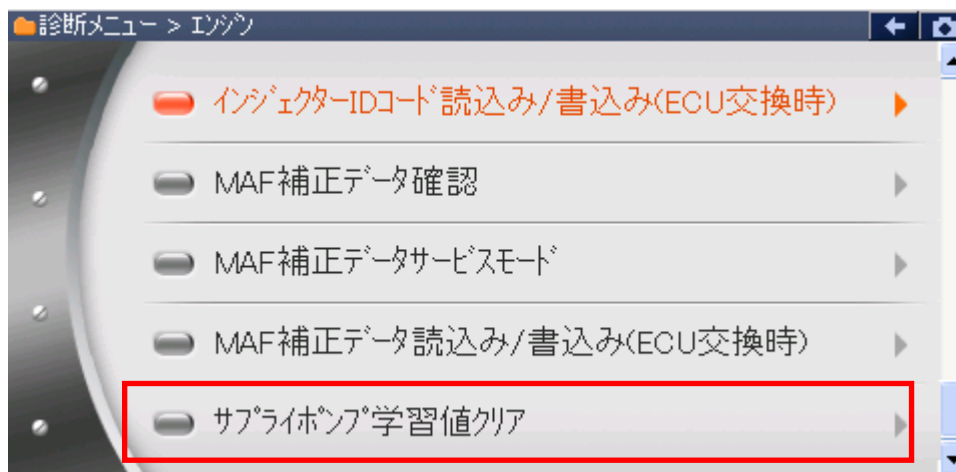
書き込みが完了しました。

〈図:完了画面 MAF補正データサービスモード〉


《作業サポート「サプライポンプ学習値クリア」》

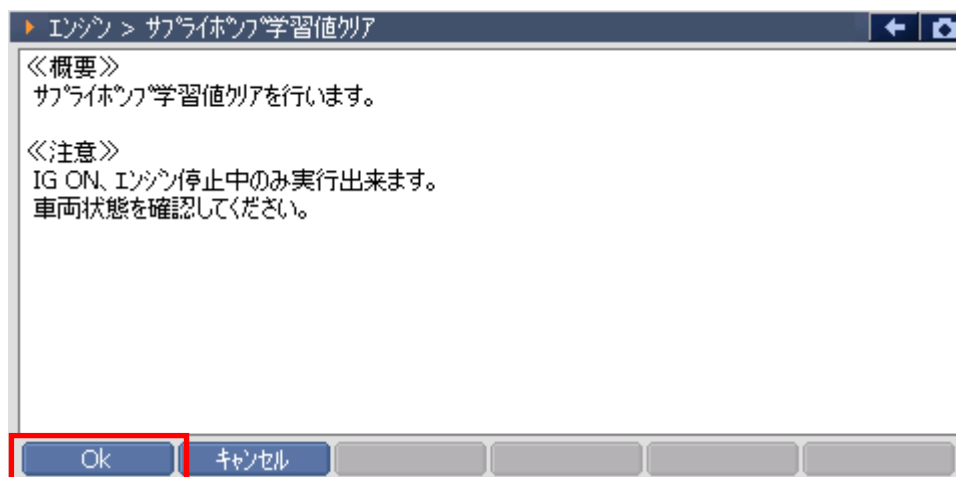
- 1) 作業サポート項目選択画面から『サプライポンプ学習値クリア』を選択して

 ボタンを押してください。



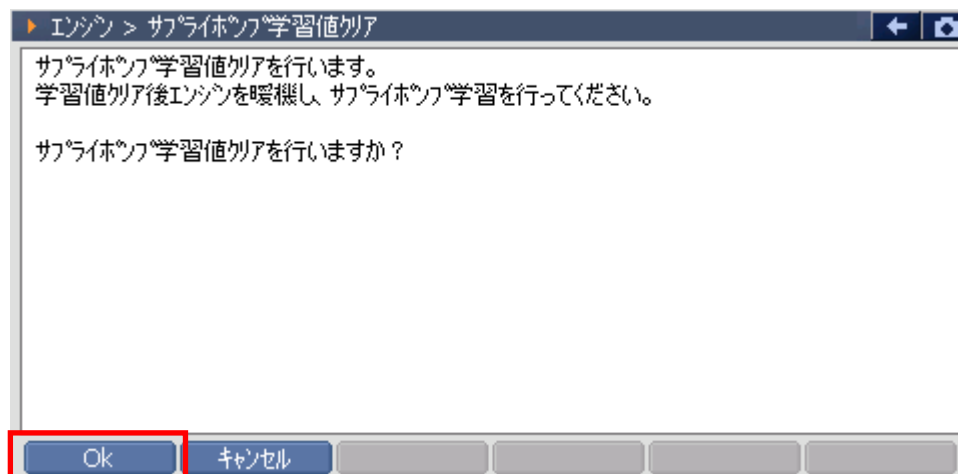
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『サプライポンプ学習値クリア』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



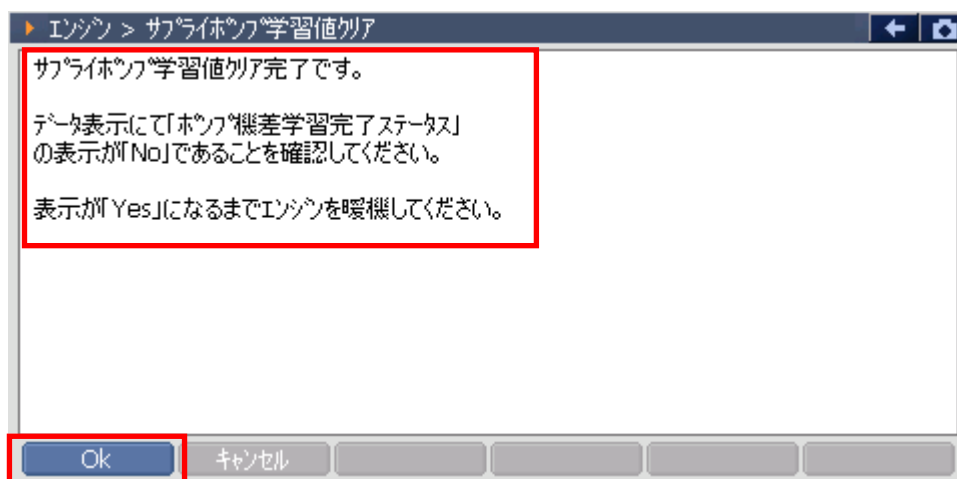
〈図: 確認メッセージ画面 サプライポンプ学習値クリア〉

- 3) 『サプライポンプ学習値クリア』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ **Ok** ボタンを押してください。




〈図:確認メッセージ画面 サプライポンプ学習値クリア〉

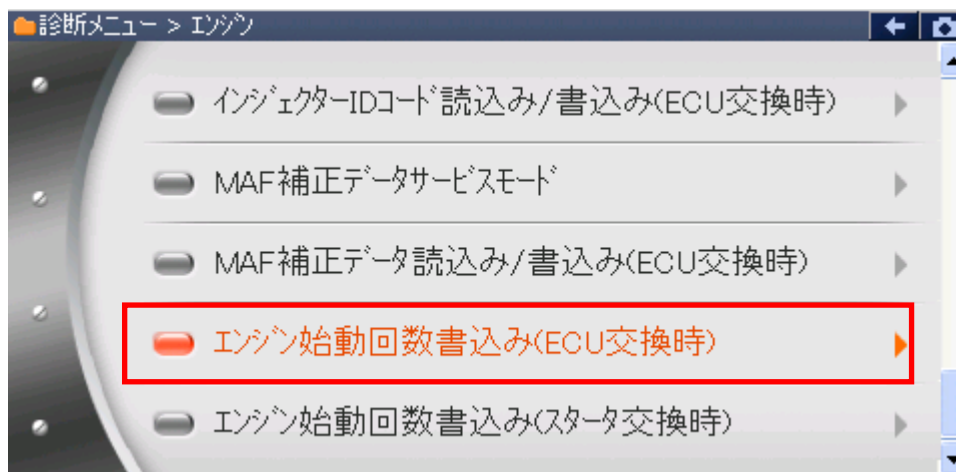
- 4) クリア完了のメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押してサプライポンプ学習値クリアを終了します。メッセージの内容に従ってエンジンを暖機してサプライポンプ学習値クリアの作業を完了してください。




〈図:確認メッセージ画面 サプライポンプ学習値クリア〉

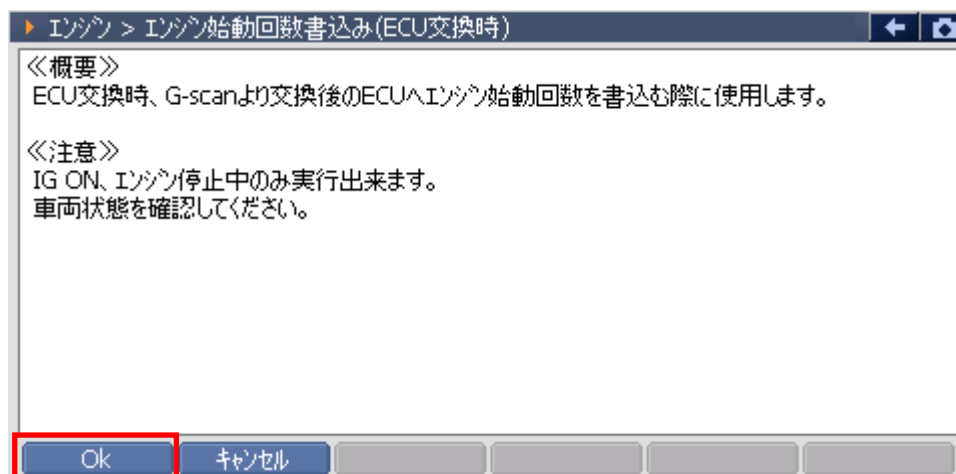
《作業サポート「エンジン始動回数書込み(ECU交換時)」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『エンジン始動回数書込み(ECU交換時)』を選択して  ボタンを押してください。



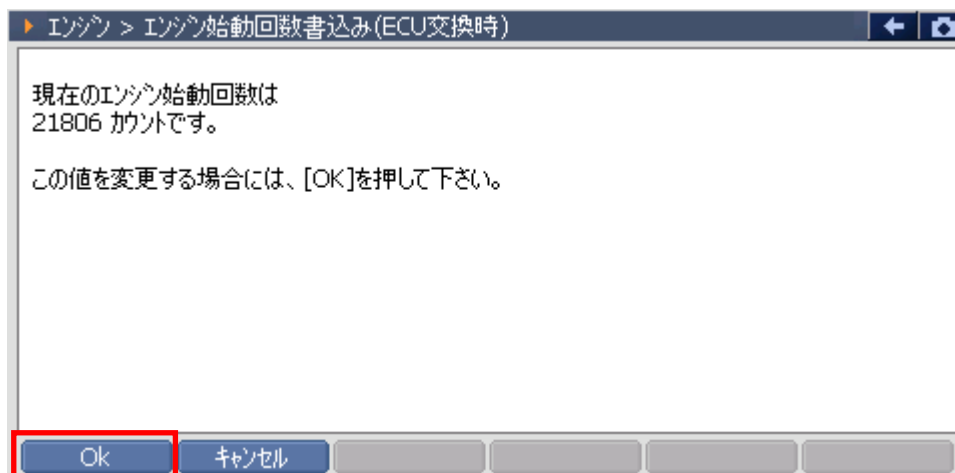
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『エンジン始動回数書込み(ECU交換時)』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



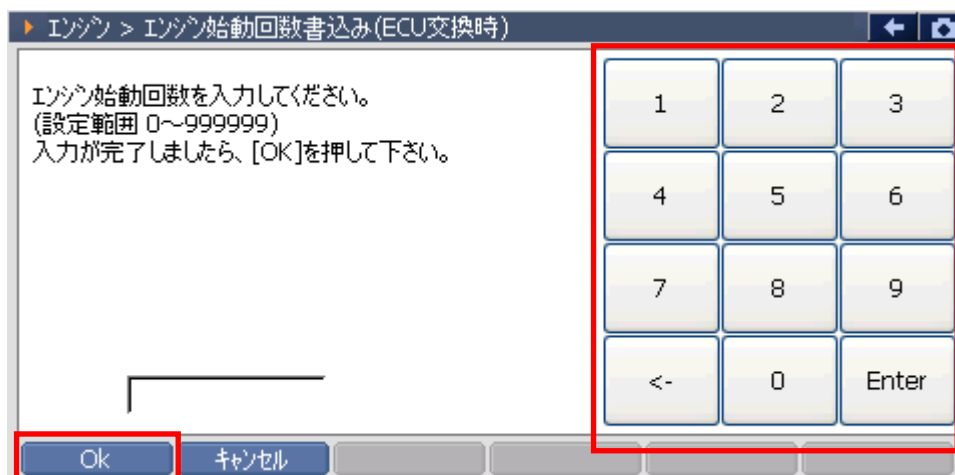
〈図: 確認メッセージ画面 エンジン始動回数書込み(ECU交換時)〉

- 3) 現在のエンジン始動回数が表示されます。変更する場合には **Ok** ボタンを押してください。



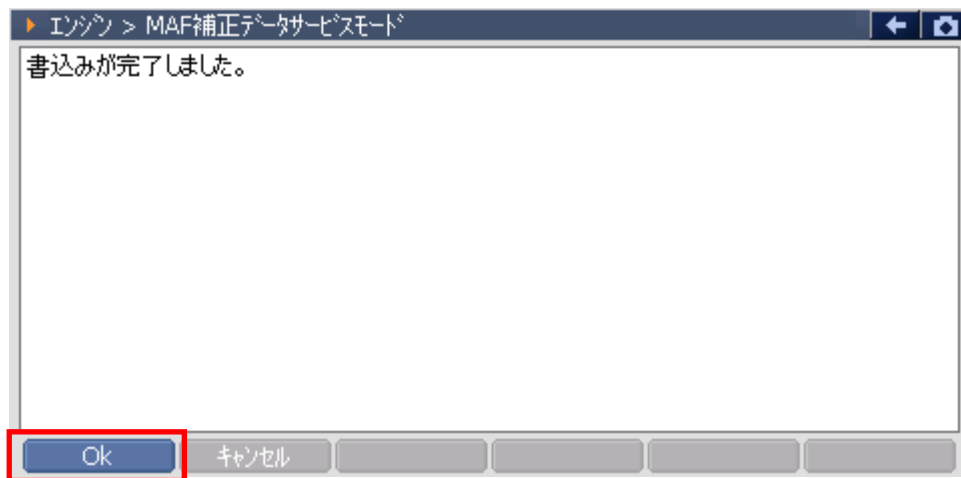
〈図:確認メッセージ画面 エンジン始動回数書込み(ECU交換時)〉

- 4) 画面右のボタンを押して、エンジンの始動回数を入力します。よろしければ **Ok** ボタンを押してください。



〈図:エンジン始動回数入力画面 エンジン始動回数書込み(ECU交換時)〉

- 5) 書き込み完了のメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押してエンジン始動回数書き込み(ECU交換時)を終了します。



〈図:完了画面 エンジン始動回数書き込み(ECU交換時)〉


《作業サポート「エンジン始動回数書き込み(スタータ交換時)」》

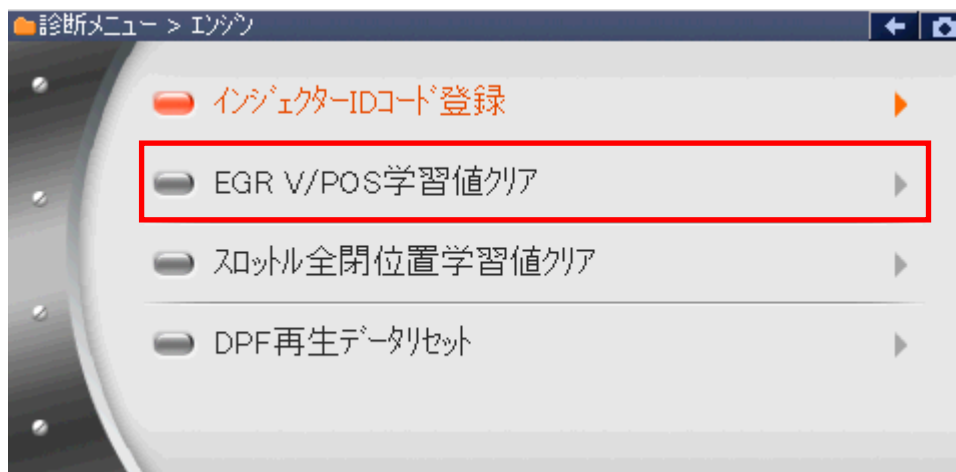
※注意と補足※

- ・ エンジンスタータを交換した際に行う作業です。
- ・ 基本的な作業の流れは「エンジン始動回数書き込み(ECU交換時)」と同様となります。


《作業サポート「EGR V/POS学習値クリア」》

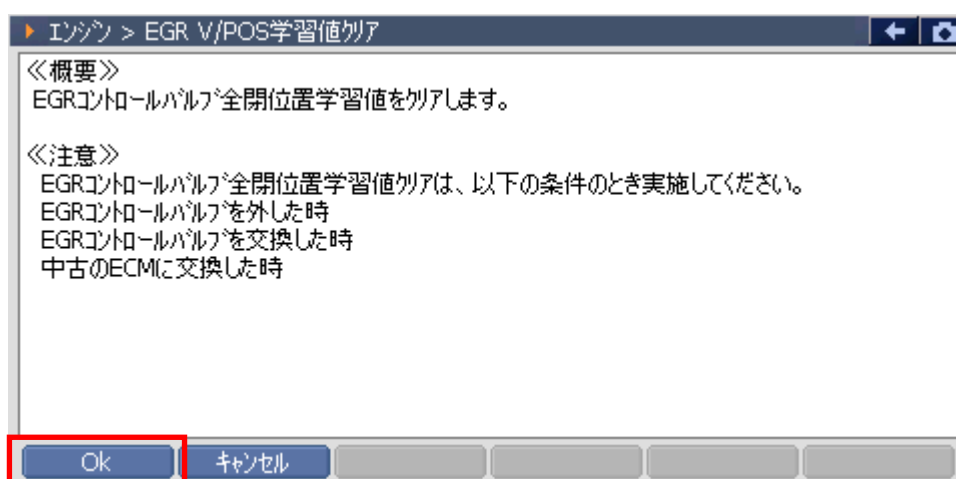
1) 作業サポート項目選択画面から『EGR V/POS学習値クリア』を選択して

 ボタンを押してください。



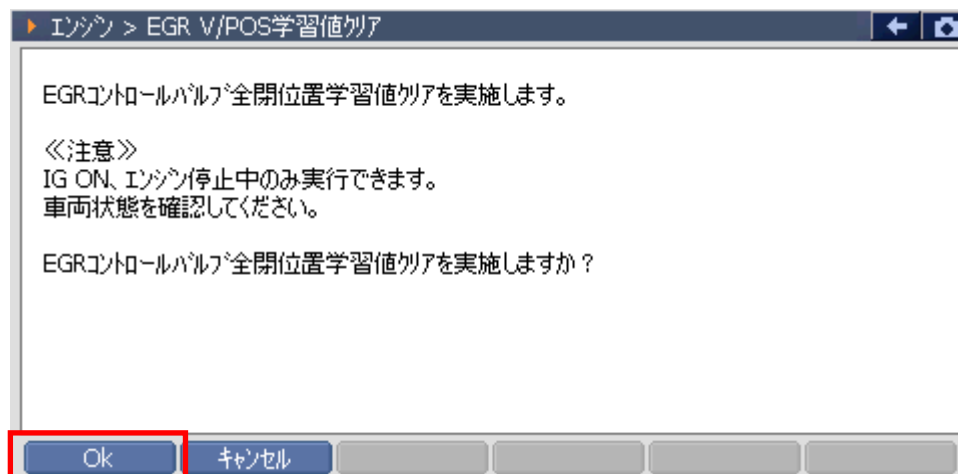
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

2) 『EGR V/POS学習値クリア』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



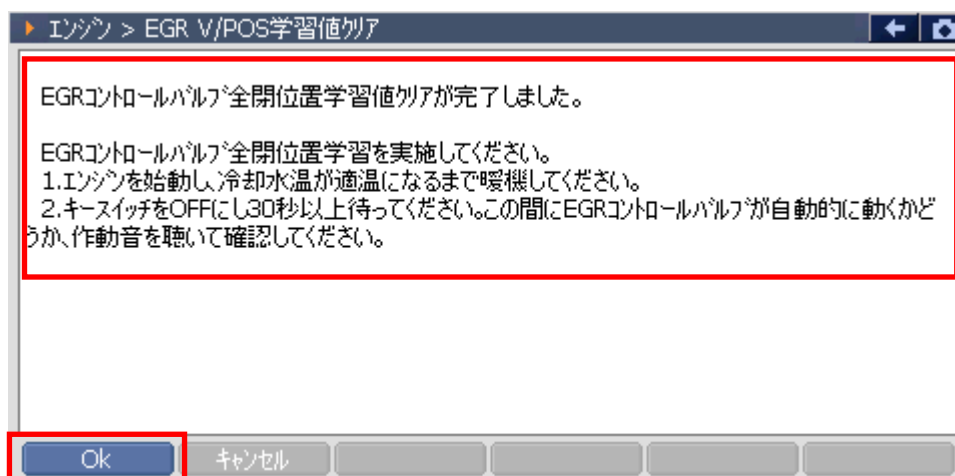
〈図: 確認メッセージ画面 EGR V/POS学習値クリア〉

- 3) 『EGR V/POS学習値クリア』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ **Ok** ボタンを押してください。



〈図：確認メッセージ画面 EGR V/POS学習値クリア〉


- 4) クリア完了のメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押してEGR V/POS学習値クリアを終了します。メッセージの内容に従ってEGR V/POS学習値クリアの作業を完了してください。

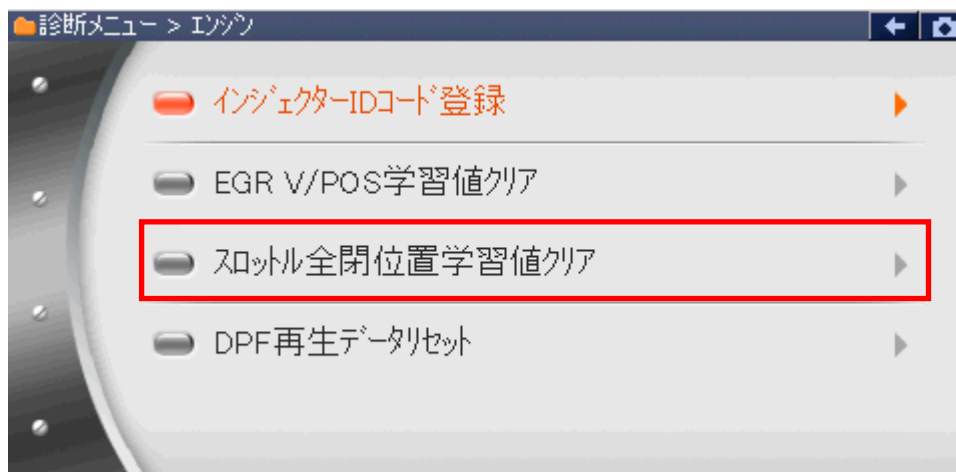


〈図：確認メッセージ画面 EGR V/POS学習値クリア〉


《作業サポート「スロットル全閉位置学習値クリア」》

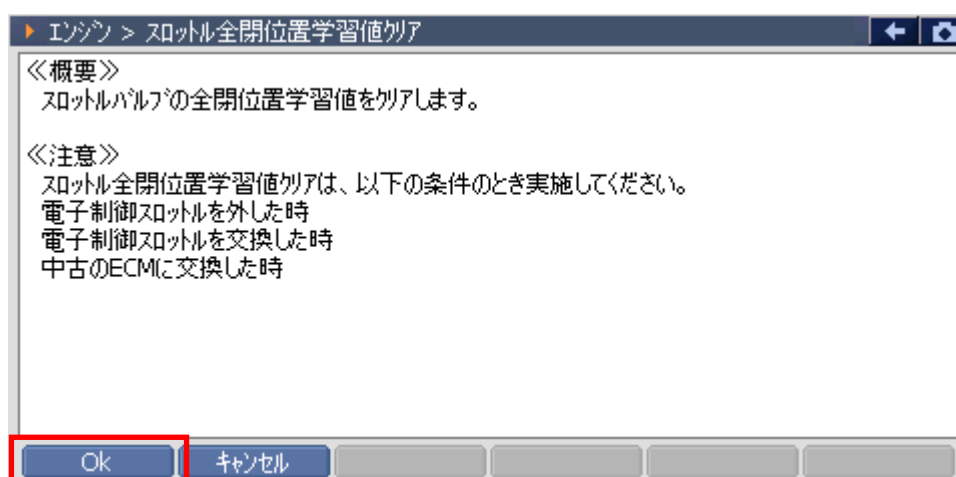
1) 作業サポート項目選択画面から『スロットル全閉位置学習値クリア』を選択して

 ボタンを押してください。



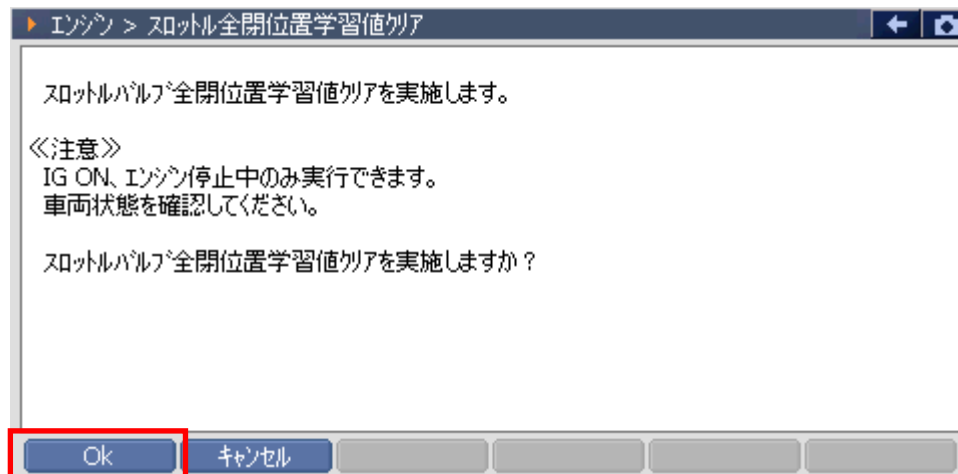
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

2) 『スロットル全閉位置学習値クリア』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



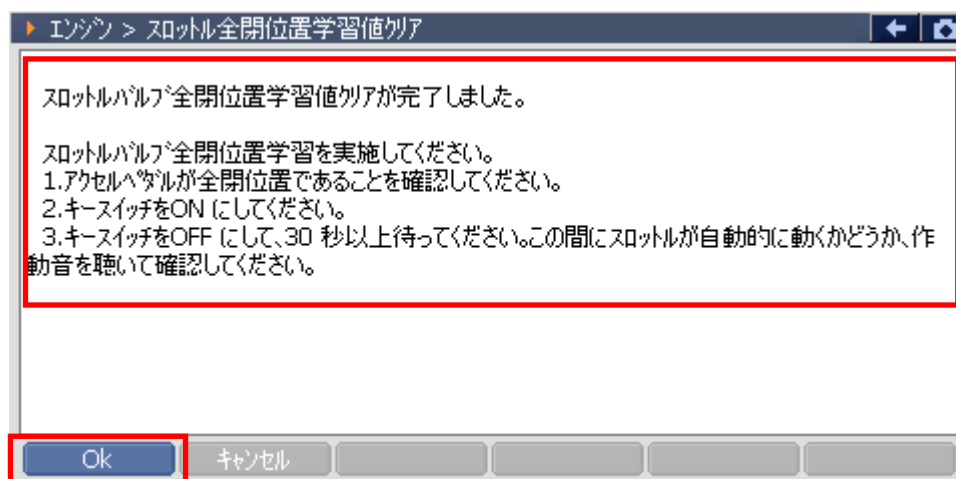
〈図: 確認メッセージ画面 スロットル全閉位置学習値クリア〉

- 3) 『スロットル全閉位置学習値クリア』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ **Ok** ボタンを押してください。



〈図: 確認メッセージ画面 スロットル全閉位置学習値クリア〉

- 4) クリア完了のメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押してスロットル全閉位置学習値クリアを終了します。メッセージの内容に従ってスロットル全閉位置学習値クリアの作業を完了してください。

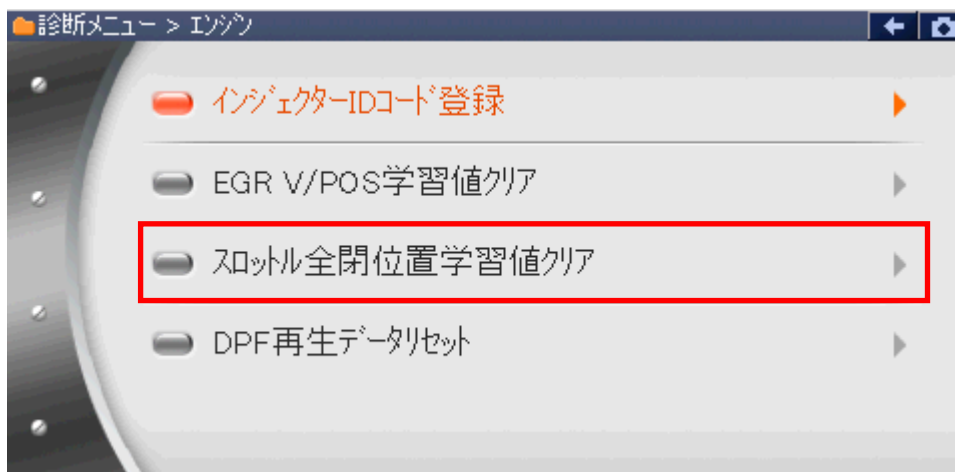


〈図: 確認メッセージ画面 スロットル全閉位置学習値クリア〉

《作業サポート「DPF再生データリセット」》

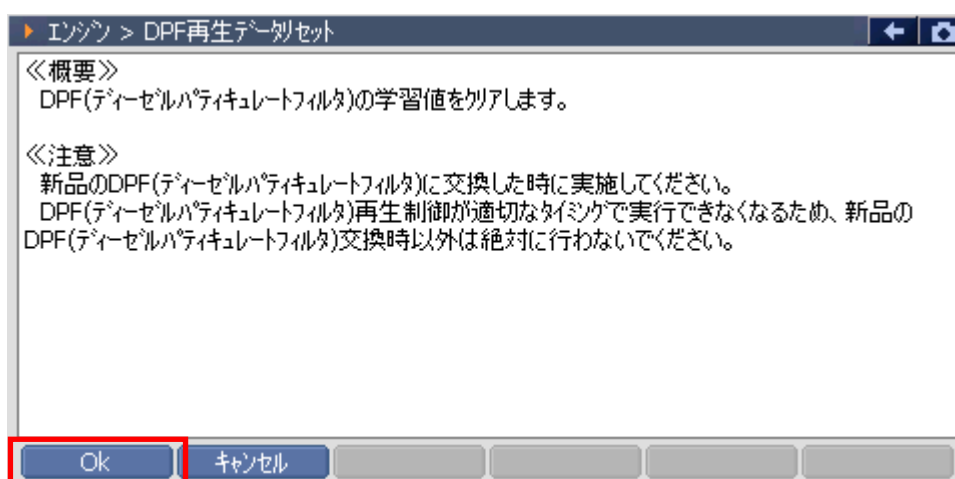
- 1) 作業サポート項目選択画面から『DPF再生データリセット』を選択してボタンを押してください。

ENTER ↵



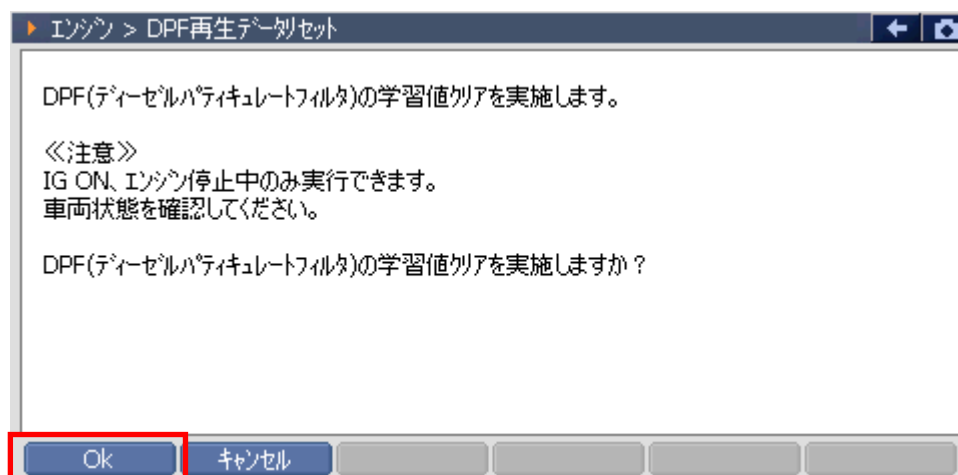
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『DPF再生データリセット』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ **Ok** ボタンを押してください。



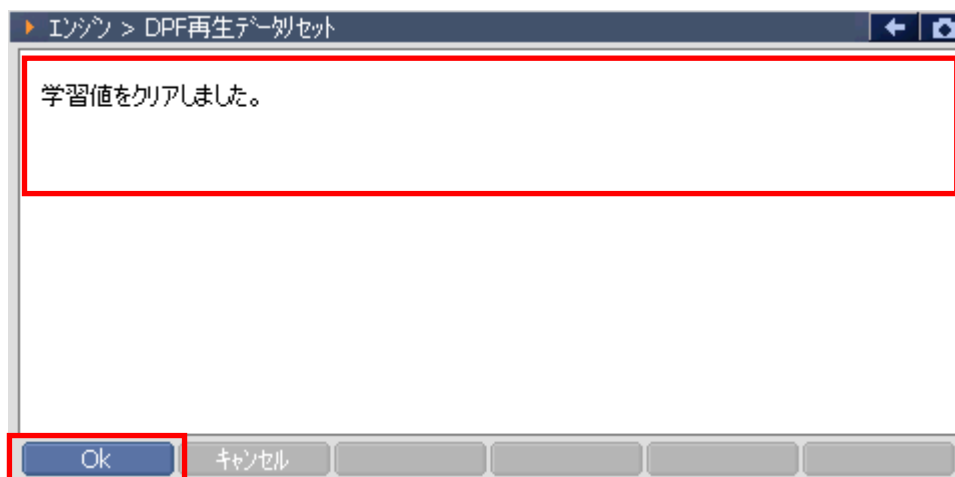
〈図: 確認メッセージ画面 スロットル全閉位置学習値クリア〉

- 3) 『DPF再生データリセット』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ **Ok** ボタンを押してください。




〈図: 確認メッセージ画面 スロットル全閉位置学習値クリア〉

- 4) クリア完了のメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押してDPF再生データリセットを終了します。




〈図: 確認メッセージ画面 スロットル全閉位置学習値クリア〉

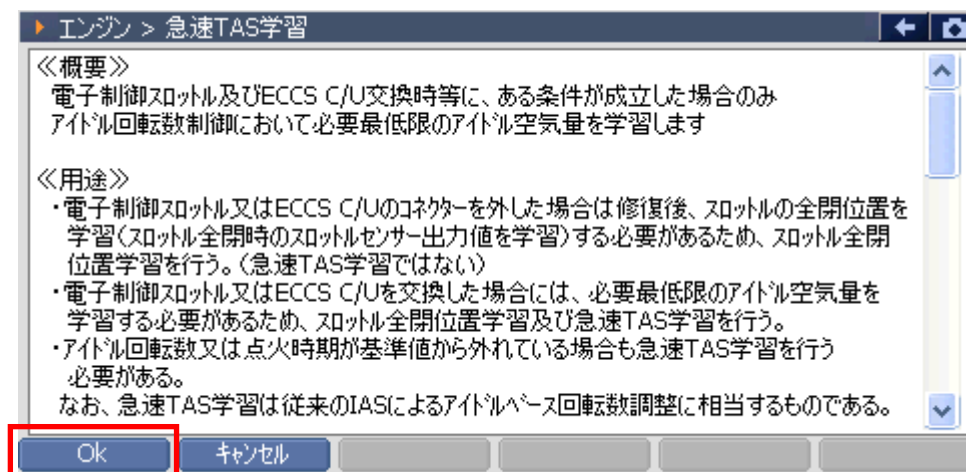
《作業サポート「急速TAS学習」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『急速TAS学習』を選択して  ボタンを押してください。




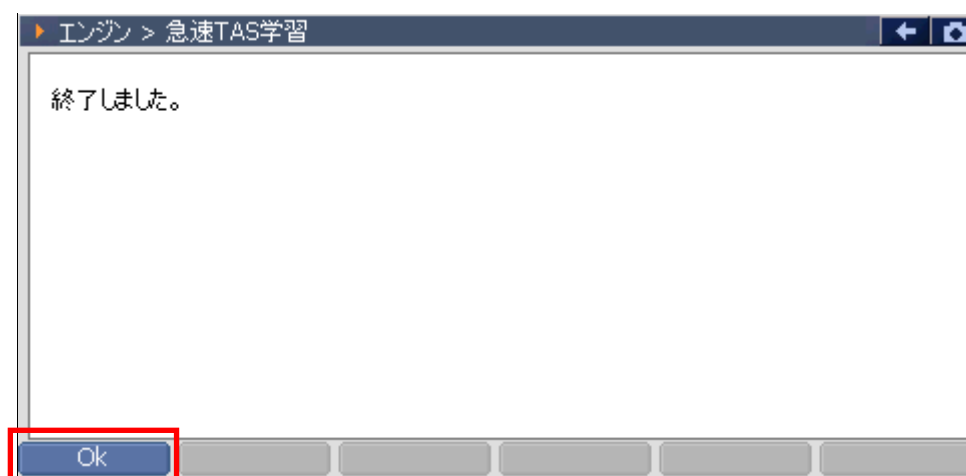
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『急速TAS学習』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押し、画面の指示に従って作業サポートを実行してください。




〈図: 確認メッセージ画面 急速TAS学習〉

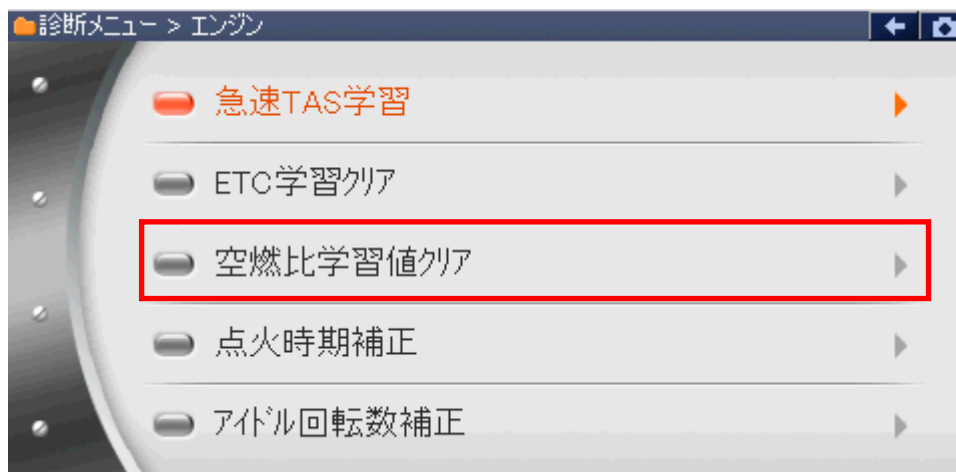
- 3) 作業サポートが実行され、完了メッセージが表示されます。 ボタンを押して作業サポートを終了します。




〈図:完了メッセージ画面 急速TAS学習〉

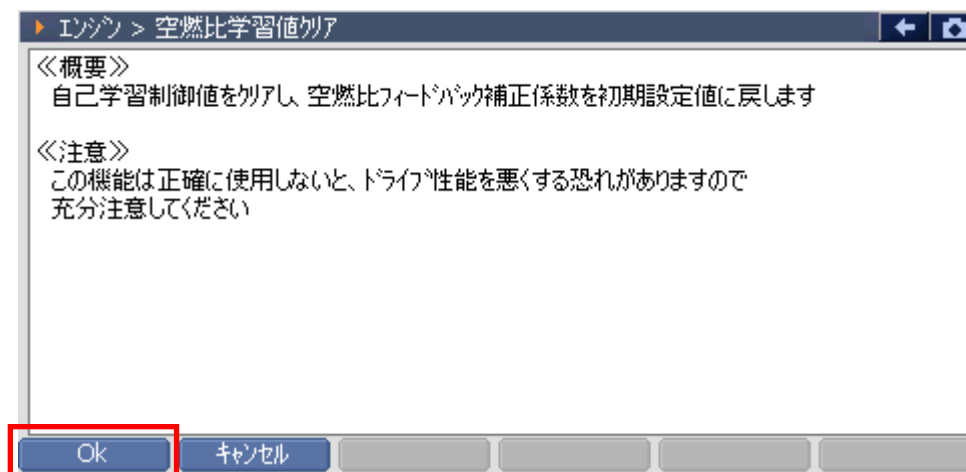
《作業サポート「空燃比学習値クリア」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『空燃比学習値クリア』を選択して  ボタンを押してください。




〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『空燃比学習値クリア』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押し、画面の指示に従って作業サポートを実行してください。




〈図: 確認メッセージ画面 空燃比学習値クリア〉

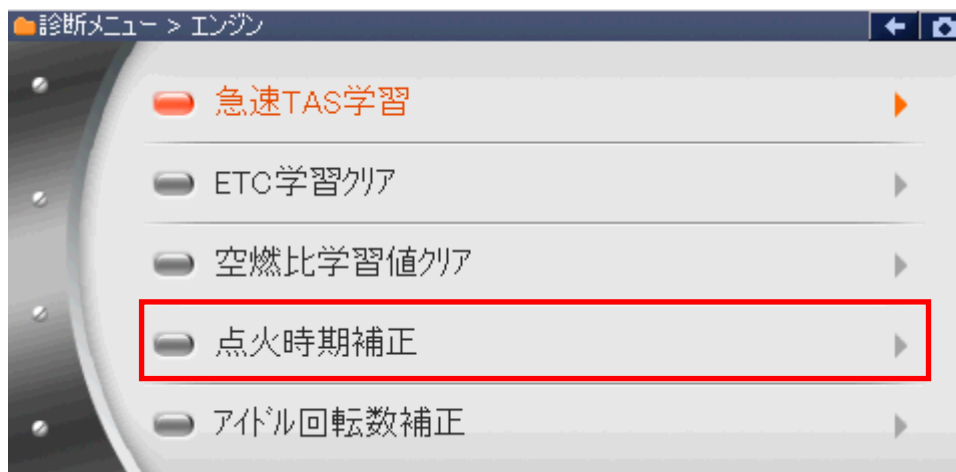
- 3) 作業サポートが実行され、完了メッセージが表示されます。  ボタンを押して作業サポートを終了します。




〈図:完了メッセージ画面 空燃比学習値クリア〉

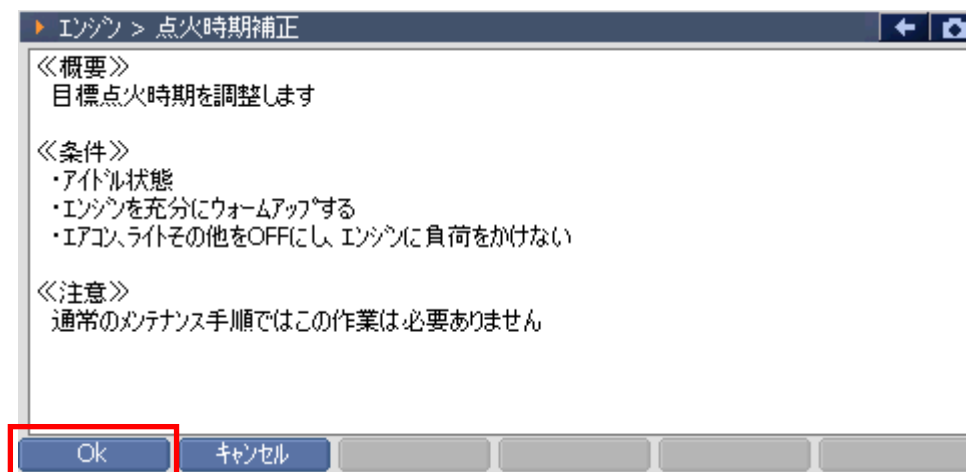
《作業サポート「点火時期補正」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『点火時期補正』を選択して  ボタンを押してください。



〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『点火時期補正』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押し、画面の指示に従って作業サポートを実行してください。



〈図: 確認メッセージ画面 点火時期補正〉

- 3) 『点火時期補正』の設定画面に移ります。< > ボタンを押して点火時期補正值を変更し、設定 ボタンを押して値を設定してください。設定が完了しましたら、終了 ボタンを押して作業サポートを終了します。

項目名	現在値	単位
点火時期補正值	0.0	'

設定 終了 < >


〈図: 設定値変更画面 点火時期補正〉

項目名	現在値	単位
点火時期補正值	0.0	'

設定 終了 < >


〈図: 設定値変更画面 点火時期補正〉

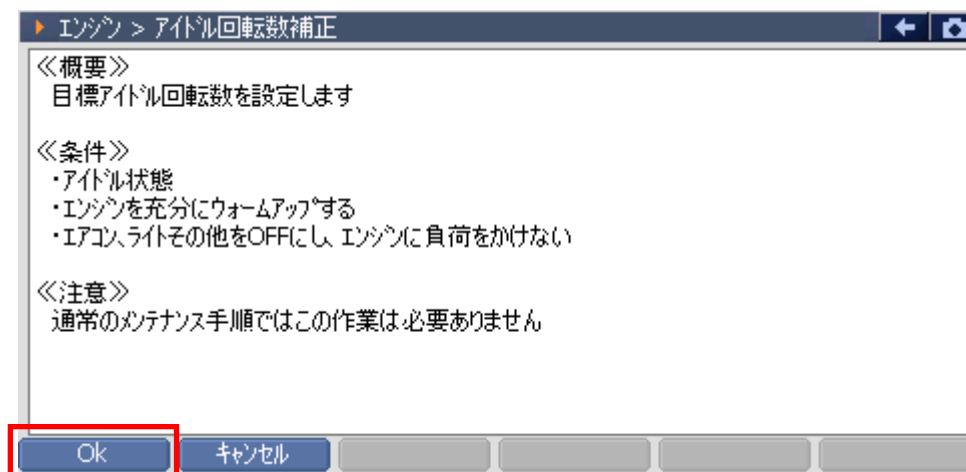
《作業サポート「アイドル回転数補正」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『アイドル回転数補正』を選択して  ボタンを押してください。



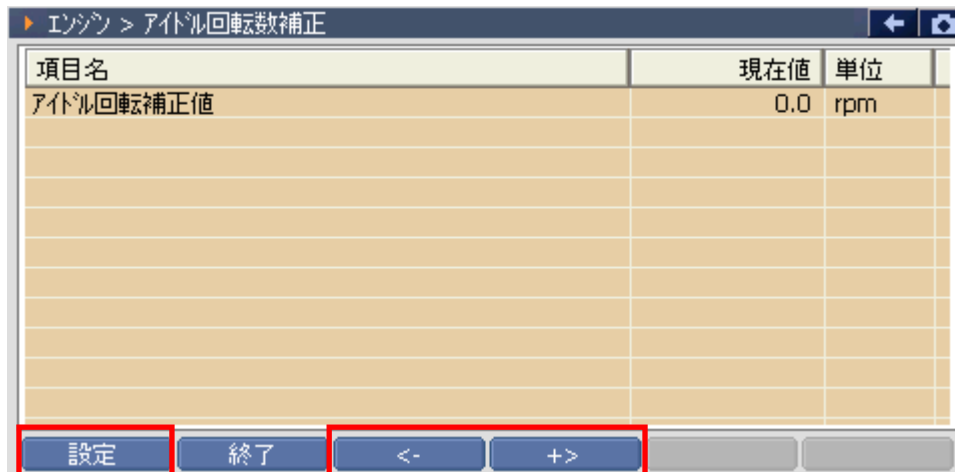
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『アイドル回転数補正』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押し、画面の指示に従って作業サポートを実行してください。



〈図: 確認メッセージ画面 アイドル回転数補正〉

- 3) 『アイドル回転数補正』の設定画面に移ります。< > ボタンを押して点火時期補正值を変更し、設定 ボタンを押して値を設定してください。設定が完了しましたら、終了 ボタンを押して作業サポートを終了します。



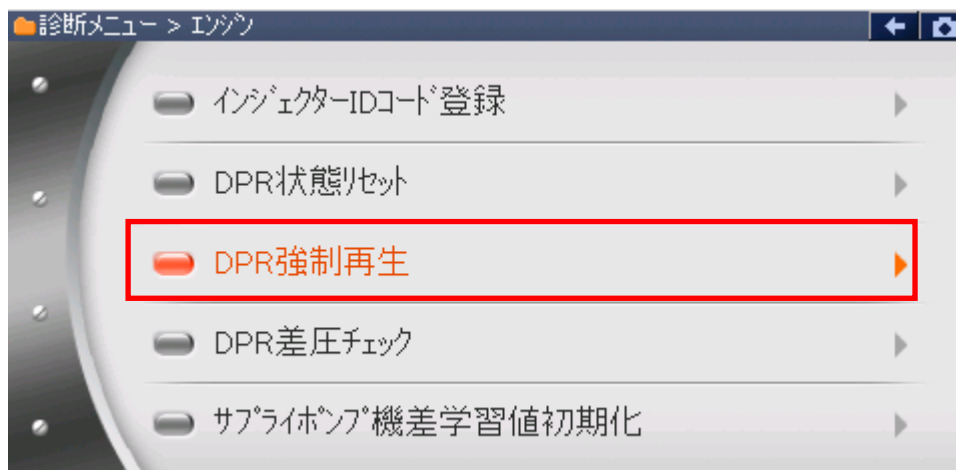
〈図: 設定値変更画面 アイドル回転数補正〉



〈図: 設定値変更画面 アイドル回転数補正〉

《作業サポート「DPR強制再生」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『DPR強制再生』を選択して  ボタンを押してください。

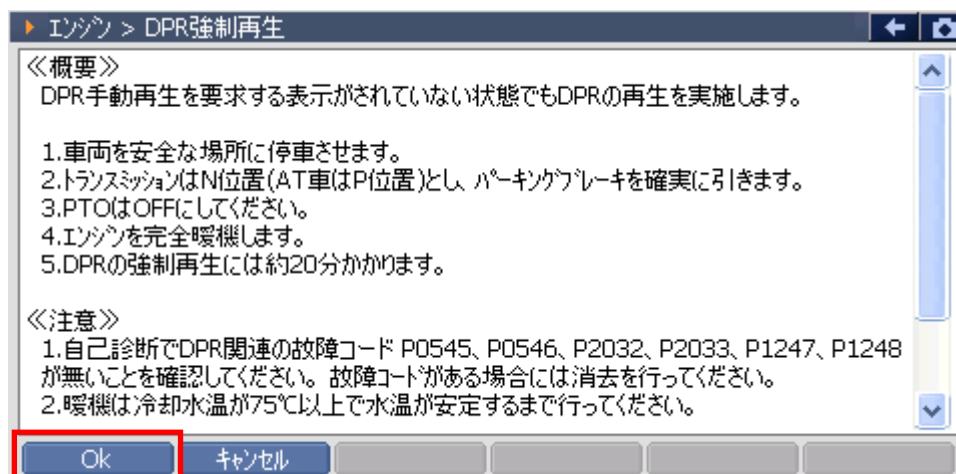


〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『DPR強制再生』の注意メッセージ画面に移ります。

注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

 ボタンを押してください。

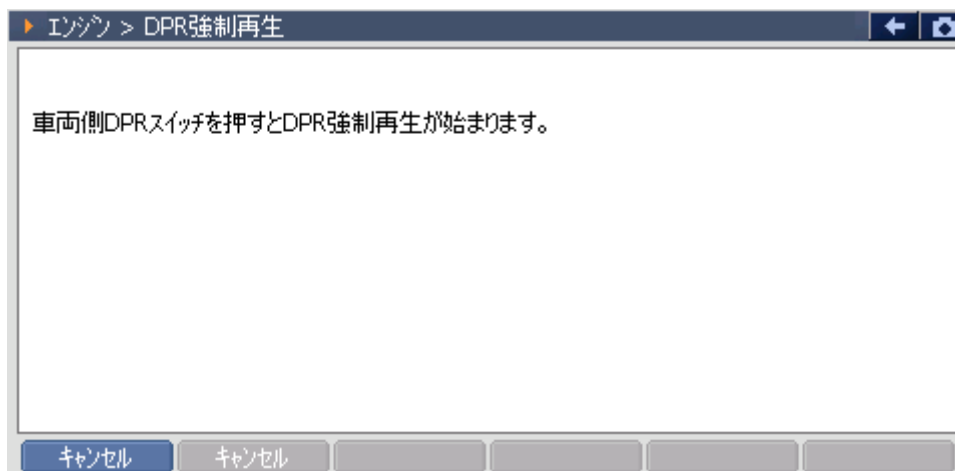


〈図: 注意メッセージ画面 DPR強制再生〉

※注意と補足※

- 自己診断で故障コードP2002が検出した場合は消去を行ってから本作業を実施してください。消去するには一度バッテリーケーブルを外し、1分以上放置してください。

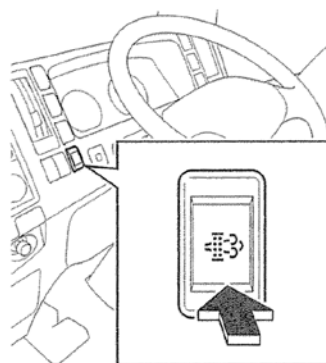
- 3) 『DPR強制再生』の実行画面に移ります。車両側のDPRスイッチを押すとDPR強制再生が始まります。



〈図: 実行確認画面 DPR強制再生〉

※ 注意と補足※

- ・ 以下、DPR再生強制再生の例を示します。車両により状態遷移が異なる場合があります。

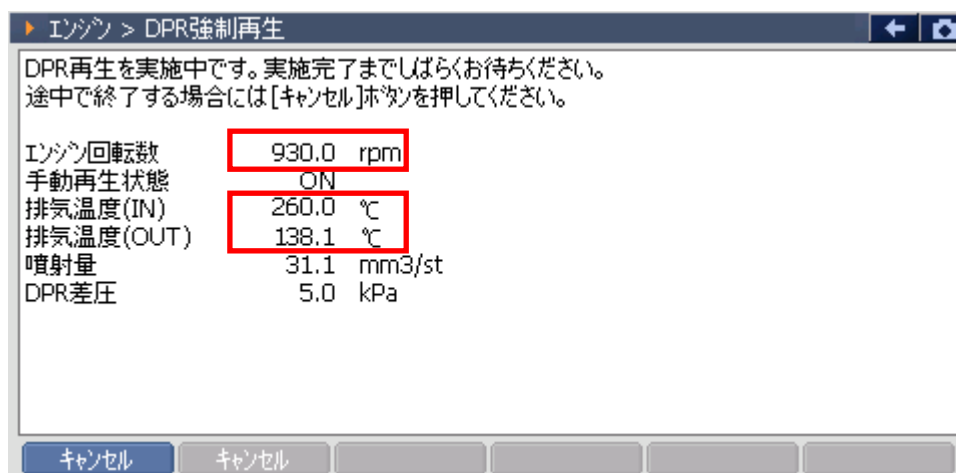


〈図: DPDスイッチ〉

※ 注意と補足※

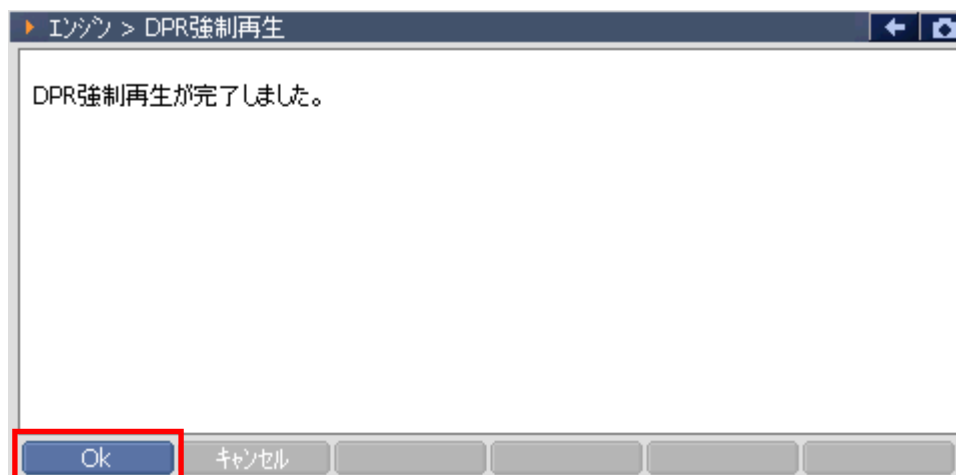
- ・ 上記のDPDスイッチは車両により配置位置、形状が異なる場合があります。

DPR強制再生開始後、自動的にエンジン回転数が上がり、徐々に排気温度センサ値が上昇します。



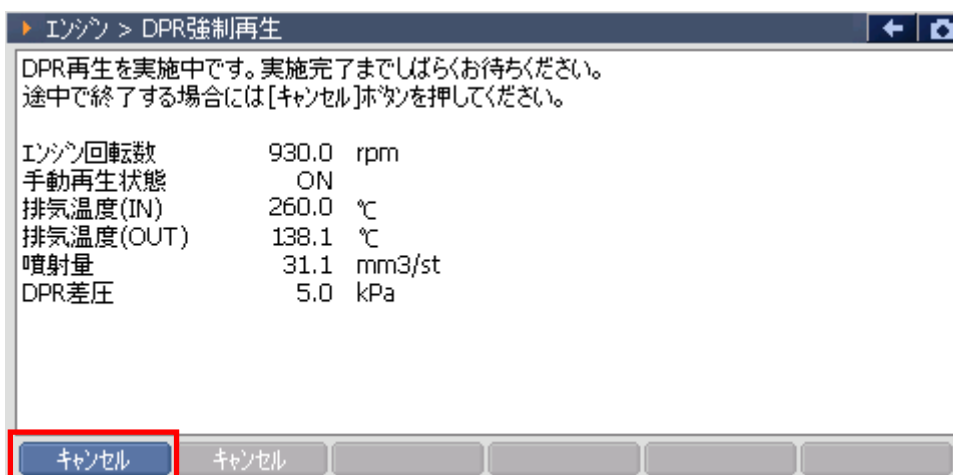
〈図:実行画面 DPR強制再生〉

4) 約20分経過後、エンジン回転速度が下がりDPR再生完了メッセージが表示されますので、**Ok** ボタンを押してDPR再生を完了してください。



〈図:完了画面 DPR強制再生〉

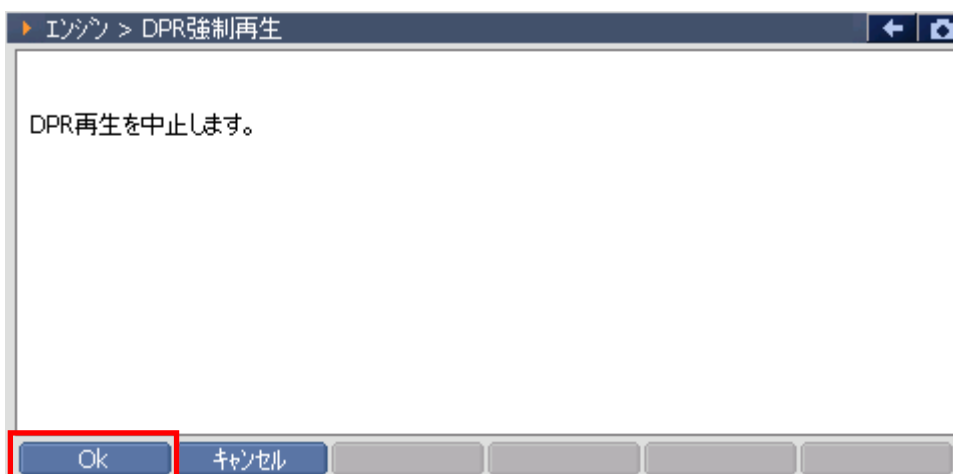
5) やむを得ず、『DPR強制再生』を途中で中止する場合は **再生中止** ボタンを押してください。



〈図:実行画面 DPR強制再生〉

6) 再生中止メッセージ表示されますので、メッセージに従い操作してください。

Ok ボタンを押してDPR強制再生を中止してください。



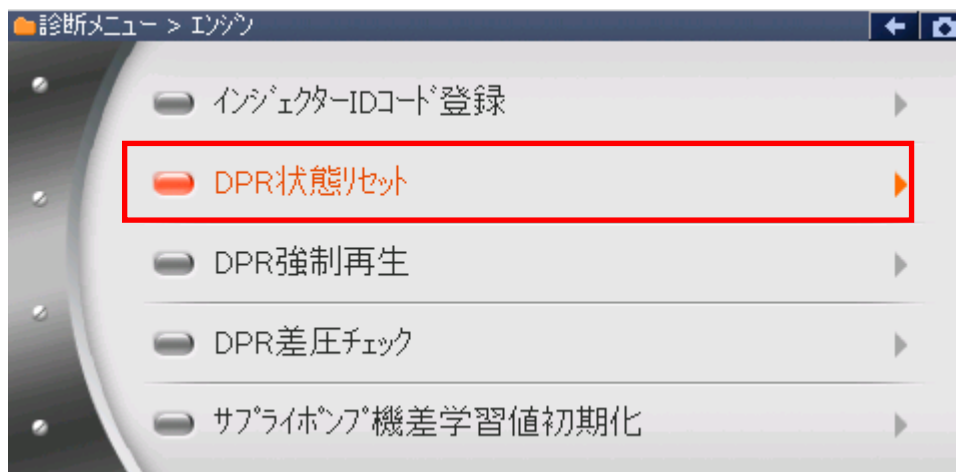
〈図:再生中止画面 DPR強制再生〉

※注意と補足※


- ・ 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。
- ・ 手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

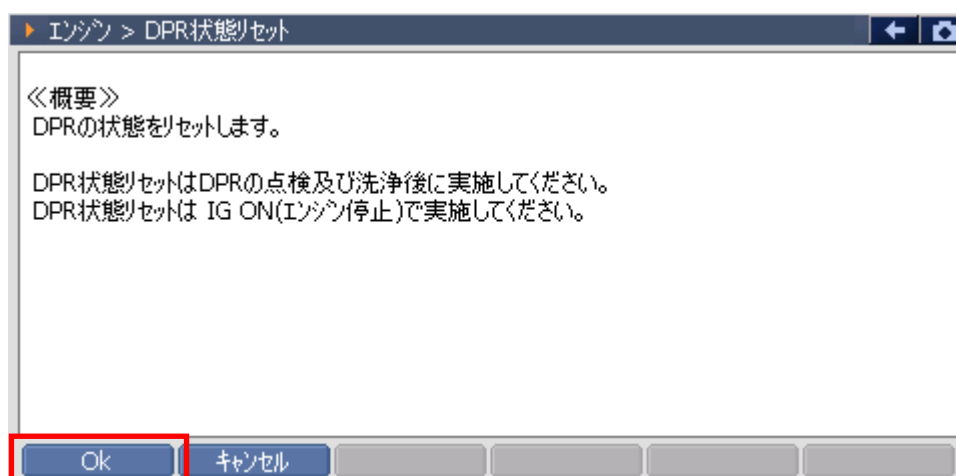
《作業サポート「DPR状態リセット」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『DPR状態リセット』を選択して  ボタンを押してください。



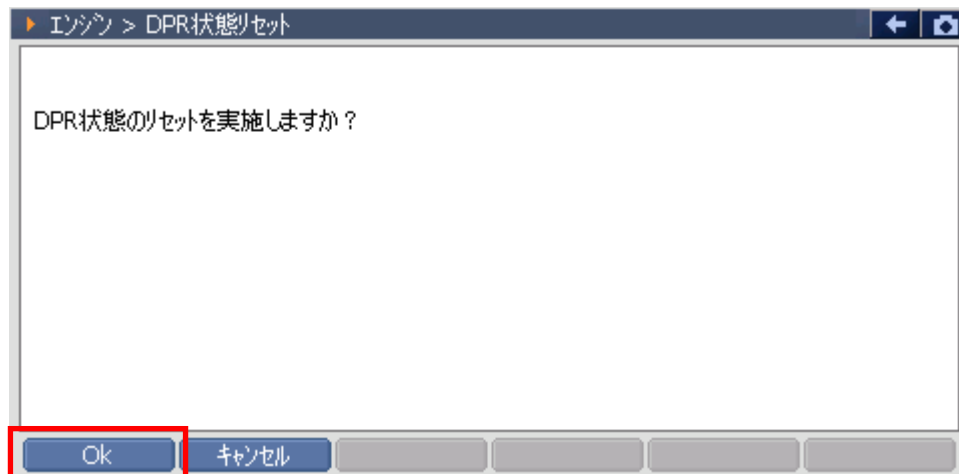
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『DPR状態リセット』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



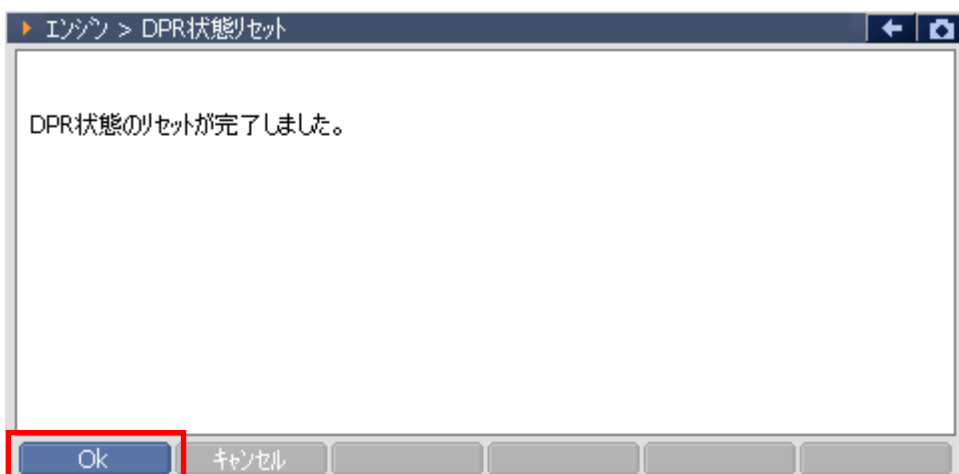
〈図: 確認メッセージ画面 DPR状態リセット〉

- 3) 実施確認のメッセージが表示されます。よろしければ **Ok** ボタンを押してください。



〈図: 確認メッセージ画面 DPR状態リセット〉


- 4) リセット完了のメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押してDPR状態リセットを終了します。

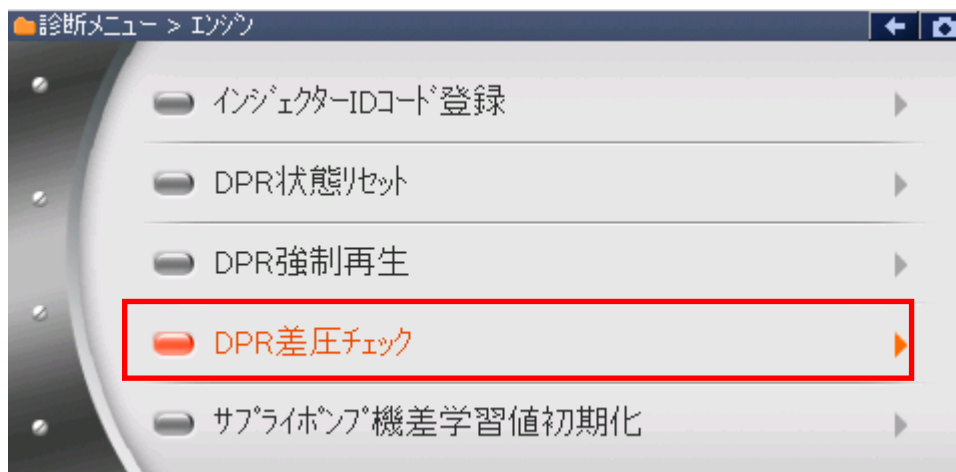


〈図: 完了メッセージ画面 DPR状態リセット〉


《作業サポート「DPR差圧チェック」》

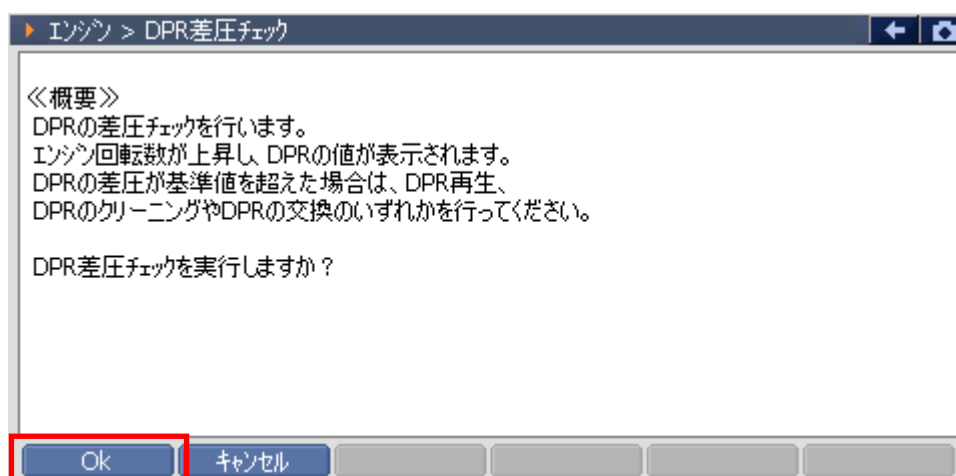
1) 作業サポート項目選択画面から『サプライポンプ学習値初期化』を選択して

 ボタンを押してください。



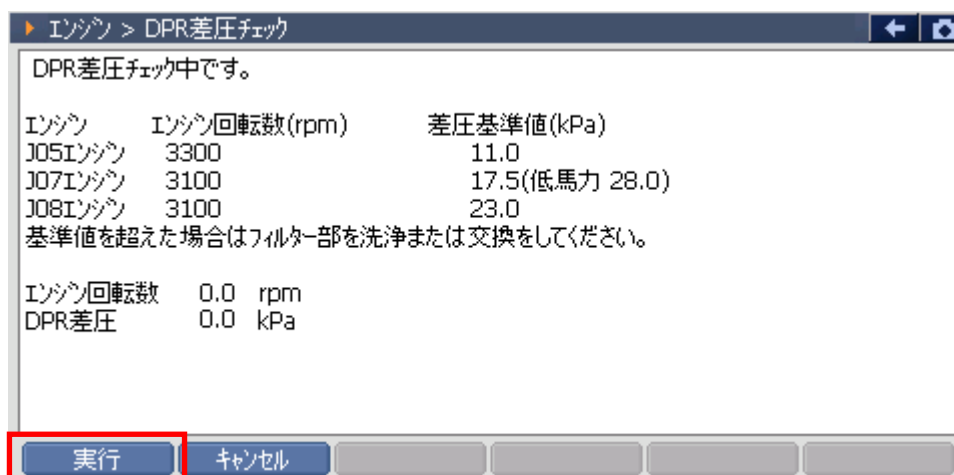
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

2) 『DPR差圧チェック』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



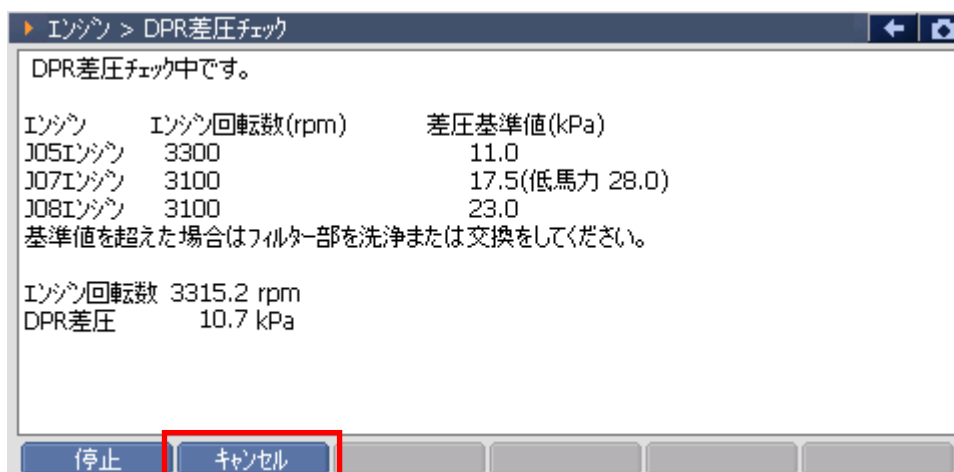
〈図: 確認メッセージ画面 DPR差圧チェック〉

- 3) DPR差圧状態が表示されます。**実行** ボタンを押すとエンジン回転数が上がりDPR差圧が上昇します。




〈図: モニター画面 DPR差圧チェック〉

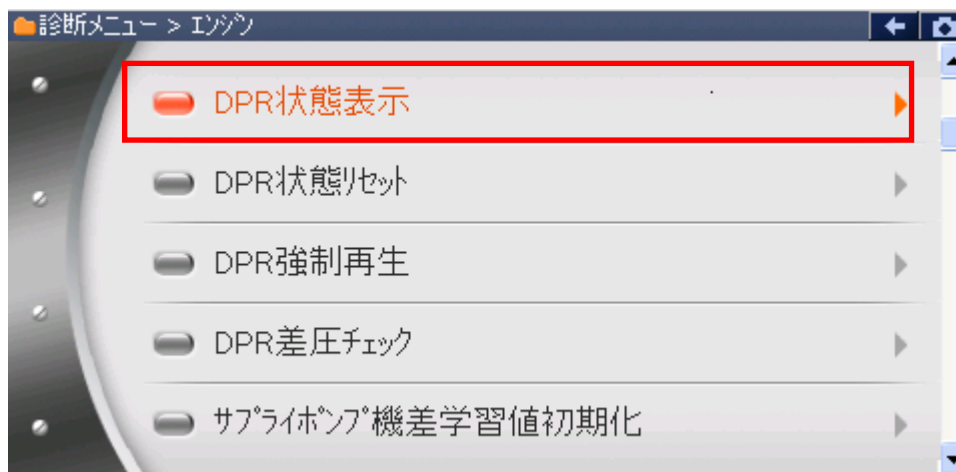
- 4) **停止** ボタンを押すとエンジン回転数が下がりチェックが終了します。DPR差圧が上昇します。終了する場合は**キャンセル** ボタンを押してください。




〈図: モニター画面 DPR差圧チェック〉

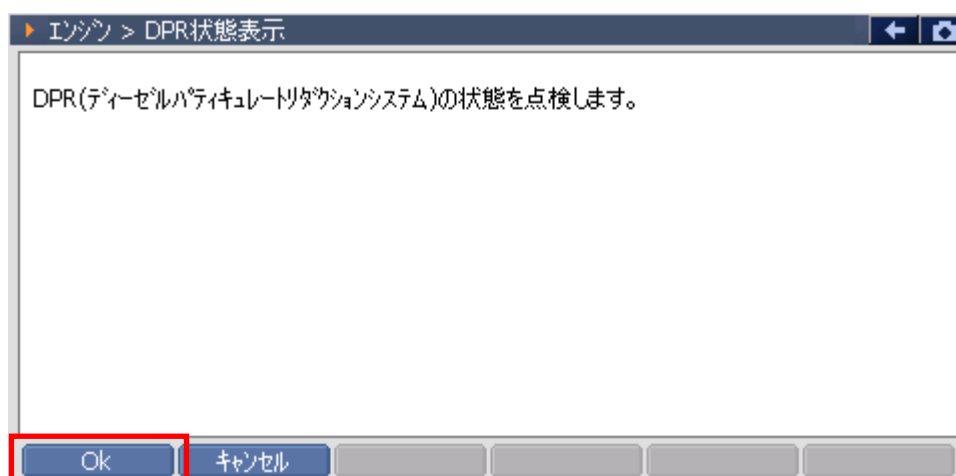
《作業サポート「DPR状態表示」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『DPR状態表示』を選択して  ボタンを押してください。



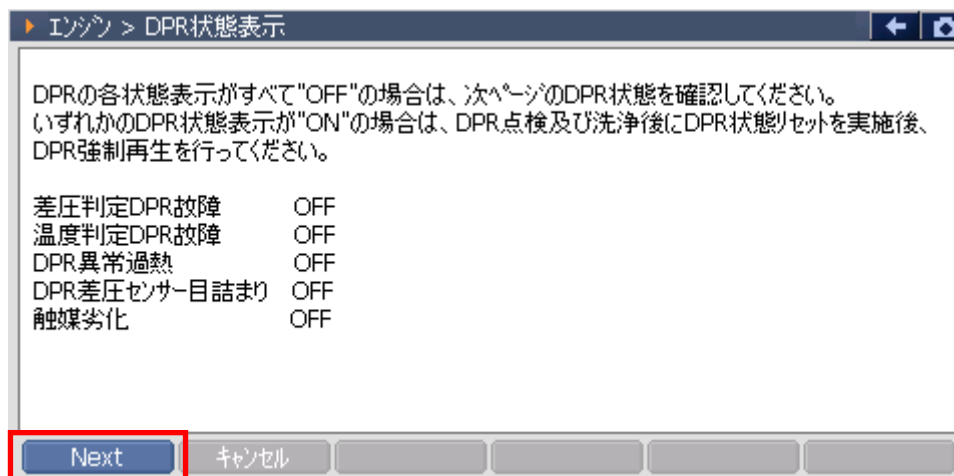
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『DPR状態表示』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



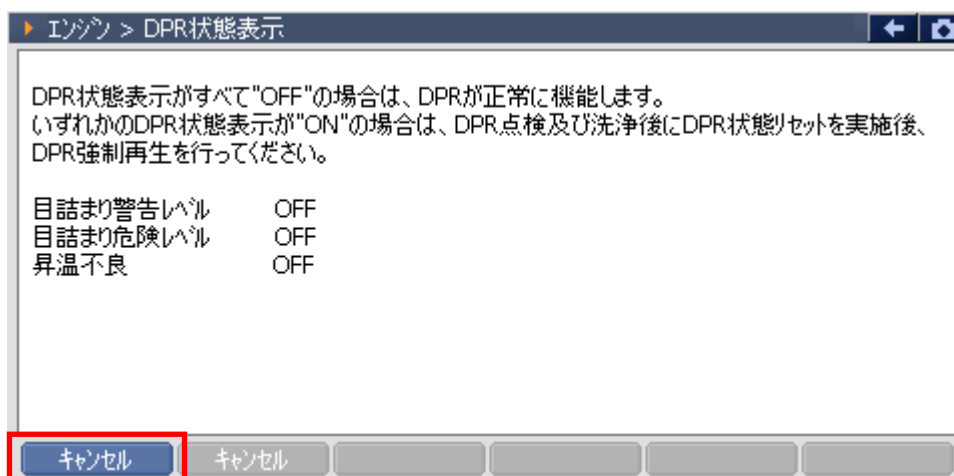
〈図: 確認メッセージ画面 DPR状態表示〉

- 3) 各DPRに関するデータを表示します。次の項目を表示させる場合には **Next** ボタンを押してください。



〈図：モニター画面 DPR状態表示〉

- 4) **キャンセル** ボタンを押すとDPR状態表示を終了します。




〈図：モニター画面 DPR状態表示〉

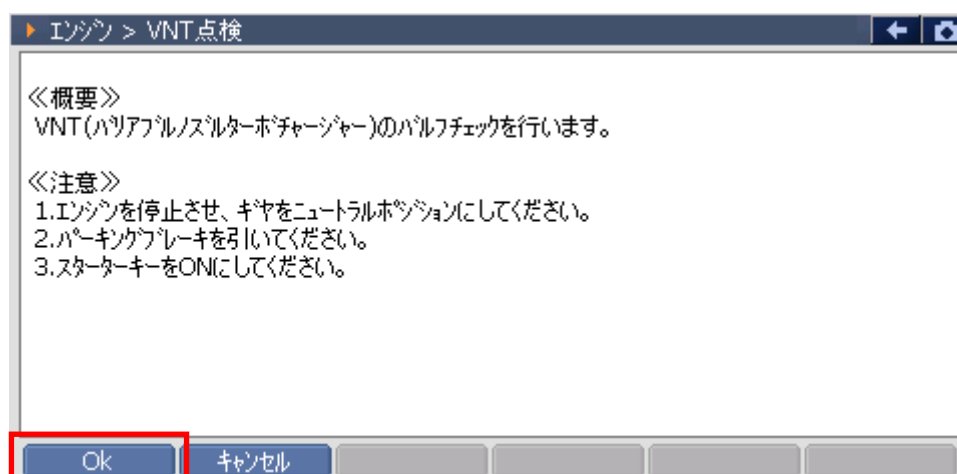
《作業サポート「VNT点検」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『VNT点検』を選択して  ボタンを押してください。



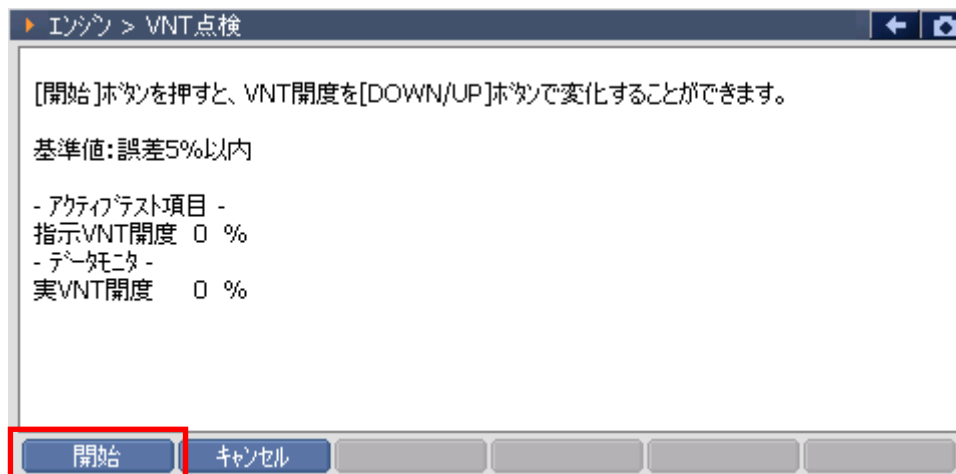
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『VNT点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



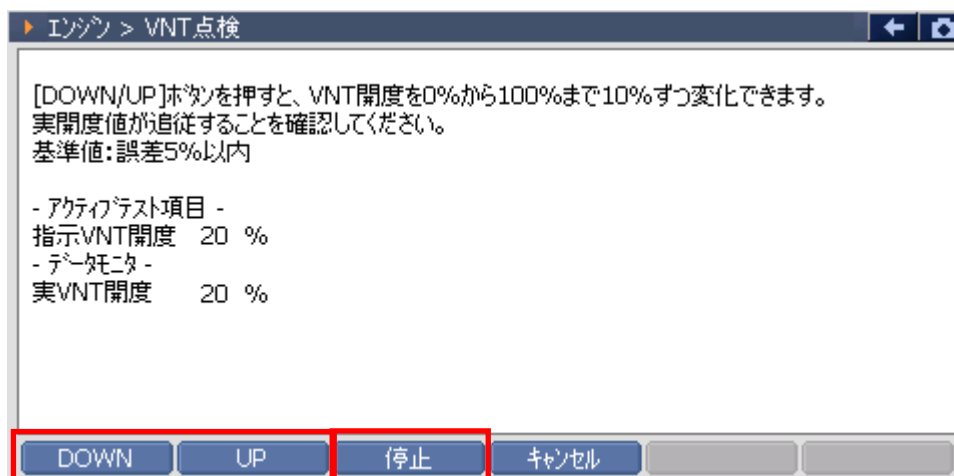
〈図: 確認メッセージ画面 VNT点検〉

3) VNTのテストを開始する場合には **開始** ボタンを押してください。




〈図:確認メッセージ画面 VNT点検〉

4) **DOWN** **UP** ボタンでVNTの開度を変更することができます。EGRの点検を終了する場合には **停止** または **キャンセル** ボタンを押してください。




〈図:モニター画面 VNT点検〉

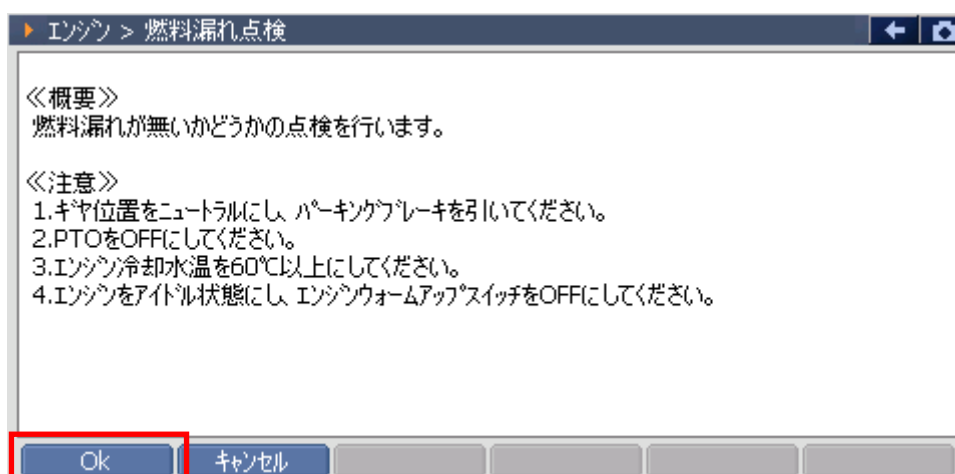
《作業サポート「燃料漏れ点検」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『燃料漏れ点検』を選択して  ボタンを押してください。



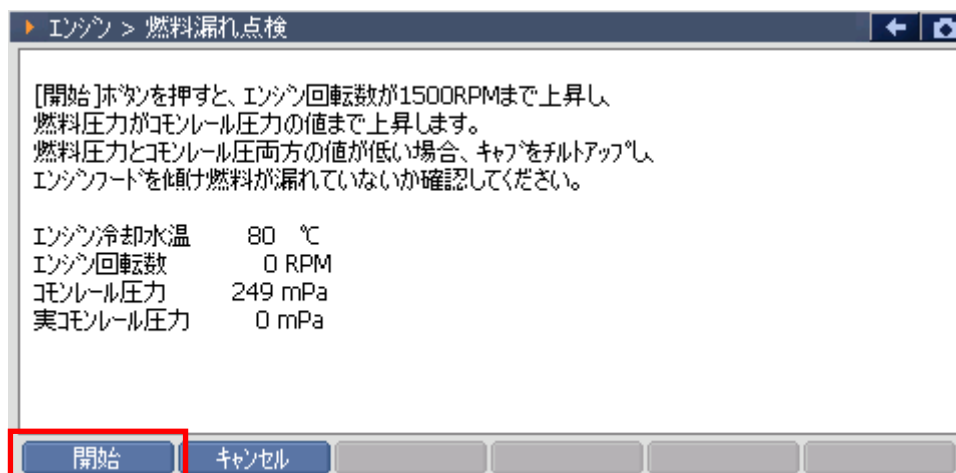
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『燃料漏れ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



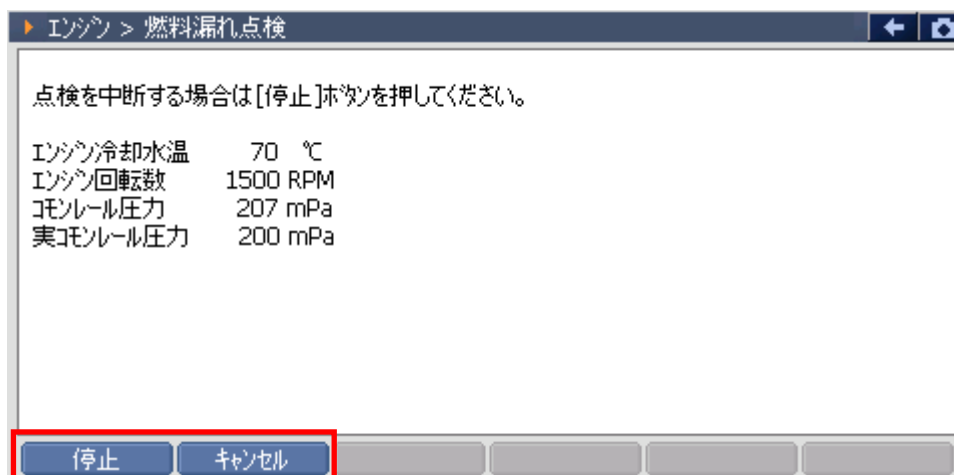
〈図: 確認メッセージ画面 燃料漏れ点検〉

3) 燃料漏れ点検のテストを開始する場合には **開始** ボタンを押してください。




〈図: モニター画面 燃料漏れ点検〉

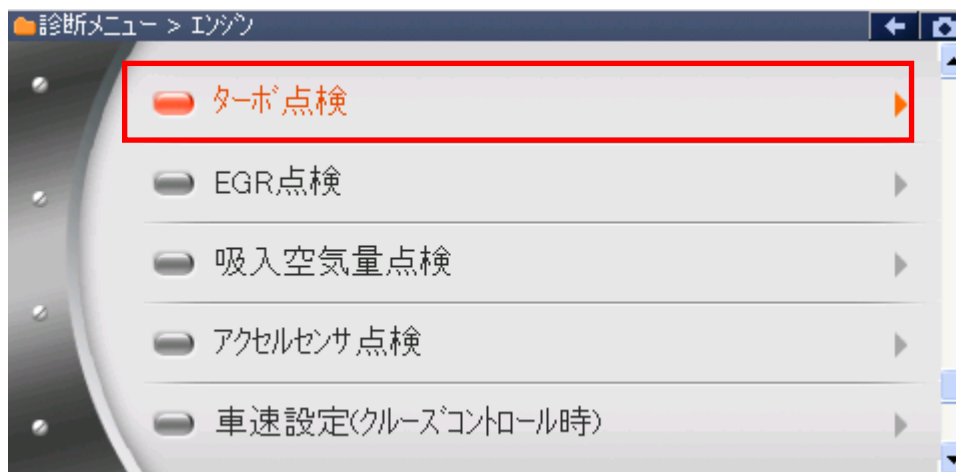
4) エンジン回転数が上昇し、燃料圧力、実コモンレール圧力が上昇します。燃料漏れ点検を終了する場合には **停止** または **キャンセル** ボタンを押してください。



〈図: モニター画面 燃料漏れ点検〉

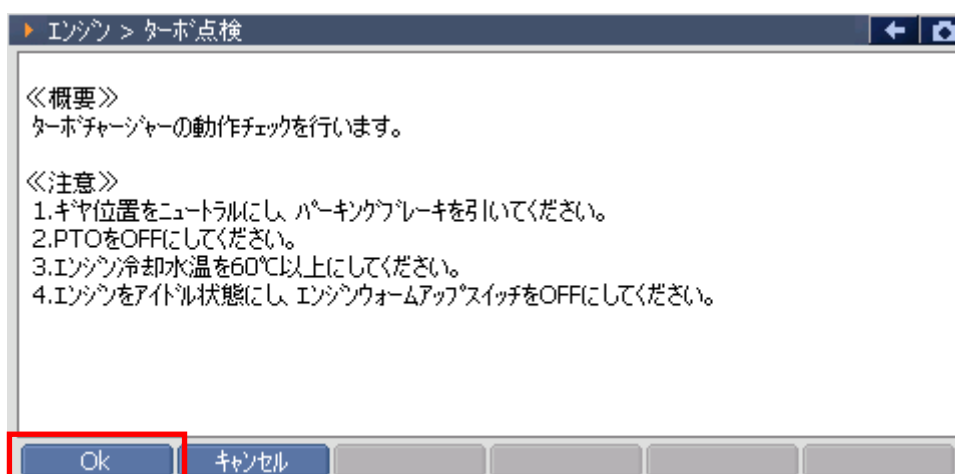
《作業サポート「ターボ点検」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『ターボ点検』を選択して  ボタンを押してください。



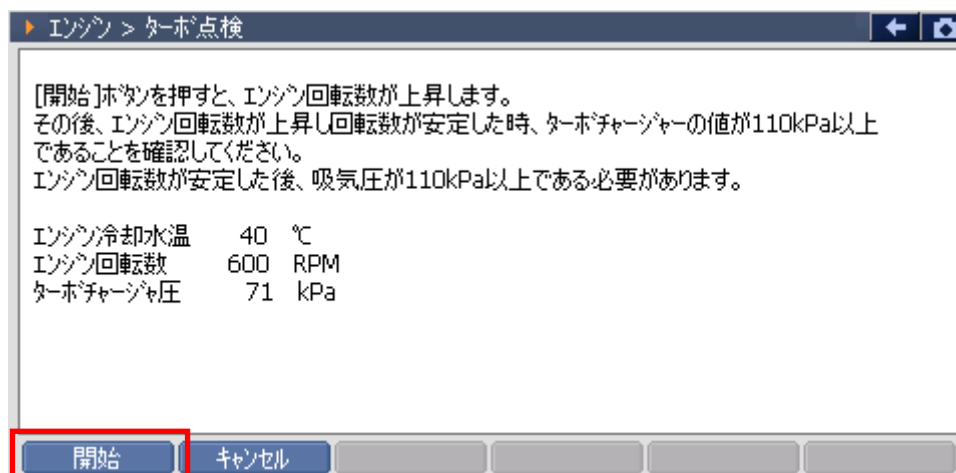
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『ターボ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



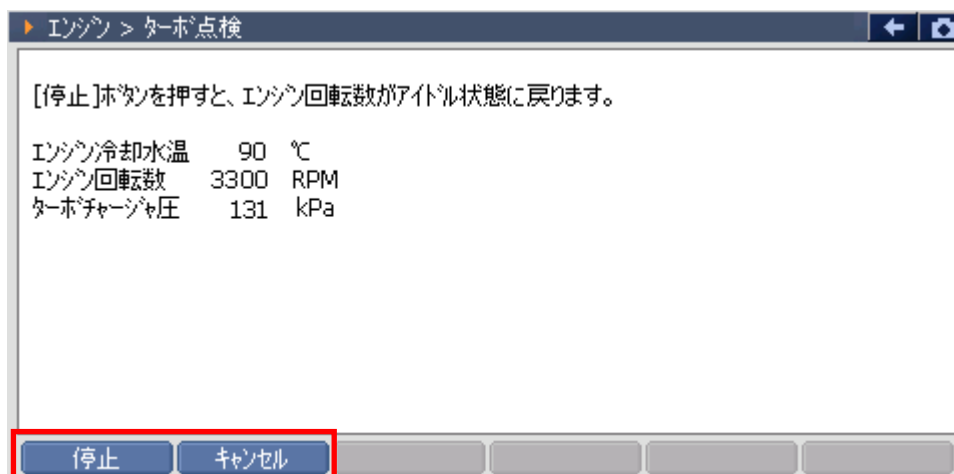
〈図: 確認メッセージ画面 ターボ点検〉

3) ターボ点検のテストを開始する場合には **開始** ボタンを押してください。



〈図: モニター画面 ターボ点検〉

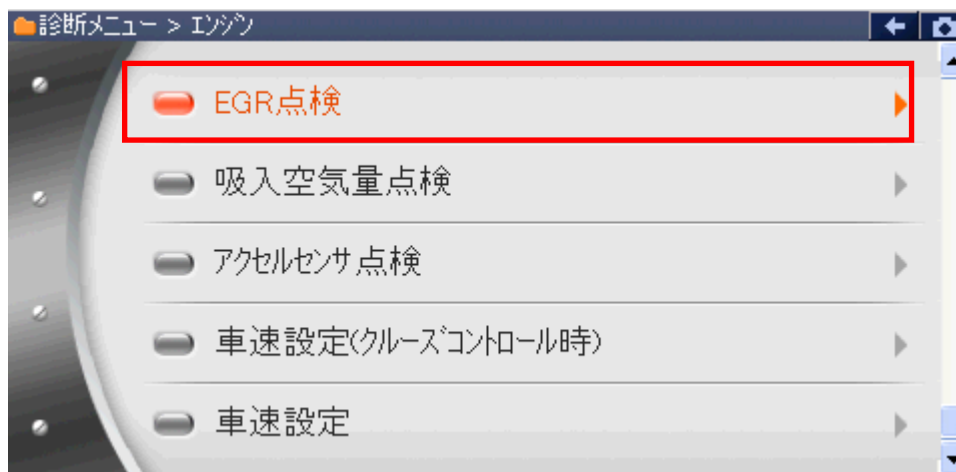
4) エンジン回転数が上昇し、ターボチャージャー圧が上昇します。ターボ点検を終了する場合には **停止** または **キャンセル** ボタンを押してください。




〈図: モニター画面 ターボ点検〉

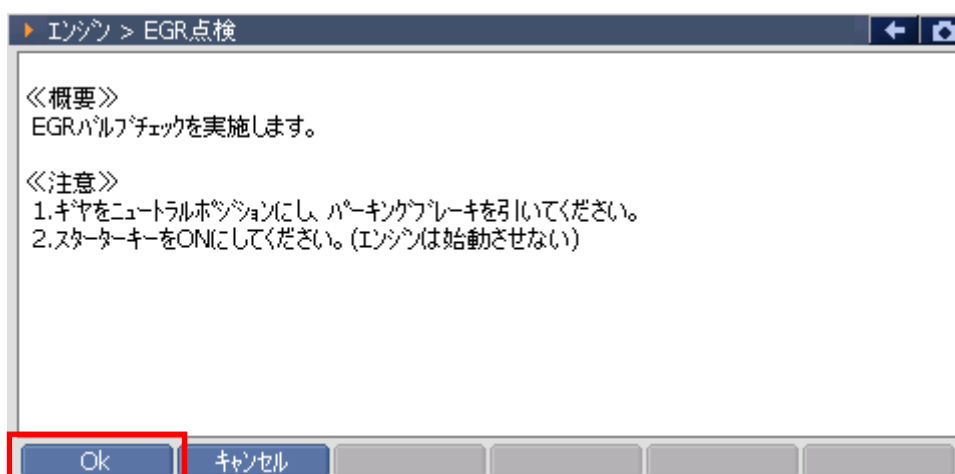
《作業サポート「EGR点検」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『EGR点検』を選択して  ボタンを押してください。



〈図: 作業サポート項目選択画面〉

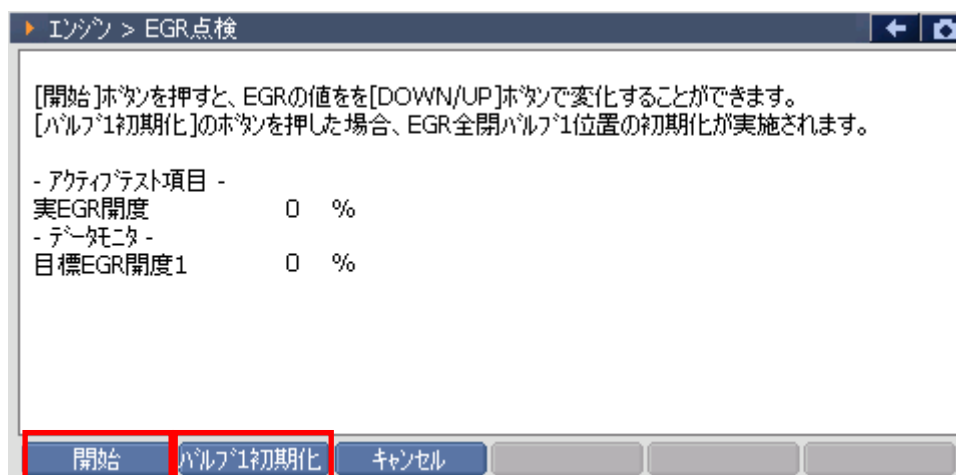
- 2) 『EGR点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



〈図: 確認メッセージ画面 EGR点検〉

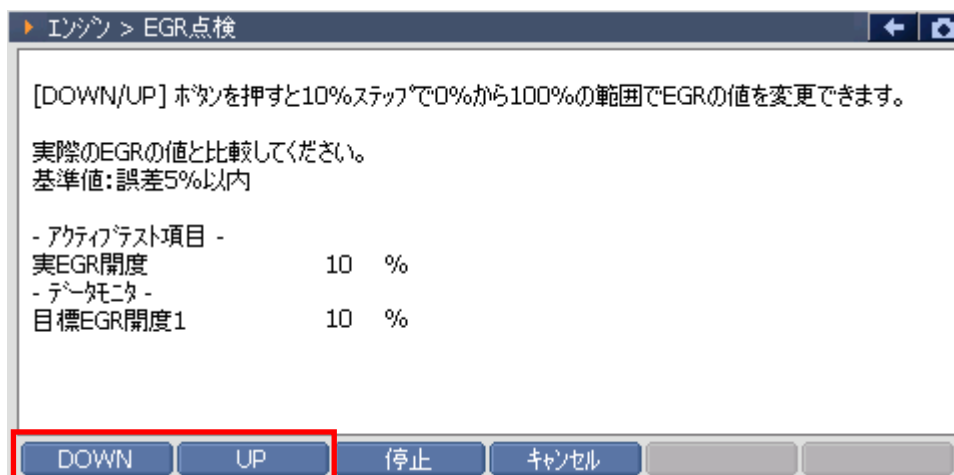
3) ターボ点検のテストを開始する場合には **開始** ボタンを押してください。

バルブ1初期化 ボタンを押すとEGR全閉バルブ1の初期化を実施します。




〈図: モニター画面 EGR点検〉

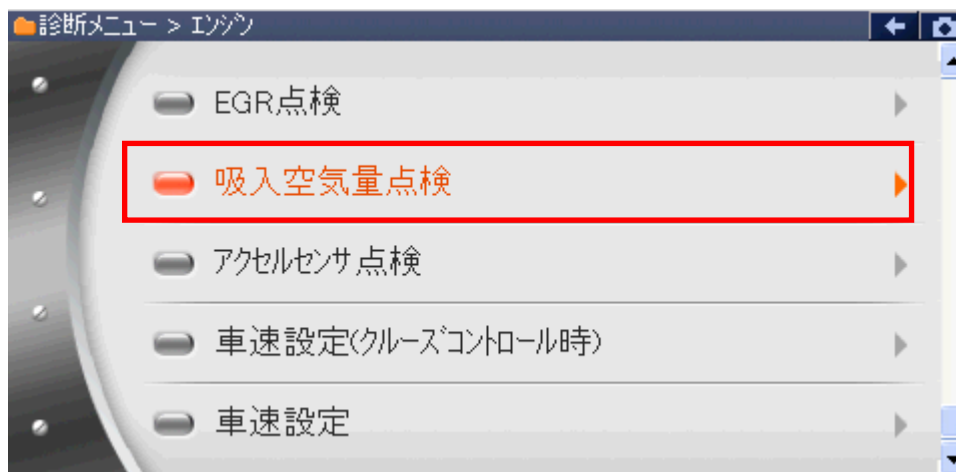
4) **DOWN** **UP** ボタンでEGRの開度を変更することができます。EGRの点検を終了する場合には **停止** または **キャンセル** ボタンを押してください。




〈図: モニター画面 EGR点検〉

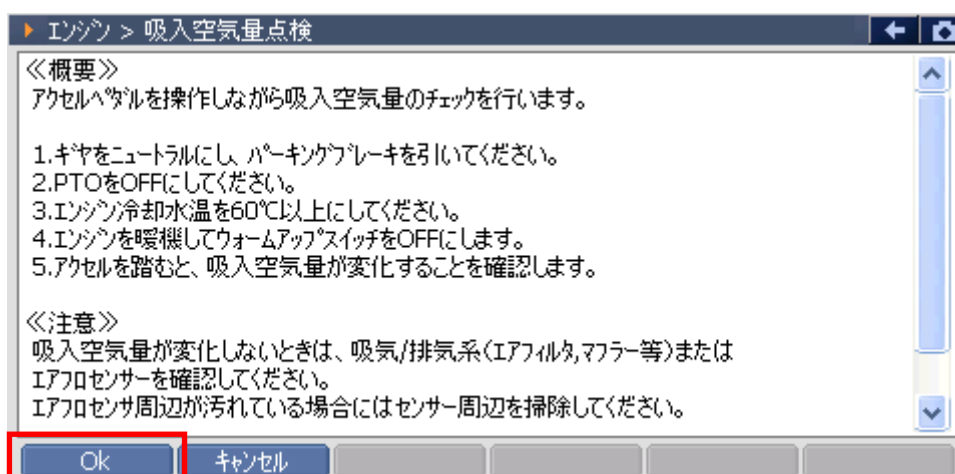
《作業サポート「吸入空気量点検」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『吸入空気量点検』を選択して  ボタンを押してください。



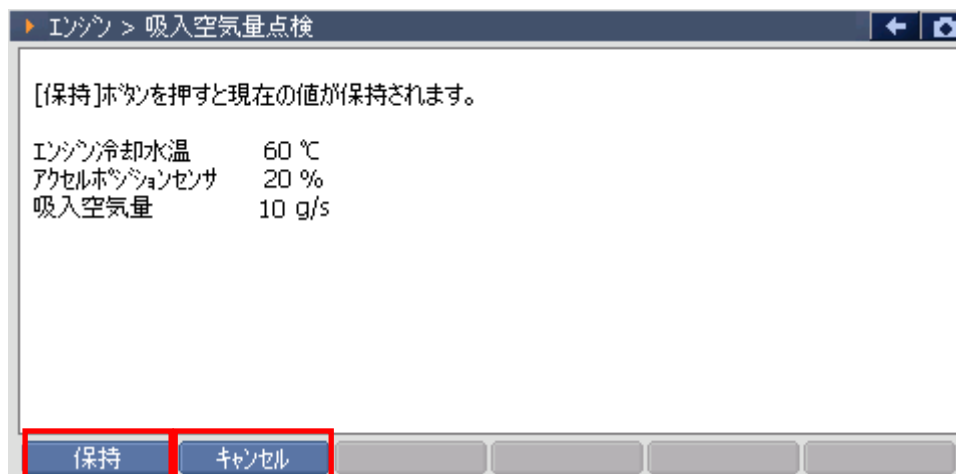
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『吸入空気量点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



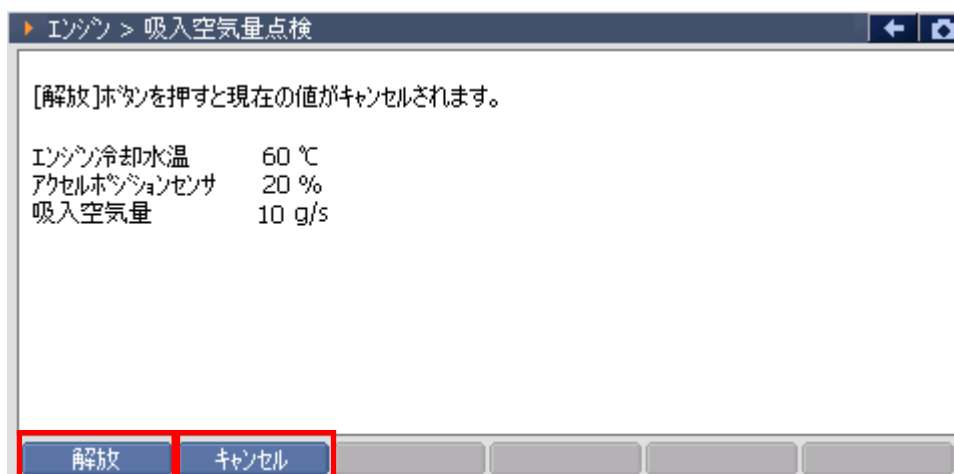
〈図: 確認メッセージ画面 吸入空気量点検〉

- 3) アクセルを踏み込むことによって吸入空気量が変化します。現在の値を保持する場合には **保持** ボタンを押してください。**バルブ1初期化** ボタンを押すとEGR全閉バルブ1の初期化を実施します。




〈図: モニター画面 吸入空気量点検〉

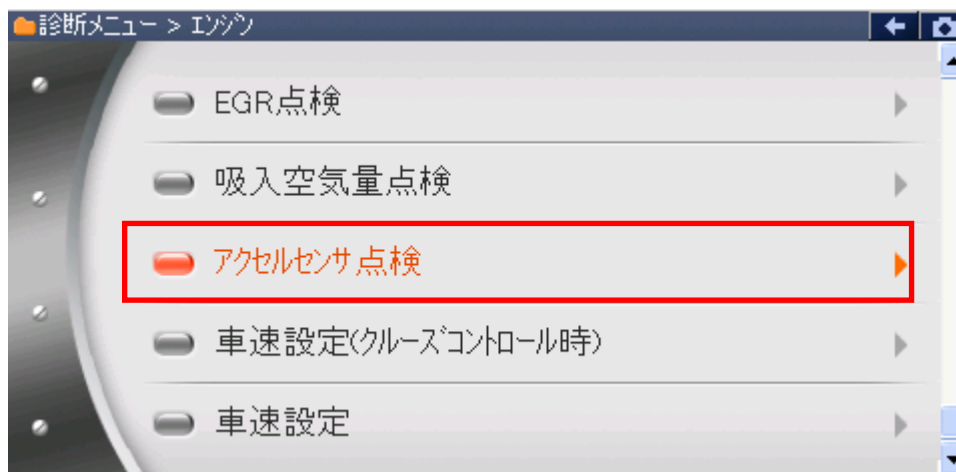
- 4) **保持** ボタンを押したときの値が表示されます。**解放** ボタンを押すと再度モニター画面移行します。点検を終了する場合には **キャンセル** ボタンを押してください。




〈図: データ保持画面 吸入空気量点検〉

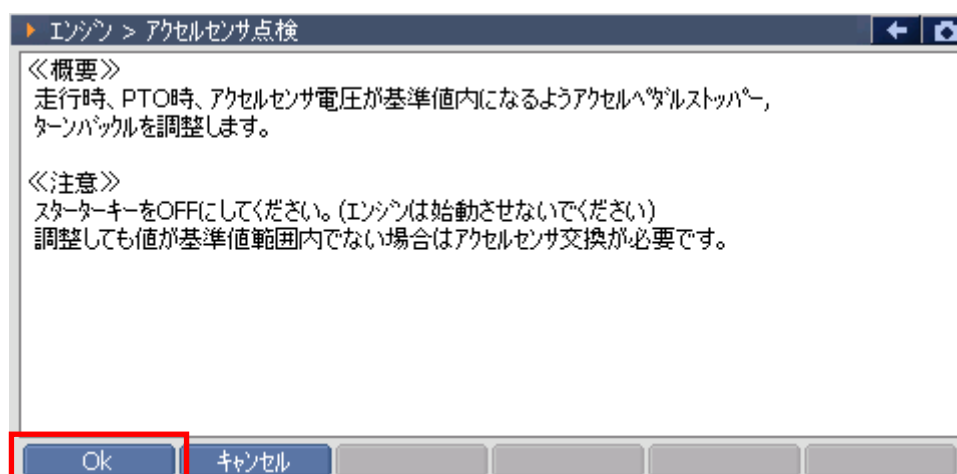
《作業サポート「アクセルセンサ点検」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『アクセルセンサ点検』を選択して  ボタンを押してください。



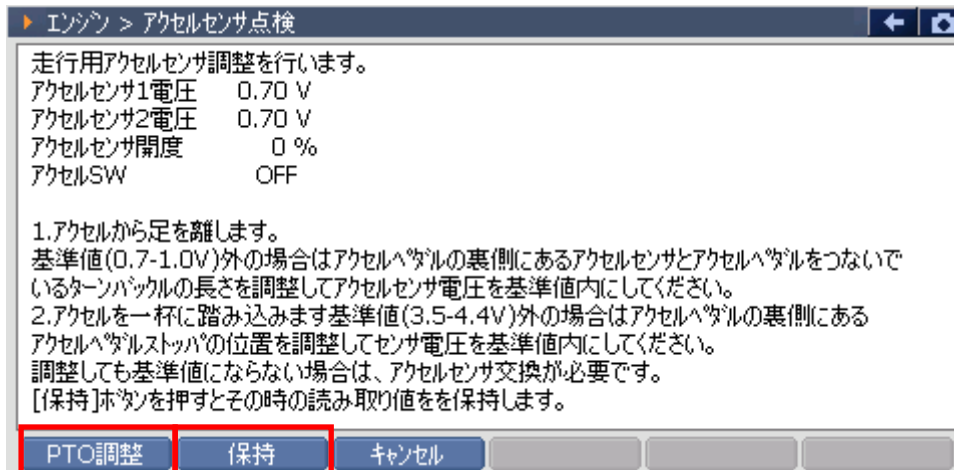
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『アクセルセンサ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



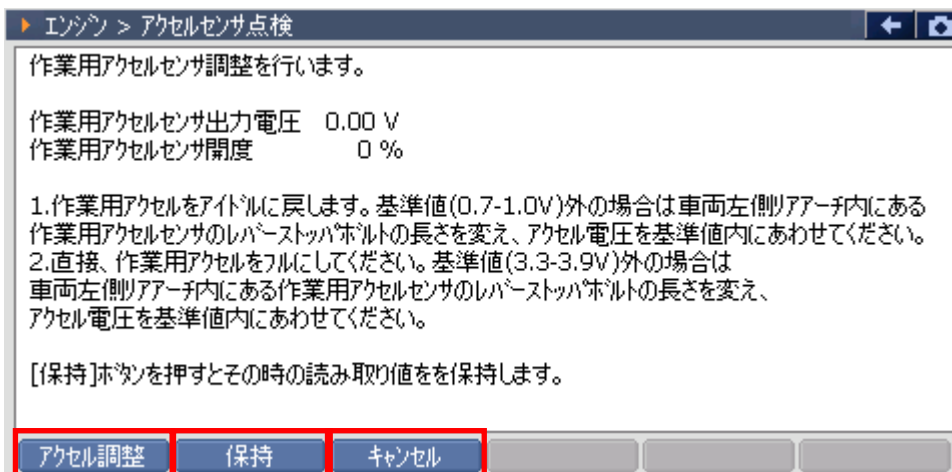
〈図: 確認メッセージ画面 アクセルセンサ点検〉

- 3) 走行時のアクセルセンサに関するデータが変化します。現在の値を保持する場合には **保持** ボタンを押してください。 **PTO調整** ボタンを押すとPTO時のアクセルセンサの点検を行えます。



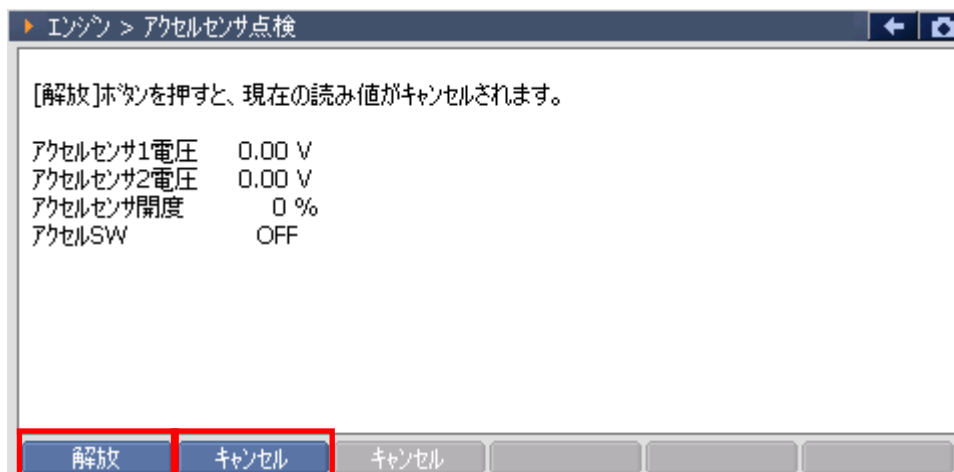
〈図: モニター画面 アクセルセンサ点検〉

- 4) 走行時のアクセルセンサに関するデータが変化します。現在の値を保持する場合には **保持** ボタンを押してください。点検を終了する場合には **キャンセル** ボタンを押してください。 **アクセル調整** ボタンを押すと走行時のアクセルセンサ点検に戻ります。

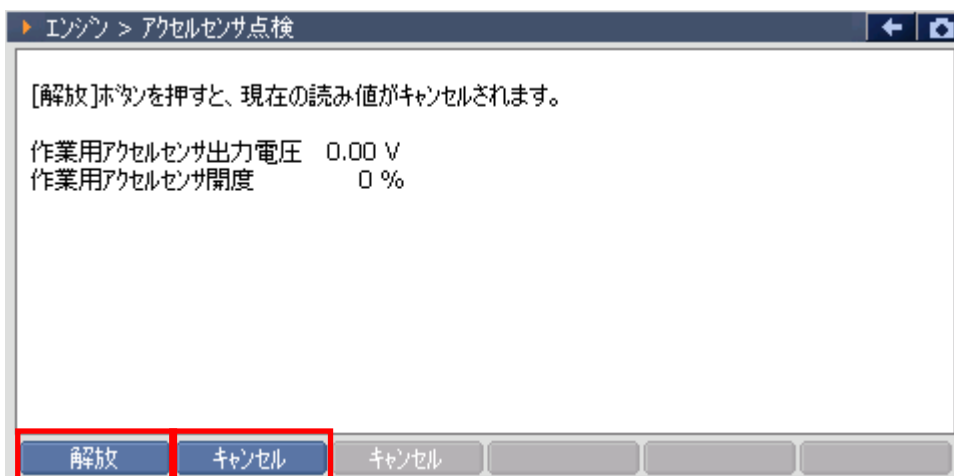


〈図: データ保持画面 吸入空気量点検〉

- 5) **保持** ボタンを押すと、ボタンを押したときの値が表示されます。**解放** ボタンを押すと再度モニター画面移行します。点検を終了する場合には **キャンセル** ボタンを押してください。




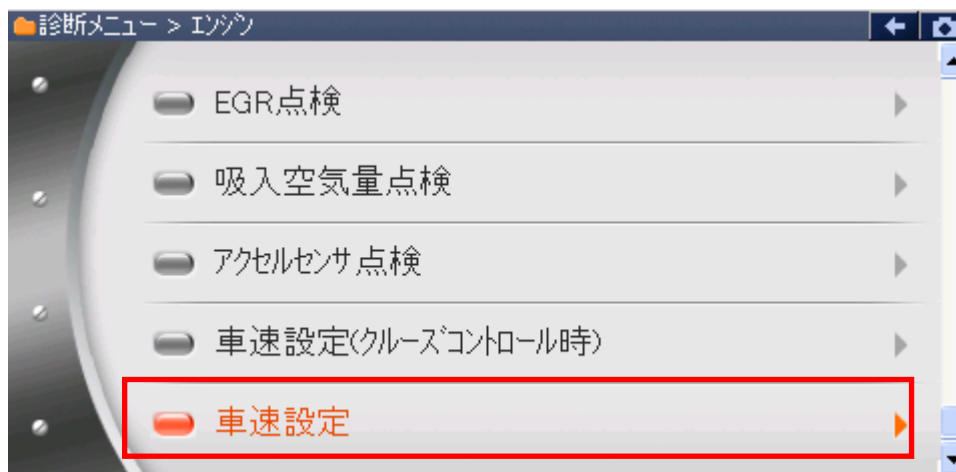
〈図: 走行時データ保持画面 アクセルセンサ点検〉




〈図: PTO時データ保持画面 アクセルセンサ点検〉

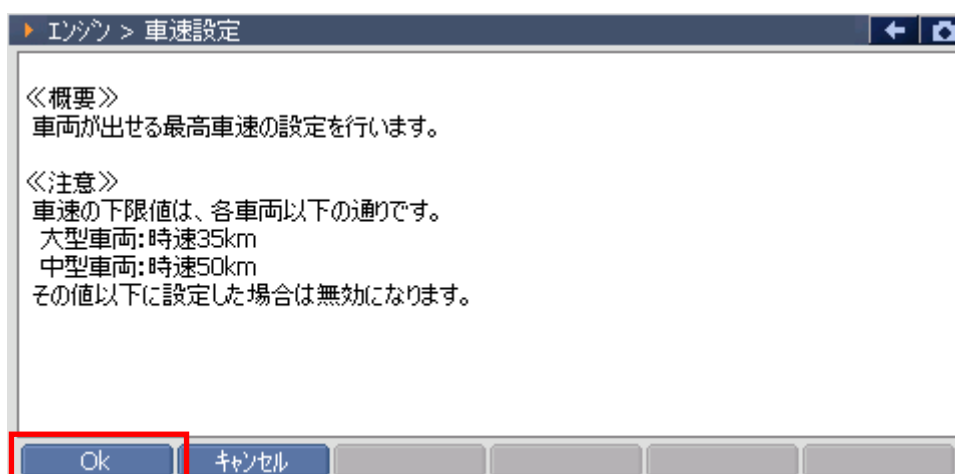
《作業サポート「車速設定」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『車速設定』を選択して  ボタンを押してください。



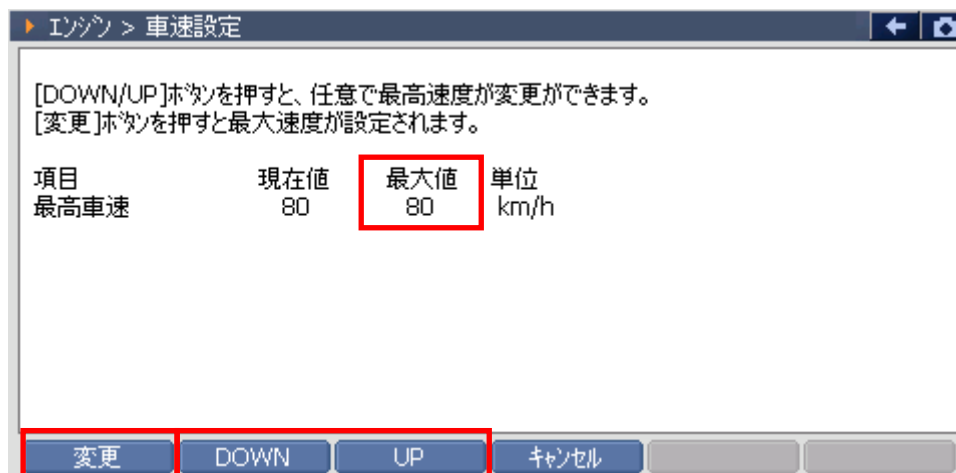
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『車速設定』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



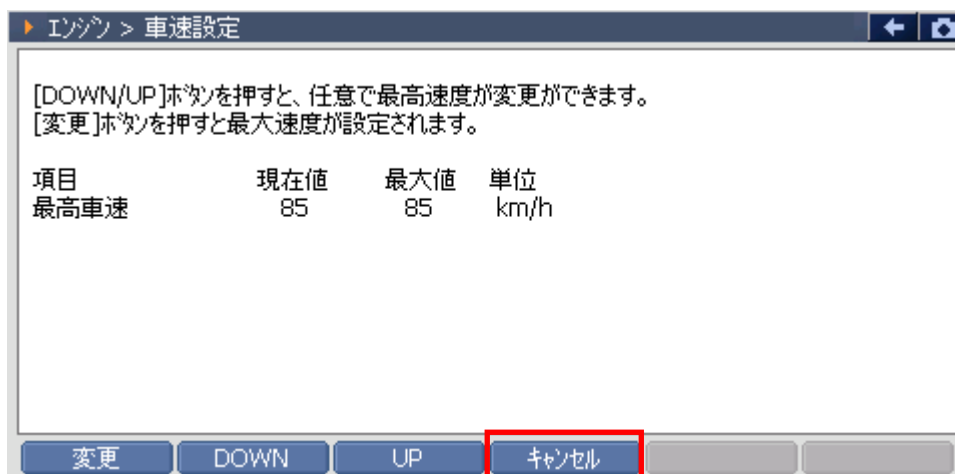
〈図: 確認メッセージ画面 車速設定〉

- 3) **DOWN** **UP** ボタンで車速値を変更することができます。**変更** ボタンを押すと最大値に表示されている値を設定します。



〈図: モニター画面 車速設定〉

- 4) 車速設定を終了する場合は **キャンセル** ボタンを押してください。



〈図: モニター画面 車速設定〉


《作業サポート「車速設定(クルーズコントロール時)」》

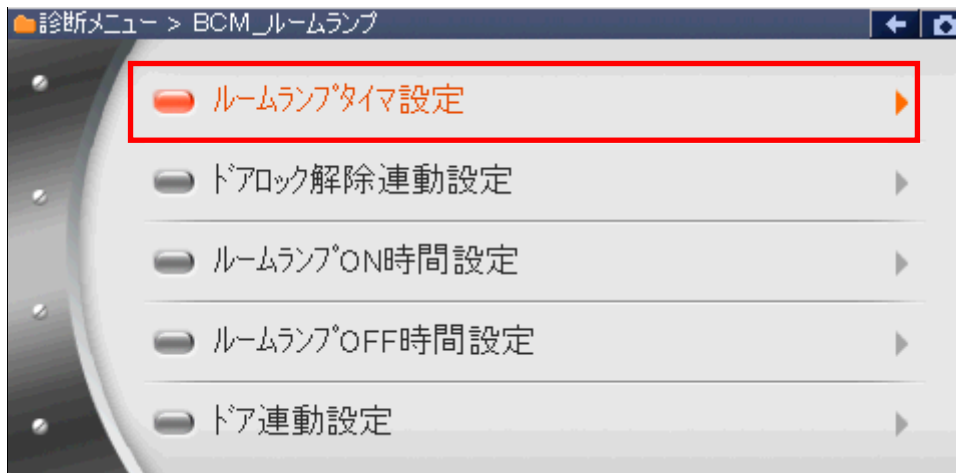
※注意と補足※

- 基本的な作業の流れは「車速設定」と同様となります。

BCMの作業サポートについて

《 BCM_ルームランプシステム作業サポート「ルームランプタイマ設定」 》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『ルームランプタイマ設定』を選択して  ボタンを押してください。

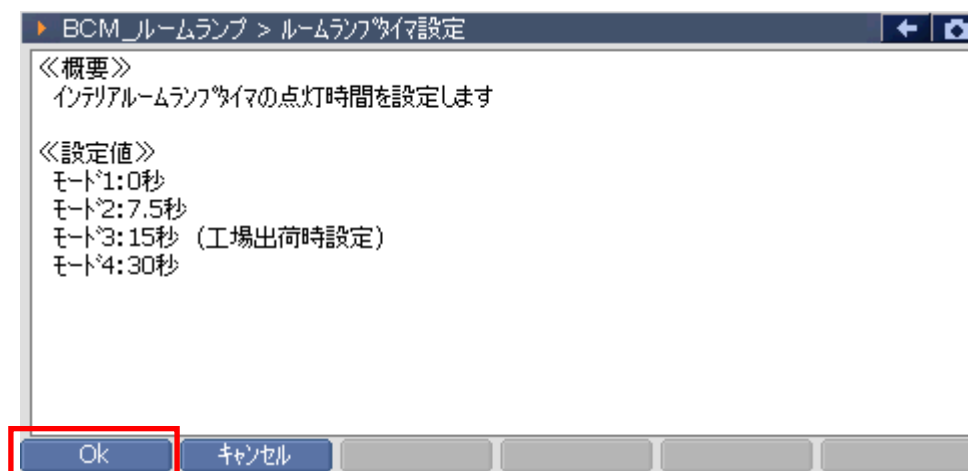


〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『ルームランプタイマ設定』の確認メッセージ画面に移ります。

確認メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

 ボタンを押して、作業サポートを実行してください。

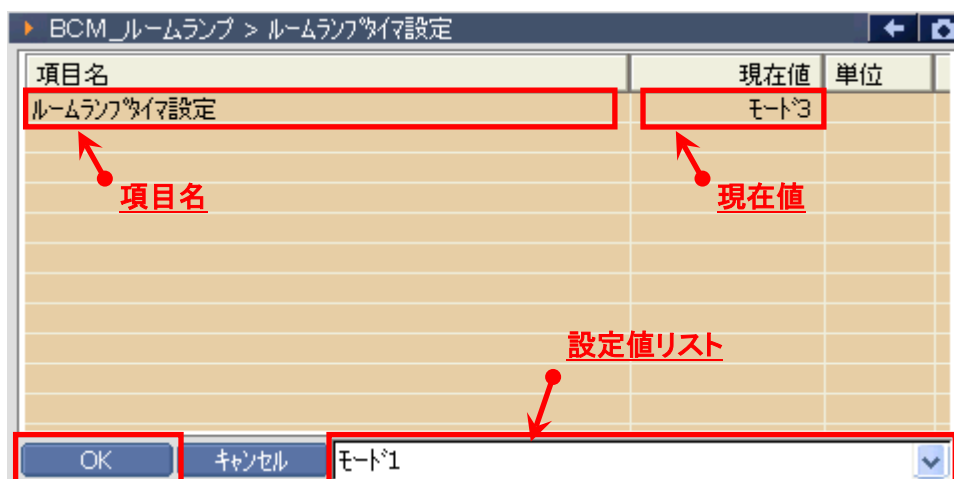


〈図: 確認メッセージ画面 ルームランプタイマ設定〉

3) 『ルームランプタイム設定』の設定値変更画面に移ります。

設定値リストをタッチすると、選択可能な設定値のリストが表示されますので、設定値リストから変更したい設定値を選択して **OK** ボタンを押してください。

現在値が選択した値に変更されます。

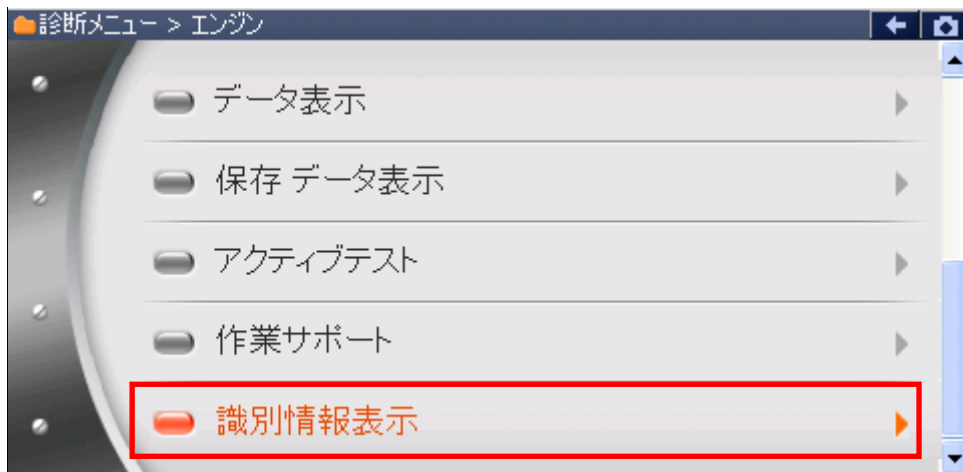


〈図: 設定値変更画面 ルームランプタイム設定〉

※注意と補足※

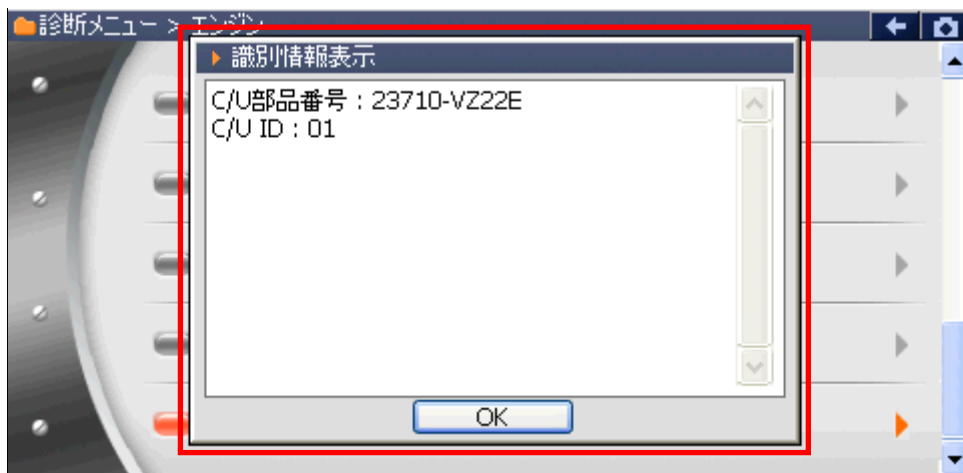
- ・ 他のBCMについても上記作業の流れに従って設定を変更することが出来ます。BCMの種類によっては作業サポートに対応していないものがあります。
- ・ 作業サポートを終了する場合は、必ず **キャンセル** ボタンから終了してください。

1) 診断メニューにおいて『識別情報表示』を選択して **ENTER** ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにて識別情報表示を選択〉

2) 識別情報が表示されます。



〈図：識別情報表示画面〉

※注意と補足※

- ・ 上記の画面はエンジンシステムの識別情報表示画面です。
表示される内容は選択するシステムによって異なります。



株式会社 インターサポート

〒310-0836

茨城県水戸市元吉田町329-5

Tel 029-248-0616 Fax 029-248-1609

<http://www.inter-support.co.jp>

製品保守センター

(修理のお問合せはこちら)

Tel 029-304-0185

サポートセンター

(製品のご相談・ご質問はこちら)

Tel 0570-064-737 (ナビダイヤル※)

Fax 029-304-0167

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2013年4月発行 第10版

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。

G1PZFDN001-18-10